

平成26年度 倉吉市民意識調査・報告書

<目次>

I 調査の概要	1
II 集計分析結果	
1 調査回答者の属性（問1～問7）	2～4
2 集計結果	
（1）あなたの日常生活について（問8～問22）	5～31
（2）子育てについて（問23～問27）	32～36
（3）地域における暮らしや人権について（問28～問38）	37～50
（4）あなたの生活環境について（問39～問46）	51～66
（5）市役所が提供している情報並びに行政サービスについて（問47～問50）	67～70
（6）地域の活動について（問51～問54）	71～77
III まちづくりや市民サービスに関する意見等（自由記述）	78～104

平成26年9月
倉吉市

調査回答者の属性		
問 1	あなたの性別について	2
問 2	あなたの年齢について	2
問 3	あなたの職業について	2
問 4	どこで仕事をしていますか。	3
問 5	あなたのご家族の構成について	3
問 6	あなたのお住まいの形態について	3
問 7	あなたのお住まいの地区について	4
(1) あなたの日常生活について		
問 8		
	①あなたは日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいますか。	5
	②あなたは日頃から読書、映画、音楽、スポーツや趣味など、何か学ぶことに取り組んでいますか。	6
	③あなたは日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら活動を行ったりすることがありますか。	7
	④あなたは情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡を取ることがありますか。	9
	⑤65歳以上の方にお聞きします。あなたは、地域において何か活動（老人クラブ、公民館活動、趣味のサークル等）をしていますか。	10
	⑥65歳以上の方にお聞きします。あなたは、過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがありますか。	11
問 9	あなたは、お住まいの地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがありますか。	12
問 10	あなたは、ご自身が心身ともに健康だと思いますか。	13
問 11	倉吉市は高齢期になっても安心して暮らせるまちだと思いますか。	15
問 12	あなたは、普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいますか。	16
問 13	あなたは、日頃から利用している「かかりつけ医」を持っていますか。	18
問 14	あなたは、年に1回は健康診査を受診していますか。	19
問 15	あなたは、身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると思いますか。	20
問 16	あなたは、日頃から利用している市内の医療機関やそのサービスに満足していますか。	21
問 17	あなたは、日頃から買い物等をする際に、倉吉駅を中心とした上井地区、成徳・明倫地区の商店街を利用していますか。	22
問 18	あなたは、倉吉駅を中心とした上井地区、成徳・明倫地区の商店街は買い物しやすく魅力があると思いますか。	24
問 19	あなたは、スーパー等で農産物を買う際に倉吉産のものを選ぶようにしていますか。	25
問 20	あなたは、ご自身や家族が悪質商法などの消費者被害にあわないように正しい知識を身につけ、注意を払っていますか。	26
問 21	あなたは、消費者トラブルや消費者問題など消費生活に関する情報が適切に得られていると思いますか。	28
問 22		
	①あなたのお住まいの地域では、いつどこで起きるかわからない、災害に備えた防災体制が整っていると思いますか。	29
	②あなたのお住まいの地域では、犯罪の危険を感じることなく、安全・安心に暮らせていると思いますか。	30
(2) 子育てについて		
問 23	お子さんの年齢について伺います。すべてのお子さんについて該当の番号に○印をつけてください。	32
問 24	あなたの世帯では、子育てと仕事がうまく両立できていますか。	32
問 25	倉吉市は、子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると思いますか。	33
問 26	あなたは、子育てに不安を感じますか。	34
問 27	問 26 で「1. かなり不安である」「2. どちらかと言えば不安である」と答えた方にお聞きします。あなたが感じている不安の内容はどのようなものですか。	35
(3) 地域における暮らしや人権について		
問 28	あなたは、倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていますか。	37
問 29	あなたは、倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を大切にしたいと思いますか。	38
問 30	あなたは、倉吉市が行っている国際交流や地域間交流の取組について、どう思いますか。	39
問 31	あなたは、男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという考え方をどのように思いますか。	40
問 32	あなたの身の回りでは、社会における男女の機会均等がはかられていると思いますか。	42
問 33	あなたの家庭では、男女の区別なく家事、子育て、介護を分担して行っていますか。	43

問 34	国や地方自治体では、障がい者の方が共に生活できるための環境づくりを進めていますが、あなたは、障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思いますか。	44
問 35	あなたは、普段からご自身や家族の人権が適切に守られていると思いますか。	46
問 36	あなたは、過去 1 年間に身の回りで、ご自身の人権が侵害されたと思ったことはありますか。	47
問 37	問 36 で「1. ある」という方にお聞きします。どこであなたが人権侵害を受けたと思ったことがおきましたか。	48
問 38	引き続き問 36 で「1. ある」という方にお聞きします。それはどのような場合ですか。	49
(4) あなたの生活環境について		
問 39	あなたの主な移動手段は何ですか。	51
問 40	問 39 で、主に「3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」を移動手段としている方にお聞きします。日常的に市内の公共交通の便に不便を感じますか。	52
問 41	あなたは、過去 1 年間のうちに路線バスを利用したことがありますか。	53
問 42		
①	あなたは、国道、県道など市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると思いますか。	55
②	あなたのお住まいの地域の生活道路は、通行しやすく、歩行しやすい道路となっていますか。	56
③	あなたのお住まいの地域は、ゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思いますか。	57
④	あなたは、倉吉市は自然体が、自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思いますか。	58
⑤	あなたのお住まいの地域は、市街地の景観や街並みが優れていると思いますか。	59
問 43	あなたのお住まいの地域では、水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思いますか。	60
問 44		
①	あなたのお住まいの地域は、公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思いますか。	61
②	倉吉市では、景観の保全や緑化の推進を行っていますが、それらの取組が進んでいると思いますか。	63
問 45	あなたは、市内の森林が保全されることを大切だと思いますか。	64
問 46	あなたは、日々の暮らしの中で、ごみの分別、資源回収、家電など、地球環境にやさしい取組を心掛けていますか。	65
(5) 市役所が提供している情報並びに行政サービスについて		
問 47	あなたは、倉吉市の情報を得るために、日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていますか。	67
問 48	あなたは、市役所の窓口や電話など、職員の対応についてどう思いますか。	68
問 49	倉吉市では、総合計画に基づいてまちづくりを進めていますが、その目標を達成するために予算（市税、地方交付税、国県支出金など）が効果的・効率的に使われていると思いますか。	69
問 50	あなたは、倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思いますか。	70
(6) 地域の活動について		
問 51	あなたは、過去 1 年間にお住まいの地域の自治公民館活動に参加したことがありますか。	71
問 52	あなたは、お住まいの地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したりしていますか。	72
問 53	あなたは、地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動にも参加したいと思いますか。	73
問 54		
①	あなたのお住まいの地域では、自治公民館活動等を通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思いますか。	75
②	あなたのお住まいの地域では、市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思いますか。	76
★	倉吉市のまちづくりや倉吉市が行う行政サービスに関して、ご意見等がありましたらご自由にご記入ください。	78

I 調査の概要

1 調査の目的

倉吉市では、より効率的で質の高い行政サービスの実現をめざし、各施策に成果指標を設定しています。このアンケートは、その達成度を測定するためのものです。また、アンケートを実施することにより、皆さんの生活実態、問題意識や行動実態などの現状値を把握し、今後の市政運営の参考とするものです。

2 調査の期間

調査の期間は、平成26年5月13日（火）から6月9日（月）まで

3 調査の内容

(1) 調査回答者の属性（問1～問7）

(2) 調査項目

- ①あなたの日常生活について（問8～問22）
- ②子育てについて（問23～27）
- ③地域における暮らしや人権について（問28～問38）
- ④あなたの生活環境について（問39～問46）
- ⑤市役所が提供している情報並びに行政サービスについて（問47～問50）
- ⑥地域の活動について（問51～問54）

4 調査の方法

調査にあたっては、平成26年5月1日現在、本市に住所を有し、かつ平成26年5月1日現在で20歳以上の方（準世帯は除く）から2,000人を年齢層ごとの人口比率に応じて無作為に抽出し、郵送等によるアンケート調査票の配布・回収の方法で実施しました。

5 回収結果

全体

対象者数	有効回答数	有効回収率
2,000人	904人	45.20%

※平成25年度：46.25%（対象者数：2,000人） ※平成21年度：52.75%（対象者数：2,000人）
 ※平成24年度：47.60%（対象者数：2,000人） ※平成20年度：49.25%（対象者数：2,000人）
 ※平成23年度：49.30%（対象者数：2,000人） ※平成19年度：47.00%（対象者数：2,000人）
 ※平成22年度：51.60%（対象者数：2,000人） ※平成18年度：45.06%（対象者数：2,000人）

性別

	男	女	不明
対象者数	939人	1,061人	—
有効回答数	358人	540人	6人
構成比	39.6%	59.7%	0.7%

年代別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
対象者数	237人	298人	298人	329人	404人	434人	—
有効回答数	62人	98人	116人	154人	230人	244人	0人
構成比	6.9%	10.8%	12.8%	17.0%	25.5%	27.0%	0.0%

地区別

	上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手	社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	不明
対象者数	106人	286人	200人	221人	133人	151人	44人	219人	64人	87人	268人	71人	150人	—
有効回答数	58人	134人	67人	88人	64人	66人	24人	88人	28人	27人	121人	36人	72人	31人
構成比	6.4%	14.8%	7.4%	9.7%	7.1%	7.3%	2.7%	9.7%	3.1%	3.0%	13.4%	4.0%	8.0%	3.4%

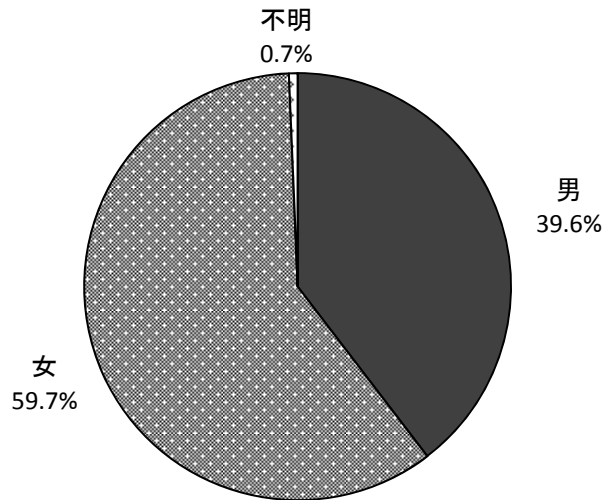
6 その他

- (1) 集計分析結果は、「1. 調査回答者の属性」については、有効回答数の904人（性別不明含む）を分母として全体の構成比とし、「2. 集計結果」については、各設問ごとに回答が不明なものを除いた実回答数を分母とした構成比としています。
- (2) 各設問においては、基本的に「性別」「年代別」「地区別」の3項目のクロス集計を記載していますが、特に差が見られなかった項目などは、省略している場合があります。また、集計は小数点第2位を四捨五入しています。従って、集計表の内訳の合計が100%と一致していないことがあります。
- (3) 各設問において、集計結果のうち【全体】の結果については、今年集計数値の後に昨年の集計数値を（ ）で記載しています。

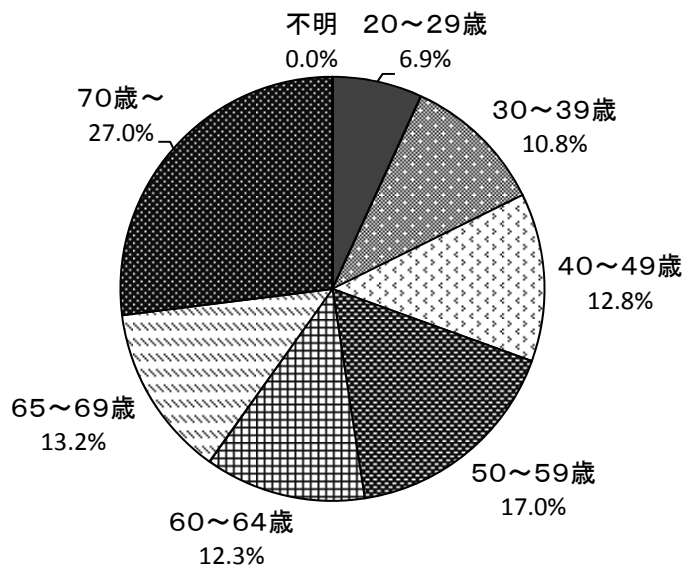
Ⅱ 集計分析結果

1 調査回答者の属性

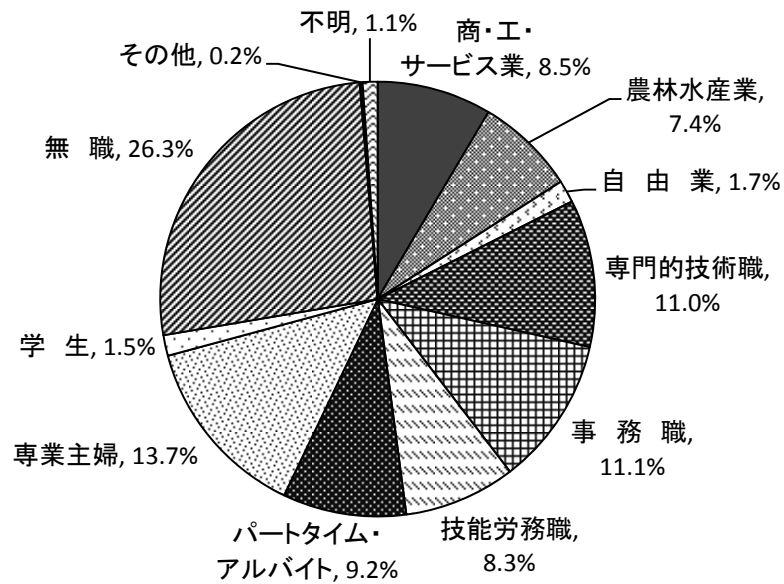
問1 性別構成



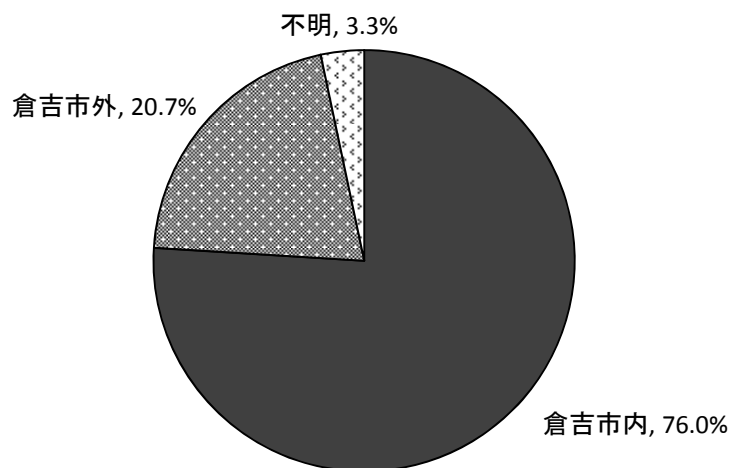
問2 年齢構成



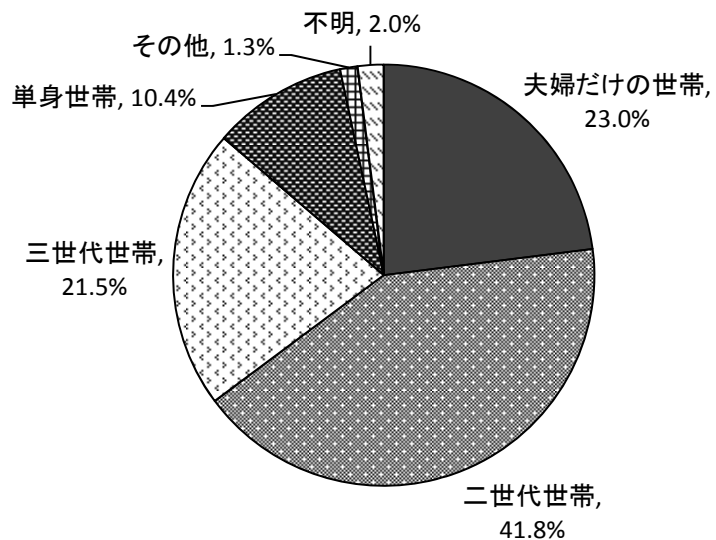
問3 職業構成



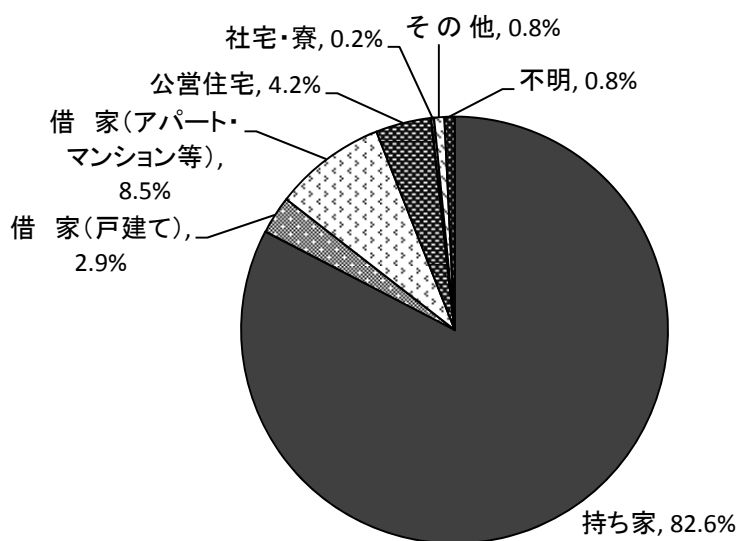
問4 勤務地



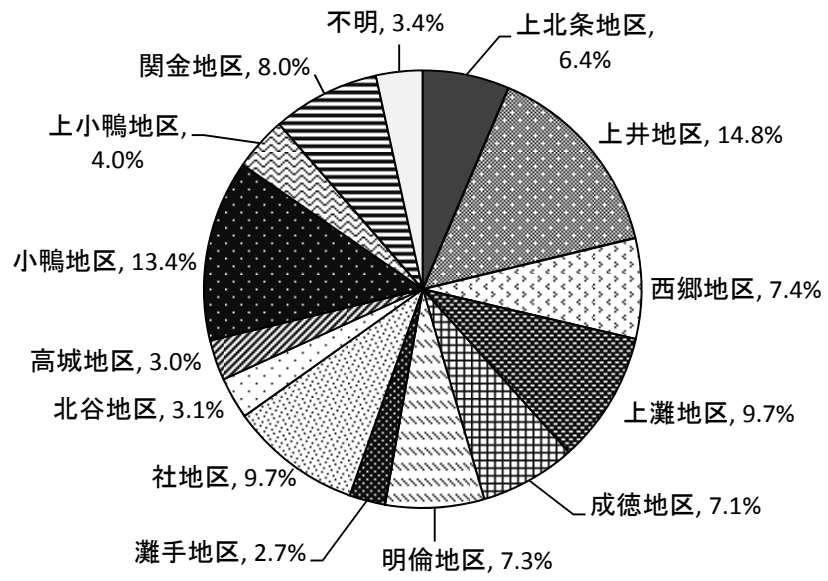
問5 家族構成



問6 住まいの形態



問7 地区構成



2 集計結果

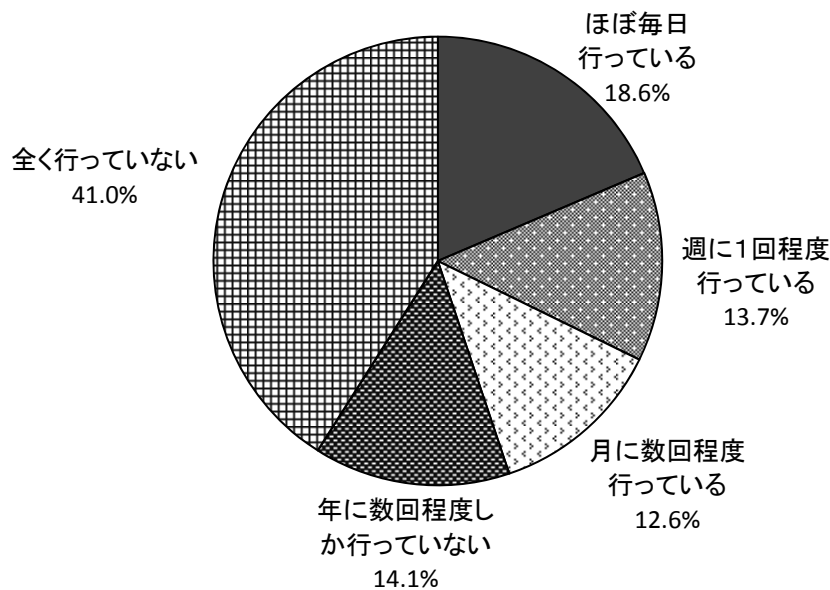
(1) あなたの日常生活について

問8① あなたは日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

[全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は44.9%（昨年46.6%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は55.1%（昨年53.5%）という結果になっています。



[性別]

日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいると答えた人は、男性が48.9%、女性が42.0%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
男	21.2%	15.6%	12.1%	15.3%	35.9%	計898人 358人
女	16.7%	12.2%	13.1%	13.5%	44.5%	540人

[年代別]

日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では55.3%という結果になっています。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
20～29	5.0%	15.0%	15.0%	18.3%	46.7%	計834人 60人
30～39	4.1%	13.4%	18.6%	17.5%	46.4%	97人
40～49	10.5%	14.0%	10.5%	18.4%	46.5%	114人
50～59	16.1%	8.7%	16.8%	14.8%	43.6%	149人
60～64	25.7%	14.3%	9.5%	10.5%	40.0%	105人
65～69	21.8%	15.5%	11.8%	17.3%	33.6%	110人
70～	30.7%	15.6%	9.0%	8.5%	36.2%	199人

【地区別】

日頃からウォーキングなど、何かスポーツに取り組んでいると答えた人は、多くの地区で40～50%台であるのに対し、関金地区は30.7%と低い結果になっています。

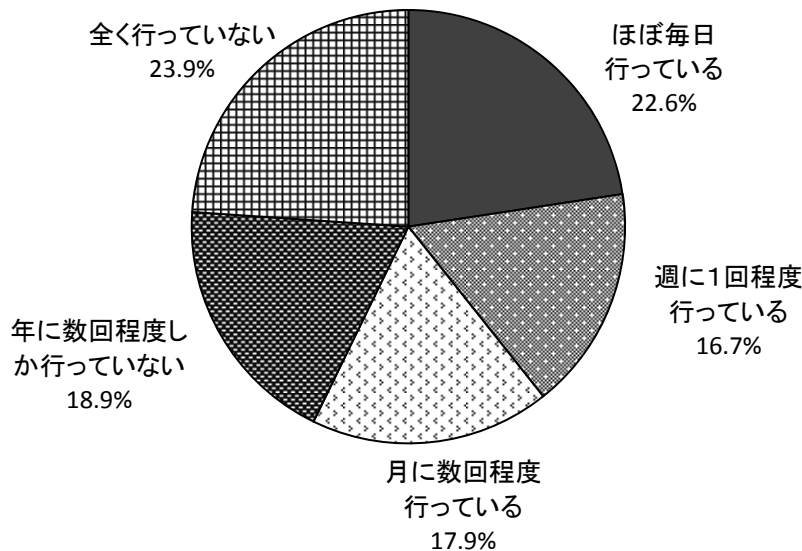
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計822人
上北条	28.6%	12.5%	10.7%	16.1%	32.1%	56人
上井	19.0%	13.5%	13.5%	10.3%	43.7%	126人
西郷	12.5%	20.3%	9.4%	14.1%	43.8%	64人
上灘	17.6%	17.6%	16.5%	14.1%	34.1%	85人
成徳	23.0%	13.1%	13.1%	9.8%	41.0%	61人
明倫	20.0%	20.0%	13.8%	9.2%	36.9%	65人
灘手	19.0%	9.5%	9.5%	33.3%	28.6%	21人
社	14.6%	19.5%	14.6%	13.4%	37.8%	82人
北谷	19.2%	15.4%	7.7%	15.4%	42.3%	26人
高城	20.8%	4.2%	16.7%	20.8%	37.5%	24人
小鴨	15.8%	9.6%	11.4%	14.9%	48.2%	114人
上小鴨	30.3%	0.0%	15.2%	12.1%	42.4%	33人
関金	13.8%	7.7%	9.2%	23.1%	46.2%	65人

問8② あなたは日頃から読書、映画、音楽、スポーツや趣味など、何か学ぶことに取り組んでいますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

【全体】

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は57.2%（昨年55.1%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は42.8%（昨年44.9%）という結果になっています。



【性別】

日頃から何か学ぶことに取り組んでいると答えた人は、男性が58.0%、女性が56.7%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計826人
男	26.0%	15.4%	16.6%	19.5%	22.5%	338人
女	20.3%	17.8%	18.6%	18.4%	24.8%	488人

[年代別]

日頃から何か学ぶことに取り組んでいると答えた人は、いずれの地区も50～60%台という結果になっています。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計832人
20～29	16.7%	28.3%	23.3%	16.7%	15.0%	60人
30～39	23.5%	19.4%	19.4%	12.2%	25.5%	98人
40～49	16.7%	23.7%	17.5%	20.2%	21.9%	114人
50～59	20.8%	11.4%	18.8%	28.9%	20.1%	149人
60～64	25.5%	12.3%	16.0%	19.8%	26.4%	106人
65～69	23.4%	14.4%	18.9%	18.0%	25.2%	111人
70～	26.8%	15.5%	15.5%	14.4%	27.8%	194人

[地区別]

日頃から何か学ぶことに取り組んでいると答えた人は、多くの地区で50～60%台であるのに対し、灘手・北谷・高城地区は43%前後という結果になっています。

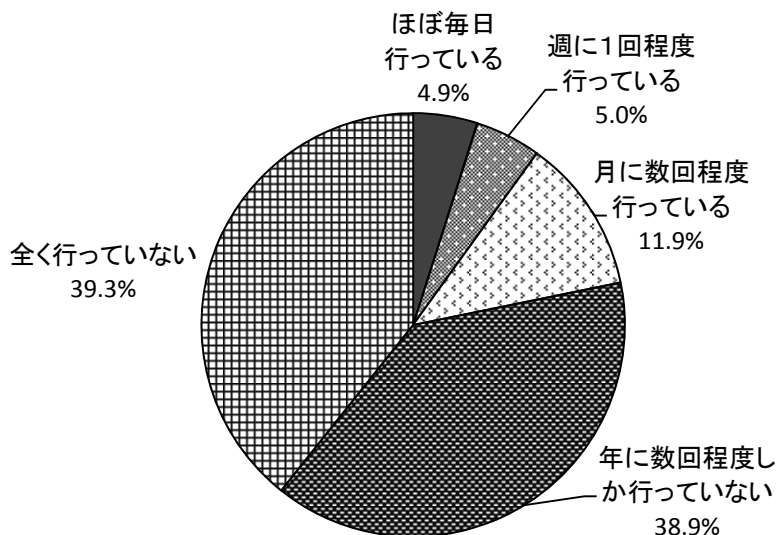
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計820人
上北条	26.8%	21.4%	16.1%	10.7%	25.0%	56人
上井	25.2%	18.9%	15.0%	18.9%	22.0%	127人
西郷	15.6%	20.3%	15.6%	20.3%	28.1%	64人
上灘	18.8%	17.6%	25.9%	18.8%	18.8%	85人
成徳	25.8%	17.7%	17.7%	21.0%	17.7%	62人
明倫	25.0%	14.1%	23.4%	14.1%	23.4%	64人
灘手	26.1%	4.3%	13.0%	21.7%	34.8%	23人
社	21.8%	20.5%	19.2%	15.4%	23.1%	78人
北谷	19.2%	7.7%	15.4%	34.6%	23.1%	26人
高城	17.4%	8.7%	17.4%	26.1%	30.4%	23人
小鴨	24.8%	15.0%	18.6%	18.6%	23.0%	113人
上小鴨	27.3%	21.2%	15.2%	15.2%	21.2%	33人
関金	18.2%	12.1%	16.7%	25.8%	27.3%	66人

問8③ あなたは日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら活動を行ったりすることがありますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

[全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は21.8%（昨年19.0%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は78.2%（昨年80.9%）という結果になっています。



[性別]

日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあると答えた人は、男性が19.3%、女性が23.6%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
男	5.6%	3.6%	10.1%	36.4%	44.4%	計829人 338人
女	4.3%	6.1%	13.2%	41.1%	35.2%	491人

[年代別]

日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあると答えた人は、いずれの年代も20%前後と大きなバラつきは見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
20~29	5.0%	6.7%	10.0%	45.0%	33.3%	計835人 60人
30~39	5.1%	7.1%	12.2%	35.7%	39.8%	98人
40~49	3.5%	5.3%	13.2%	35.1%	43.0%	114人
50~59	3.4%	5.4%	9.4%	43.0%	38.9%	149人
60~64	4.7%	4.7%	9.3%	35.5%	45.8%	107人
65~69	5.4%	3.6%	12.6%	42.3%	36.0%	111人
70~	6.6%	4.1%	14.3%	37.8%	37.2%	196人

[地区別]

日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあると答えた人は、上北条・明倫地区は29%前後であるのに対し、灘手地区は13.0%という結果になっています。

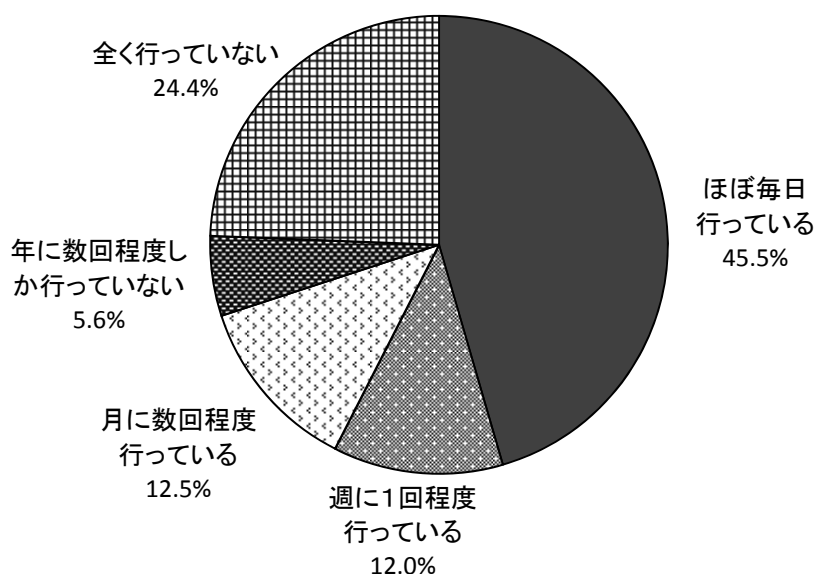
	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	
上北条	5.4%	8.9%	14.3%	41.1%	30.4%	計823人 56人
上井	4.7%	3.1%	10.1%	45.7%	36.4%	129人
西郷	6.3%	0.0%	12.5%	43.8%	37.5%	64人
上灘	7.1%	7.1%	12.9%	36.5%	36.5%	85人
成徳	4.8%	9.7%	9.7%	38.7%	37.1%	62人
明倫	9.4%	6.3%	14.1%	29.7%	40.6%	64人
灘手	0.0%	4.3%	8.7%	43.5%	43.5%	23人
社	2.5%	3.8%	16.3%	32.5%	45.0%	80人
北谷	3.8%	0.0%	11.5%	42.3%	42.3%	26人
高城	13.0%	0.0%	4.3%	30.4%	52.2%	23人
小鴨	3.5%	6.2%	10.6%	40.7%	38.9%	113人
上小鴨	6.1%	3.0%	6.1%	48.5%	36.4%	33人
関金	1.5%	6.2%	12.3%	35.4%	44.6%	65人

問8④ あなたは情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡を取ることがありますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

[全体]

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は70.0%（昨年68.4%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は30.0%（昨年31.6%）という結果になっています。



[性別]

情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡をとることがあると答えた人は、女性が72.7%、男性が66.3%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	計
男	45.6%	9.8%	10.9%	6.5%	27.2%	338人
女	45.5%	13.5%	13.7%	5.1%	22.2%	490人

[年代別]

情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡をとることがあると答えた人は、年代が低くなるほど高くなる傾向があり、20歳代では98.3%と最も高い結果になっています。

年代	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度しか行っていない	全く行っていない	計
20～29	75.0%	10.0%	13.3%	0.0%	1.7%	60人
30～39	68.0%	14.4%	9.3%	0.0%	8.2%	97人
40～49	66.7%	16.7%	7.0%	3.5%	6.1%	114人
50～59	47.3%	12.8%	14.2%	8.8%	16.9%	148人
60～64	32.1%	12.3%	17.9%	6.6%	31.1%	106人
65～69	31.8%	10.0%	15.5%	6.4%	36.4%	110人
70～	26.8%	9.1%	11.1%	8.1%	44.9%	198人

【地区別】

情報等を得るためにインターネットや携帯電話、メールを使って他の人と連絡をとることがあると答えた人は、多くの地区で60～70%台であるのに対し、成徳地区は55.7%という結果になっています。

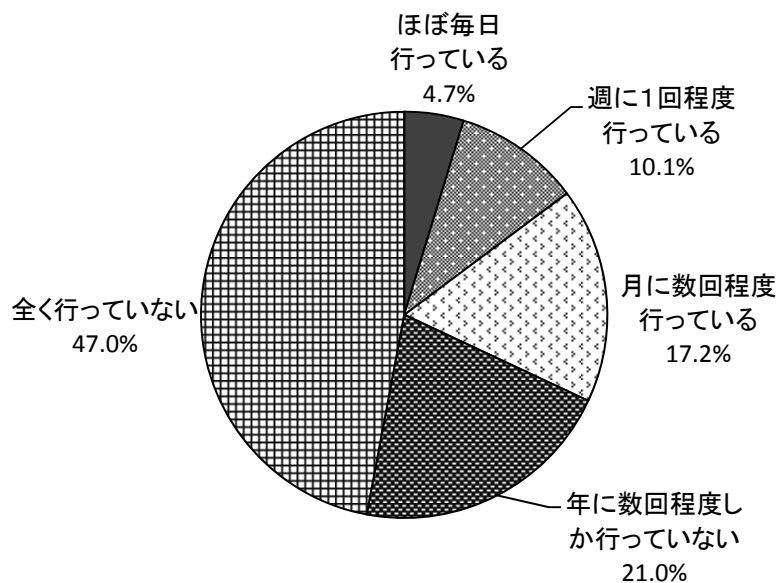
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計821人
上北条	42.9%	14.3%	14.3%	3.6%	25.0%	56人
上井	49.6%	7.0%	13.2%	7.8%	22.5%	129人
西郷	43.8%	10.9%	15.6%	6.3%	23.4%	64人
上灘	57.1%	8.3%	14.3%	3.6%	16.7%	84人
成徳	31.1%	18.0%	6.6%	11.5%	32.8%	61人
明倫	45.3%	10.9%	6.3%	6.3%	31.3%	64人
灘手	43.5%	13.0%	13.0%	4.3%	26.1%	23人
社	46.9%	12.3%	9.9%	2.5%	28.4%	81人
北谷	46.2%	15.4%	3.8%	7.7%	26.9%	26人
高城	52.2%	4.3%	8.7%	0.0%	34.8%	23人
小鴨	46.5%	11.4%	11.4%	8.8%	21.9%	114人
上小鴨	39.4%	27.3%	12.1%	0.0%	21.2%	33人
関金	41.3%	15.9%	20.6%	3.2%	19.0%	63人

問8⑤ 65歳以上の方にお聞きします。あなたは地域において何か活動（老人クラブ、公民館活動、趣味のサークル等）をしていますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

【全体】

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は32.0%（昨年38.7%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は68.0%（昨年61.4%）という結果になっています。



【性別】

地域において何か活動していると答えた人は、男性が33.1%、女性が31.5%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計336人
男	8.1%	10.3%	14.7%	19.1%	47.8%	136人
女	2.5%	10.0%	19.0%	22.5%	46.0%	200人

【地区別】

地域において何か活動していると答えた人は、多くの地区で25～30%台であるのに対し、上小鴨地区は50.0%という結果になっています。

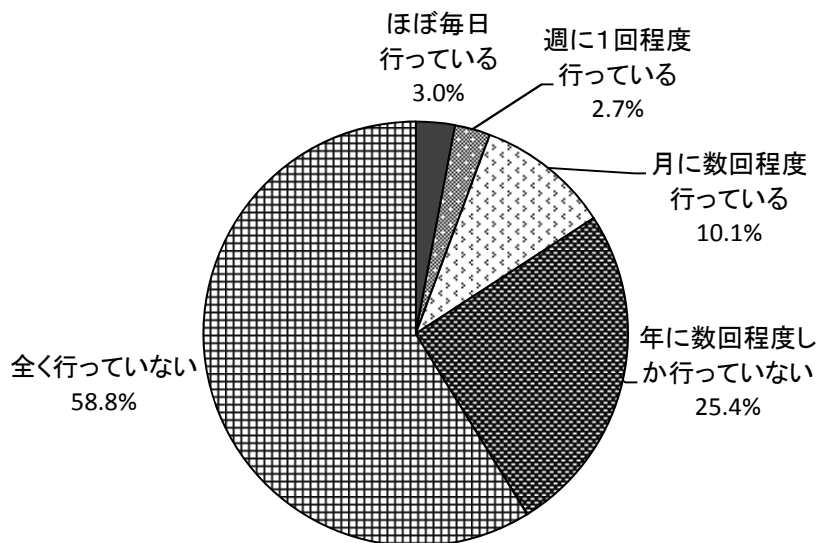
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計332人
上北条	5.3%	10.5%	21.1%	21.1%	42.1%	19人
上井	5.7%	11.3%	13.2%	15.1%	54.7%	53人
西郷	0.0%	10.0%	15.0%	25.0%	50.0%	20人
上灘	0.0%	6.9%	20.7%	34.5%	37.9%	29人
成徳	3.0%	15.2%	15.2%	9.1%	57.6%	33人
明倫	8.8%	5.9%	14.7%	29.4%	41.2%	34人
灘手	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	8人
社	0.0%	8.6%	20.0%	14.3%	57.1%	35人
北谷	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	50.0%	10人
高城	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	62.5%	8人
小鴨	10.2%	6.1%	20.4%	20.4%	42.9%	49人
上小鴨	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	40.0%	10人
関金	4.2%	8.3%	16.7%	41.7%	29.2%	24人

問8⑥ 65歳以上の方にお聞きします。あなたは過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがありますか。

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度しか行っていない
5. 全く行っていない

【全体】

「1. ほぼ毎日行っている」「2. 週に1回程度行っている」「3. 月に数回程度行っている」と答えた人は15.8%（昨年14.9%）で、「4. 年に数回程度しか行っていない」「5. 全く行っていない」と答えた人は84.2%（昨年85.0%）という結果になっています。



【性別】

過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがあると答えた人は、男性が18.2%、女性が14.3%と男女間に差は見られませんでした。

	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計333人
男	5.1%	2.9%	10.2%	32.1%	49.6%	137人
女	1.5%	2.6%	10.2%	20.9%	64.8%	196人

【地区別】

過去1年間にボランティアなどの社会貢献活動に参加したことがあると答えた人は、地区ごとにバラつきが見られ、上小鴨地区が44.4%であるのに対し、成徳地区は3.1%という結果になっています。

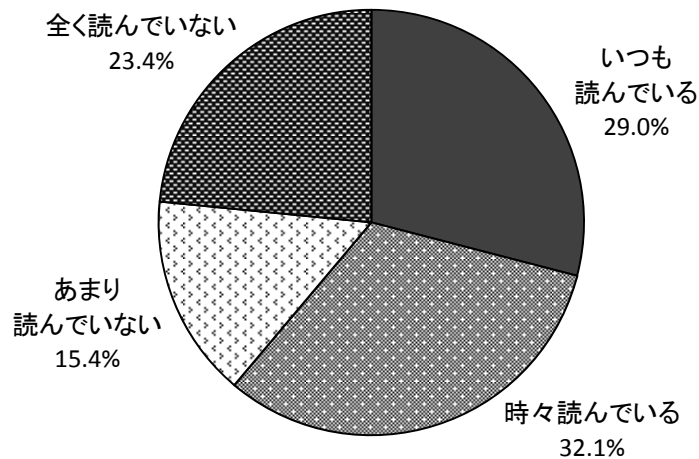
	ほぼ毎日 行っている	週に1回程度 行っている	月に数回程度 行っている	年に数回程度しか 行っていない	全く 行っていない	計329人
上北条	0.0%	0.0%	31.6%	10.5%	57.9%	19人
上井	3.8%	3.8%	11.5%	11.5%	69.2%	52人
西郷	0.0%	5.0%	10.0%	10.0%	75.0%	20人
上灘	3.2%	0.0%	12.9%	38.7%	45.2%	31人
成徳	3.1%	0.0%	0.0%	37.5%	59.4%	32人
明倫	5.9%	2.9%	11.8%	29.4%	50.0%	34人
灘手	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%	8人
社	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	70.6%	34人
北谷	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	50.0%	10人
高城	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%	7人
小鴨	4.1%	2.0%	4.1%	30.6%	59.2%	49人
上小鴨	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	9人
関金	0.0%	4.2%	8.3%	41.7%	45.8%	24人

問9 あなたは、お住まいの地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがありますか。

1. いつも読んでいる
2. 時々読んでいる
3. あまり読んでいない
4. 全く読んでいない

【全体】

「1. いつも読んでいる」「2. 時々読んでいる」と答えた人は61.1%（昨年62.9%）で、「3. あまり読んでいない」「4. 全く読んでいない」と答えた人は38.8%（昨年37.1%）という結果になっています。



【性別】

地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがあると答えた人は、女性が66.0%であるのに対し、男性が54.3%という結果になっています。

	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	あまり 読んでいない	全く 読んでいない	計869人
男	24.0%	30.3%	17.3%	28.3%	346人
女	32.5%	33.5%	14.1%	19.9%	523人

[年代別]

地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがあると答えた人は、40歳代は73.7%と高いのに対し、20歳代は21.4%という結果になっています。

	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	あまり 読んでいない	全く 読んでいない	
20～29	6.6%	14.8%	27.9%	50.8%	計875人 61人
30～39	29.6%	18.4%	12.2%	39.8%	98人
40～49	41.2%	32.5%	7.9%	18.4%	114人
50～59	27.5%	31.5%	17.4%	23.5%	149人
60～64	23.8%	30.5%	19.0%	26.7%	105人
65～69	26.5%	41.9%	16.2%	15.4%	117人
70～	33.3%	38.5%	13.9%	14.3%	231人

[地区別]

地域の学校が出している『学校だより』などを読まれることがあると答えた人は、灘手地区は87.5%と高いのに対し、上井地区は51.6%という結果になっています。

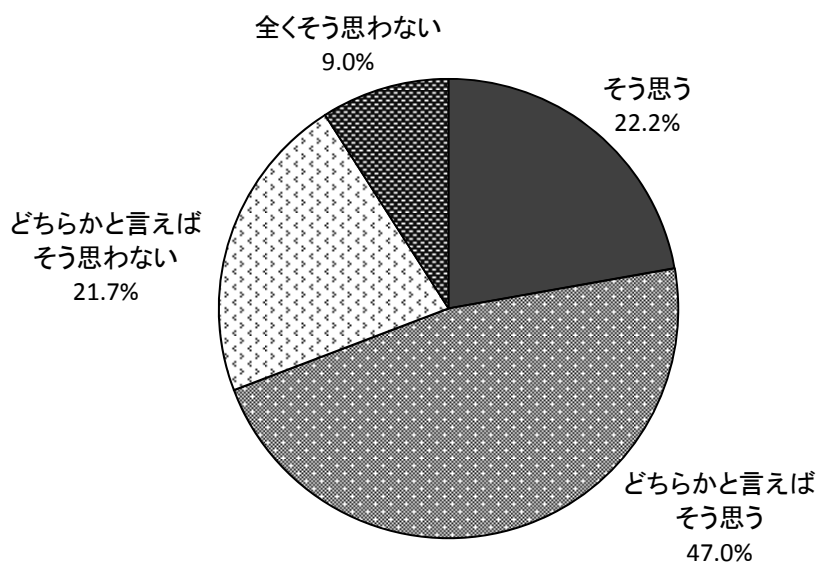
	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	あまり 読んでいない	全く 読んでいない	
上北条	36.8%	22.8%	14.0%	26.3%	計863人 57人
上井	23.1%	28.5%	12.3%	36.2%	130人
西郷	27.3%	40.9%	9.1%	22.7%	66人
上灘	31.0%	31.0%	13.8%	24.1%	87人
成徳	25.0%	39.1%	10.9%	25.0%	64人
明倫	24.2%	31.8%	21.2%	22.7%	66人
灘手	58.3%	29.2%	0.0%	12.5%	24人
社	24.1%	33.3%	18.4%	24.1%	87人
北谷	35.7%	35.7%	17.9%	10.7%	28人
高城	37.0%	37.0%	7.4%	18.5%	27人
小鴨	23.3%	33.3%	25.8%	17.5%	120人
上小鴨	30.6%	25.0%	19.4%	25.0%	36人
関金	42.3%	33.8%	12.7%	11.3%	71人

問10 あなたは、ご自身が心身ともに健康だと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は69.2%（昨年69.3%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は30.7%（昨年30.6%）という結果になっています。



[性別]

自分自身が心身ともに健康だと答えた人は、女性は72.4%、男性は65.3%と大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計868人
男	21.1%	44.2%	22.5%	12.1%	346人
女	23.0%	49.4%	20.7%	6.9%	522人

[年代別]

自分自身が心身ともに健康だと答えた人は、いずれの年代も60~70%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計874人
20~29	32.8%	45.9%	14.8%	6.6%	61人
30~39	26.5%	53.1%	14.3%	6.1%	98人
40~49	21.9%	48.2%	24.6%	5.3%	114人
50~59	22.4%	40.8%	26.5%	10.2%	147人
60~64	20.8%	47.2%	24.5%	7.5%	106人
65~69	23.1%	47.0%	22.2%	7.7%	117人
70~	17.7%	48.1%	20.8%	13.4%	231人

[地区別]

自分自身が心身ともに健康だと答えた人は、いずれの地区も60~70%台という結果になっています。

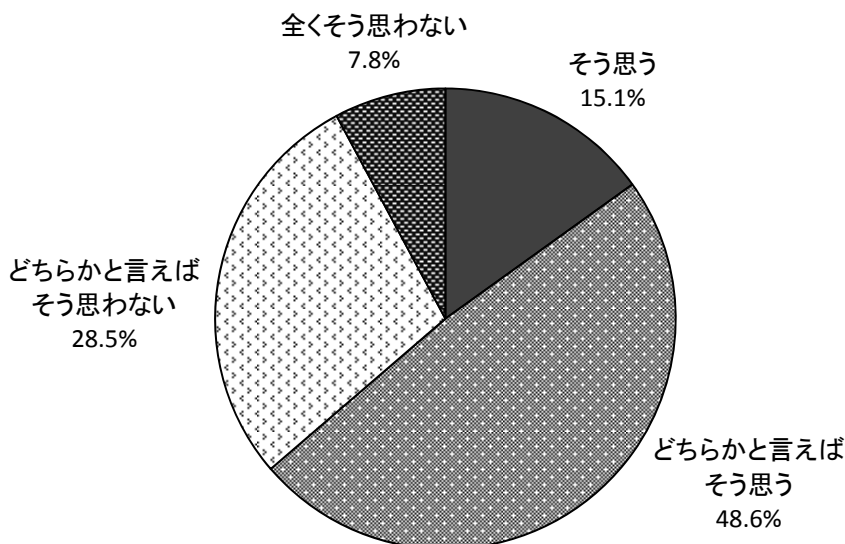
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計862人
上北条	21.1%	45.6%	17.5%	15.8%	57人
上井	21.2%	51.5%	17.4%	9.8%	132人
西郷	22.4%	43.3%	25.4%	9.0%	67人
上灘	21.8%	54.0%	13.8%	10.3%	87人
成徳	25.0%	43.8%	20.3%	10.9%	64人
明倫	19.7%	47.0%	24.2%	9.1%	66人
灘手	20.8%	45.8%	20.8%	12.5%	24人
社	20.7%	47.1%	24.1%	8.0%	87人
北谷	25.9%	44.4%	22.2%	7.4%	27人
高城	12.0%	64.0%	20.0%	4.0%	25人
小鴨	22.5%	50.0%	20.8%	6.7%	120人
上小鴨	22.2%	41.7%	25.0%	11.1%	36人
関金	24.3%	37.1%	32.9%	5.7%	70人

問11 倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は63.7%（昨年65.4%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は36.3%（昨年34.7%）という結果になっています。



〔性別〕

倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと答えた人は、女性が64.0%、男性が63.2%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計862人
男	15.1%	48.1%	27.8%	9.0%	345人
女	15.1%	48.9%	29.0%	7.0%	517人

〔年代別〕

倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと答えた人は、40歳代以降年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上は72.8%、20歳代は50歳代より高く64.0%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計868人
20～29	14.8%	49.2%	26.2%	9.8%	61人
30～39	13.3%	43.9%	32.7%	10.2%	98人
40～49	8.0%	45.1%	38.9%	8.0%	113人
50～59	13.6%	46.9%	30.6%	8.8%	147人
60～64	17.0%	44.3%	29.2%	9.4%	106人
65～69	9.0%	58.6%	26.1%	6.3%	111人
70～	22.4%	50.4%	21.6%	5.6%	232人

【地区別】

倉吉市は高齢期になっても、安心して暮らせるまちだと答えた人は、いずれの地区も50～70%台という結果になっています。

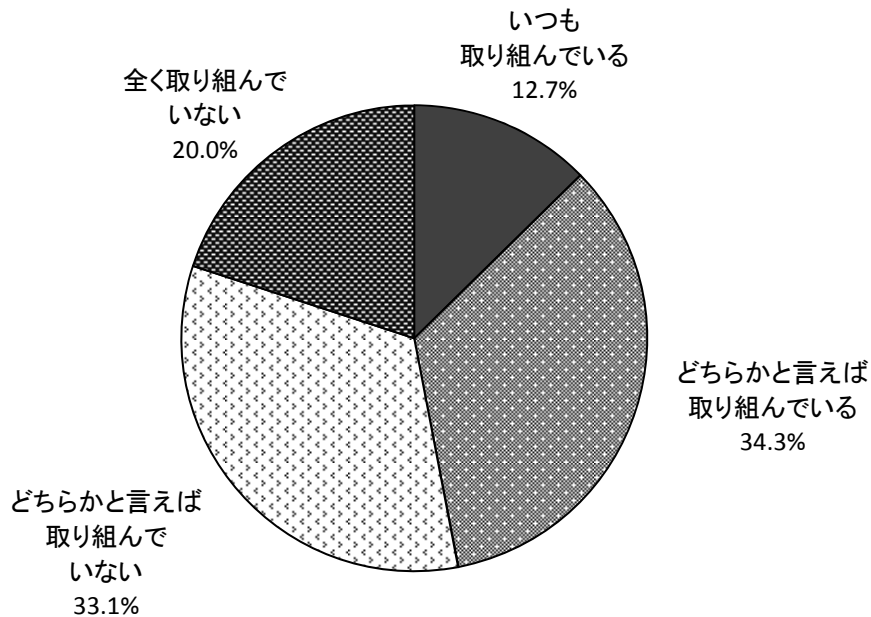
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計856人
上北条	13.8%	50.0%	27.6%	8.6%	58人
上井	14.4%	52.8%	23.2%	9.6%	125人
西郷	10.4%	59.7%	28.4%	1.5%	67人
上灘	19.5%	47.1%	28.7%	4.6%	87人
成徳	18.8%	53.1%	23.4%	4.7%	64人
明倫	21.2%	45.5%	18.2%	15.2%	66人
灘手	8.3%	41.7%	45.8%	4.2%	24人
社	19.5%	43.7%	33.3%	3.4%	87人
北谷	11.1%	40.7%	40.7%	7.4%	27人
高城	15.4%	53.8%	19.2%	11.5%	26人
小鴨	14.4%	40.7%	34.7%	10.2%	118人
上小鴨	5.6%	52.8%	30.6%	11.1%	36人
関金	8.5%	54.9%	28.2%	8.5%	71人

問12 あなたは、普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいますか。

1. いつも取り組んでいる
2. どちらかと言えば取り組んでいる
3. どちらかと言えば取り組んでいない
4. 全く取り組んでいない

【全体】

「1. いつも取り組んでいる」「2. どちらかと言えば取り組んでいる」と答えた人は47.0%（昨年48.8%）で、「3. どちらかと言えば取り組んでいない」「4. 全く取り組んでいない」と答えた人は53.1%（昨年51.2%）という結果になっています。



【性別】

普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいると答えた人は、男性が47.9%、女性が46.6%と男女間に差は見られませんでした。

	取り組んでいる	どちらかと言えば 取り組んでいる	どちらかと言えば 取り組んでいない	全く 取り組んでいない	
					計871人
男	13.3%	34.6%	33.1%	19.0%	347人
女	12.4%	34.2%	33.2%	20.2%	524人

[年代別]

普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいると答えた人は、20歳代・40歳代が20%台と低いのに対し、70歳以上が64.7%という結果になっています。

	取り組んでいる	どちらかと言えば 取り組んでいる	どちらかと言えば 取り組んでいない	全く 取り組んでいない	
					計877人
20～29	3.3%	26.2%	41.0%	29.5%	61人
30～39	6.1%	32.7%	32.7%	28.6%	98人
40～49	7.0%	21.1%	48.2%	23.7%	114人
50～59	9.4%	30.2%	43.0%	17.4%	149人
60～64	16.0%	30.2%	30.2%	23.6%	106人
65～69	17.1%	39.3%	23.9%	19.7%	117人
70～	19.0%	45.7%	23.3%	12.1%	232人

[地区別]

普段から自主的に健康づくりのための活動に取り組んでいると答えた人は、いずれの地区も30～50%台という結果になっています。

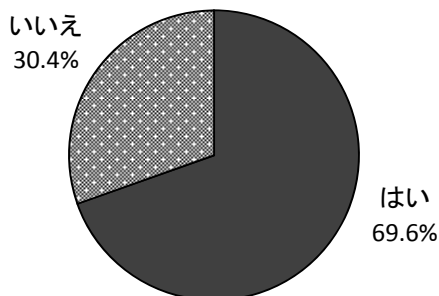
	取り組んでいる	どちらかと言えば 取り組んでいる	どちらかと言えば 取り組んでいない	全く 取り組んでいない	
					計865人
上北条	19.0%	34.5%	19.0%	27.6%	58人
上井	12.8%	33.8%	30.8%	22.6%	133人
西郷	12.1%	31.8%	33.3%	22.7%	66人
上灘	18.4%	34.5%	32.2%	14.9%	87人
成徳	12.5%	45.3%	21.9%	20.3%	64人
明倫	18.2%	31.8%	28.8%	21.2%	66人
灘手	12.5%	29.2%	50.0%	8.3%	24人
社	5.7%	44.8%	34.5%	14.9%	87人
北谷	10.7%	28.6%	42.9%	17.9%	28人
高城	3.8%	42.3%	30.8%	23.1%	26人
小鴨	10.8%	27.5%	40.8%	20.8%	120人
上小鴨	13.9%	38.9%	30.6%	16.7%	36人
関金	10.0%	28.6%	41.4%	20.0%	70人

問13 あなたは日頃から利用している「かかりつけ医」を持っていますか。

1. はい
2. いいえ

[全体]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は69.6%（昨年69.7%）で、持っていないと答えた人は30.4%（昨年30.3%）という結果になっています。



[性別]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は、女性が71.9%、男性が66.7%と男女間に差は見られませんでした。

	はい	いいえ	
男	66.7%	33.3%	計875人 348人
女	71.9%	28.1%	527人

[年代別]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上が88.1%と最も高い結果になっています。

年代	はい	いいえ	計
20～29	50.8%	49.2%	61人
30～39	54.1%	45.9%	98人
40～49	64.0%	36.0%	114人
50～59	61.7%	38.3%	149人
60～64	67.0%	33.0%	106人
65～69	72.6%	27.4%	117人
70～	88.1%	11.9%	236人

[地区別]

「かかりつけ医」を持っていると答えた人は、高城地区が82.1%と高いのに対し、西郷地区は59.7%という結果になっています。

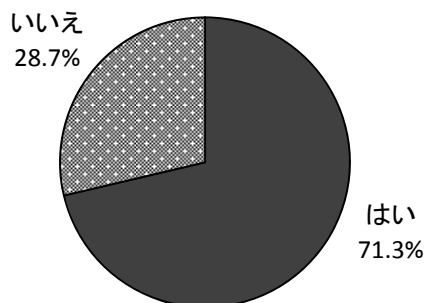
地区	はい	いいえ	計
上北条	73.7%	26.3%	57人
上井	68.7%	31.3%	134人
西郷	59.7%	40.3%	67人
上灘	69.0%	31.0%	87人
成徳	75.0%	25.0%	64人
明倫	71.2%	28.8%	66人
灘手	75.0%	25.0%	24人
社	66.7%	33.3%	87人
北谷	82.1%	17.9%	28人
高城	70.4%	29.6%	27人
小鴨	68.6%	31.4%	121人
上小鴨	72.2%	27.8%	36人
関金	70.4%	29.6%	71人

問14 あなたは、年に1回は健康診査を受診していますか。

1. はい
2. いいえ

〔全体〕

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は71.3%（昨年71.3%）、受診していないと答えた人は28.7%（昨年28.7%）という結果になっています。



〔性別〕

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は、男性が77.2%、女性が67.9%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	はい	いいえ	
			計873人
男	77.2%	22.8%	347人
女	67.9%	32.1%	526人

〔年代別〕

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は、いずれの年代も60~70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	はい	いいえ	
			計879人
20~29	63.9%	36.1%	61人
30~39	77.6%	22.4%	98人
40~49	74.6%	25.4%	114人
50~59	77.9%	22.1%	149人
60~64	61.0%	39.0%	105人
65~69	65.0%	35.0%	117人
70~	72.8%	27.2%	235人

〔地区別〕

年に1回は健康診査を受診していると答えた人は、高城地区が88.9%と高いのに対し、上井地区は65.4%という結果になっています。

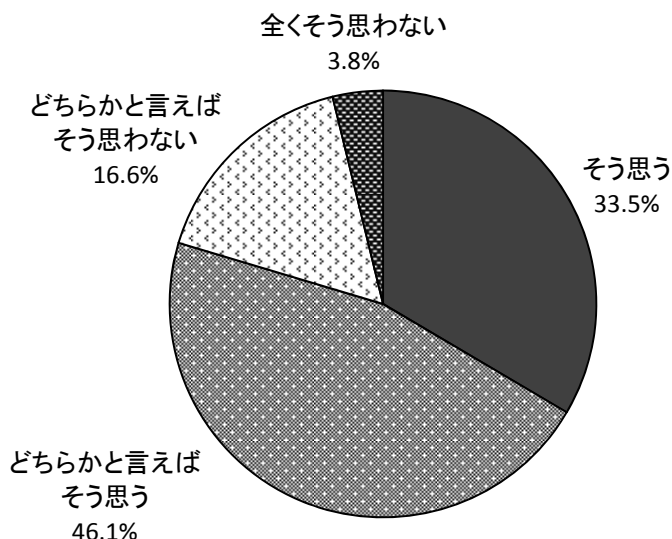
	はい	いいえ	
			計867人
上北条	73.7%	26.3%	57人
上井	65.4%	34.6%	133人
西郷	71.6%	28.4%	67人
上灘	70.1%	29.9%	87人
成徳	68.8%	31.3%	64人
明倫	71.2%	28.8%	66人
灘手	87.5%	12.5%	24人
社	68.2%	31.8%	88人
北谷	67.9%	32.1%	28人
高城	88.9%	11.1%	27人
小鴨	68.1%	31.9%	119人
上小鴨	77.8%	22.2%	36人
関金	80.3%	19.7%	71人

問15 あなたは、身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は79.6%（昨年78.0%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は20.4%（昨年22.0%）という結果になっています。



[性別]

身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると答えた人は、女性が80.0%、男性が79.4%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計863人
男	34.9%	44.5%	16.0%	4.7%	344人
女	32.6%	47.4%	17.0%	3.1%	519人

[年代別]

身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では87.9%と最も高い結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
					計869人
20~29	32.8%	39.3%	26.2%	1.6%	61人
30~39	30.5%	45.3%	20.0%	4.2%	95人
40~49	23.0%	53.1%	18.6%	5.3%	113人
50~59	28.4%	51.4%	15.5%	4.7%	148人
60~64	28.3%	50.9%	17.0%	3.8%	106人
65~69	24.3%	49.6%	20.9%	5.2%	115人
70~	50.2%	37.7%	10.0%	2.2%	231人

〔地区別〕

身近な場所で必要な医療サービスが受けられていると答えた人は、いずれの地区も70～90%台という結果になっています。

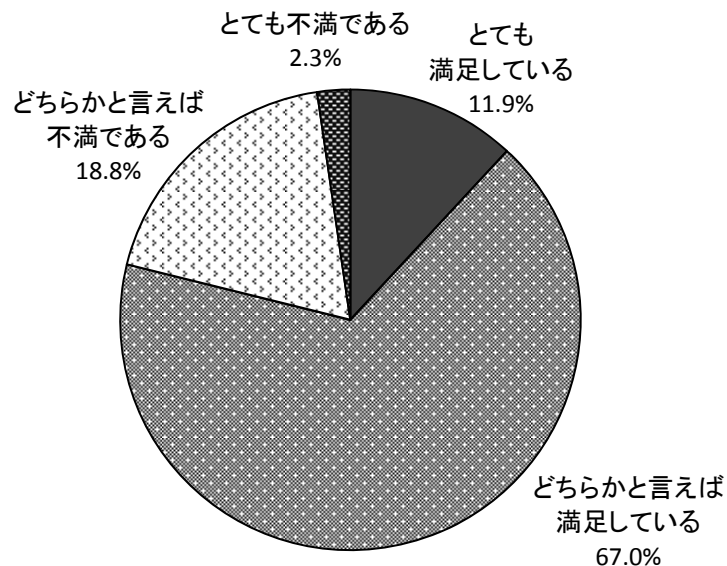
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	
上北条	38.6%	38.6%	19.3%	3.5%	計858人 57人
上井	36.2%	46.9%	13.8%	3.1%	130人
西郷	23.9%	56.7%	17.9%	1.5%	67人
上灘	41.9%	41.9%	15.1%	1.2%	86人
成徳	45.3%	43.8%	9.4%	1.6%	64人
明倫	31.3%	39.1%	20.3%	9.4%	64人
灘手	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	24人
社	28.7%	43.7%	23.0%	4.6%	87人
北谷	22.2%	48.1%	25.9%	3.7%	27人
高城	26.9%	42.3%	30.8%	0.0%	26人
小鴨	30.0%	47.5%	16.7%	5.8%	120人
上小鴨	44.4%	47.2%	5.6%	2.8%	36人
関金	21.4%	60.0%	12.9%	5.7%	70人

問16 あなたは日頃から利用している市内の医療機関やそのサービスに満足していますか。

1. とても満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば不満である
4. とても不満である

〔全体〕

「1. とても満足している」「2. どちらかと言えば満足している」と答えた人は78.9%（昨年77.2%）で、「3. どちらかと言えば不満である」「4. とても不満である」と答えた人は21.1%（昨年22.9%）という結果になっています。



〔性別〕

市内の医療機関やサービスに満足していると答えた人は、男性が79.0%、女性が78.9%と男女間に男女間に差は見られませんでした。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
男	10.2%	68.8%	17.8%	3.2%	計861人 343人
女	12.9%	66.0%	19.5%	1.5%	518人

[年代別]

市内の医療機関やサービスに満足していると答えた人は、いずれの年代も60～80%台という結果になっています。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
					計866人
20～29	6.7%	76.7%	15.0%	1.7%	60人
30～39	8.3%	61.5%	27.1%	3.1%	96人
40～49	8.0%	66.4%	23.0%	2.7%	113人
50～59	9.5%	61.9%	23.8%	4.8%	147人
60～64	9.5%	68.6%	20.0%	1.9%	105人
65～69	6.3%	71.4%	19.6%	2.7%	112人
70～	21.9%	67.4%	10.3%	0.4%	233人

[地区別]

市内の医療機関やサービスに満足していると答えた人は、いずれの地区も70～80%台と大きなバラつきは見られませんでした。

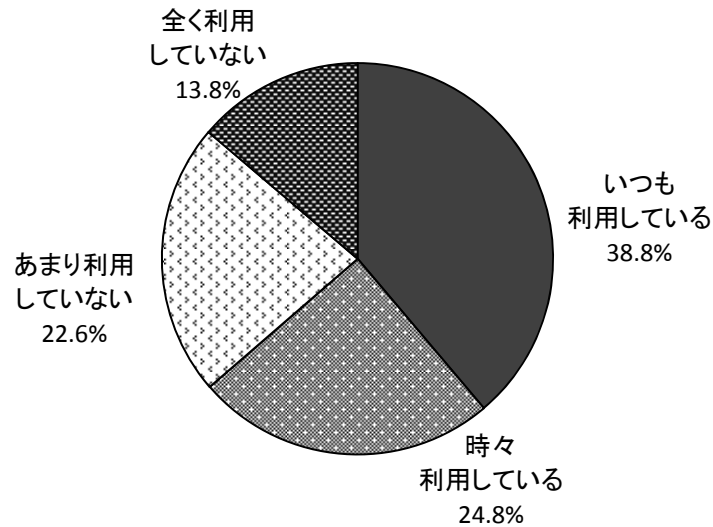
	取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいる	どちらかと言えば取り組んでいない	全く取り組んでいない	
					計855人
上北条	10.5%	73.7%	12.3%	3.5%	57人
上井	16.4%	64.8%	15.6%	3.1%	128人
西郷	6.0%	70.1%	22.4%	1.5%	67人
上灘	8.2%	74.1%	16.5%	1.2%	85人
成徳	19.0%	68.3%	9.5%	3.2%	63人
明倫	7.8%	73.4%	17.2%	1.6%	64人
灘手	8.3%	70.8%	20.8%	0.0%	24人
社	12.6%	59.8%	26.4%	1.1%	87人
北谷	10.7%	71.4%	17.9%	0.0%	28人
高城	11.5%	61.5%	26.9%	0.0%	26人
小鴨	9.2%	65.0%	20.8%	5.0%	120人
上小鴨	25.7%	60.0%	11.4%	2.9%	35人
関金	12.7%	63.4%	22.5%	1.4%	71人

問17 あなたは、日頃から買い物等をする際に、倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用しますか。

1. いつも利用している
2. 時々利用している
3. あまり利用していない
4. 全く利用していない

[全体]

「1. いつも利用している」「2. 時々利用している」と答えた人は63.6%（昨年60.8%）で、「3. あまり利用していない」「4. 全く利用していない」と答えた人は36.4%（昨年39.1%）という結果になっています。



[性別]

買い物をする際に上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していると答えた人は、女性が64.8%、男性が61.8%と男女間に差は見られませんでした。

	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
男	37.6%	24.2%	23.1%	15.1%	計885人 351人
女	39.7%	25.1%	22.3%	12.9%	534人

[年代別]

買い物をする際に上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では80.5%と最も高い結果になっています。

	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
20～29	4.9%	32.8%	37.7%	24.6%	計891人 61人
30～39	19.6%	18.6%	37.1%	24.7%	97人
40～49	24.6%	27.2%	28.1%	20.2%	114人
50～59	38.2%	21.1%	30.9%	9.9%	152人
60～64	46.4%	20.0%	20.0%	13.6%	110人
65～69	44.8%	33.6%	12.9%	8.6%	116人
70～	56.0%	24.5%	10.8%	8.7%	241人

[地区別]

買い物をする際に上井地区や成徳・明倫地区の商店街を利用していると答えた人は、上井・成徳・明倫地区が75%以上、その他の地区が40～60%台という結果になっています。

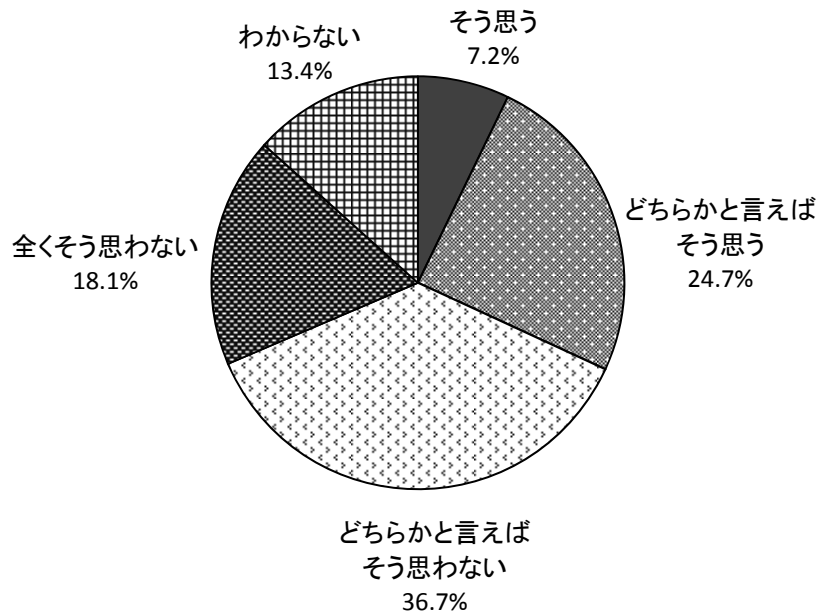
	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
上北条	39.3%	19.6%	28.6%	12.5%	計861人 56人
上井	53.8%	21.2%	17.4%	7.6%	132人
西郷	37.9%	27.3%	16.7%	18.2%	66人
上灘	23.5%	21.2%	35.3%	20.0%	85人
成徳	60.9%	14.1%	15.6%	9.4%	64人
明倫	63.6%	21.2%	9.1%	6.1%	66人
灘手	20.8%	33.3%	20.8%	25.0%	24人
社	37.9%	25.3%	23.0%	13.8%	87人
北谷	35.7%	14.3%	25.0%	25.0%	28人
高城	18.5%	40.7%	29.6%	11.1%	27人
小鴨	31.1%	30.3%	21.8%	16.8%	119人
上小鴨	34.3%	22.9%	28.6%	14.3%	35人
関金	13.9%	41.7%	31.9%	12.5%	72人

問18 あなたは倉吉駅を中心とした上井地区や成徳・明倫地区の商店街は買い物しやすく魅力があると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は31.9%（昨年30.3%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は54.8%（昨年57.9%）という結果になっています。



[性別]

買い物しやすく魅力があると答えた人は、女性が33.2%、男性が29.8%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
男	7.1%	22.7%	35.2%	20.2%	14.8%	計885人 352人
女	7.3%	25.9%	37.9%	16.5%	12.4%	533人

[年代別]

買い物しやすく魅力があると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では48.6%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
20～29	1.6%	14.5%	40.3%	27.4%	16.1%	計891人 62人
30～39	8.2%	11.3%	40.2%	25.8%	14.4%	97人
40～49	3.5%	14.9%	47.4%	25.4%	8.8%	114人
50～59	6.6%	23.7%	42.8%	17.1%	9.9%	152人
60～64	5.5%	23.9%	37.6%	17.4%	15.6%	109人
65～69	4.2%	29.7%	28.0%	21.2%	16.9%	118人
70～	12.6%	36.0%	29.3%	8.4%	13.8%	239人

[地区別]

買い物しやすく魅力があると答えた人は、多くの地区で20～30%台であるのに対し、明倫地区では47.0%という結果になっています。

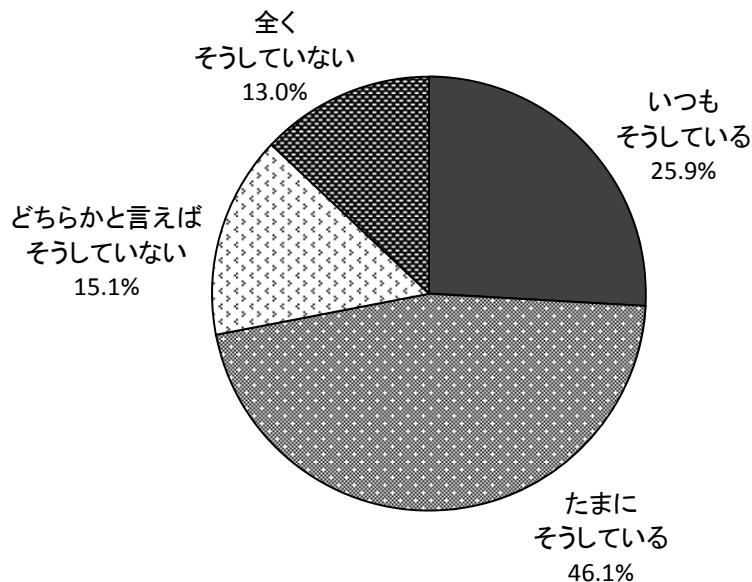
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
上北条	6.9%	25.9%	34.5%	24.1%	8.6%	計861人 58人
上井	10.5%	28.6%	32.3%	18.0%	10.5%	133人
西郷	6.2%	18.5%	41.5%	13.8%	20.0%	65人
上灘	4.7%	23.5%	37.6%	21.2%	12.9%	85人
成徳	4.7%	35.9%	28.1%	20.3%	10.9%	64人
明倫	10.6%	36.4%	31.8%	10.6%	10.6%	66人
灘手	4.2%	20.8%	45.8%	12.5%	16.7%	24人
社	7.0%	23.3%	36.0%	22.1%	11.6%	86人
北谷	3.6%	32.1%	28.6%	21.4%	14.3%	28人
高城	7.4%	25.9%	37.0%	14.8%	14.8%	27人
小鴨	2.5%	22.9%	37.3%	22.0%	15.3%	118人
上小鴨	11.4%	8.6%	51.4%	11.4%	17.1%	35人
関金	5.6%	15.3%	48.6%	11.1%	19.4%	72人

問19 あなたはスーパー等で農産物を買う際に倉吉産のものを選ぶようにしていますか。

1. いつもそうしている
2. たまにそうしている
3. どちらかと言えばそうしていない
4. 全くそうしていない

[全体]

「1. いつもそうしている」「2. たまにそうしている」と答えた人は72.0%（昨年70.3%）で、「3. どちらかと言えばそうしていない」「4. 全くそうしていない」と答えた人は28.1%（昨年29.8%）という結果になっています。



[性別]

倉吉産のものを選ぶようにしていると答えた人は、女性が78.0%と高いのに対し、男性は63.1%という結果になっています。

	いつも そうしている	たまに そうしている	どちらかと言えば そうしていない	全く そうしていない	
男	15.8%	47.3%	17.2%	19.8%	計882人 349人
女	32.6%	45.4%	13.5%	8.4%	533人

〔年代別〕

倉吉産のものを選ぶようにしていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、65歳以上は80%以上という結果になっています。

	いつも そうしている	たまに そうしている	どちらかと言えば そうしていない	全く そうしていない	
					計888人
20～29	6.5%	40.3%	29.0%	24.2%	62人
30～39	11.3%	46.4%	13.4%	28.9%	97人
40～49	14.0%	43.9%	24.6%	17.5%	114人
50～59	16.7%	54.7%	11.3%	17.3%	150人
60～64	25.7%	46.8%	20.2%	7.3%	109人
65～69	35.0%	50.4%	6.8%	7.7%	117人
70～	43.9%	40.6%	11.7%	3.8%	239人

〔地区別〕

倉吉産のものを選ぶようにしていると答えた人は、多くの地区で60～80%台であるのに対し、灘手地区は91.3%と最も高い結果になっています。

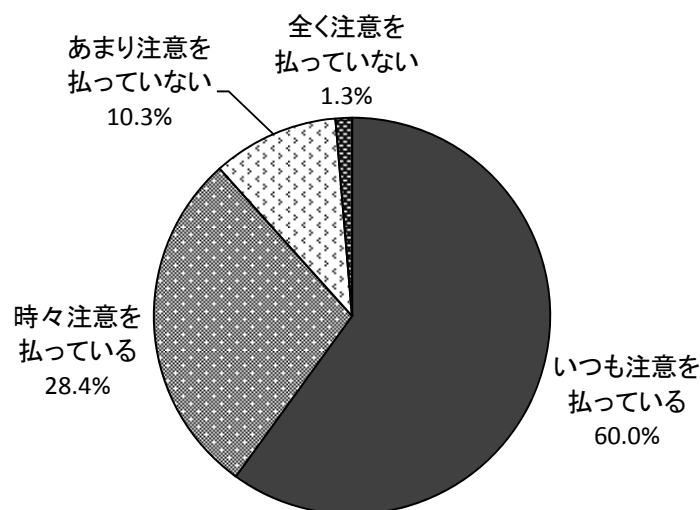
	いつも そうしている	たまに そうしている	どちらかと言えば そうしていない	全く そうしていない	
					計857人
上北条	26.3%	42.1%	12.3%	19.3%	57人
上井	26.5%	40.9%	18.2%	14.4%	132人
西郷	18.2%	47.0%	12.1%	22.7%	66人
上灘	27.9%	45.3%	15.1%	11.6%	86人
成徳	38.1%	41.3%	9.5%	11.1%	63人
明倫	29.2%	46.2%	16.9%	7.7%	65人
灘手	13.0%	78.3%	4.3%	4.3%	23人
社	31.0%	37.9%	16.1%	14.9%	87人
北谷	21.4%	46.4%	17.9%	14.3%	28人
高城	15.4%	65.4%	7.7%	11.5%	26人
小鴨	29.1%	44.4%	14.5%	12.0%	117人
上小鴨	31.4%	51.4%	8.6%	8.6%	35人
関金	15.3%	52.8%	22.2%	9.7%	72人

問20 あなたは、ご自身や家族が悪徳商法などの消費者被害にあわないように正しい知識を身につけ、注意を払っていますか。

1. いつも注意を払っている
2. 時々注意を払っている
3. あまり注意を払っていない
4. 全く注意を払っていない

〔全体〕

「1. いつも注意を払っている」「2. 時々注意を払っている」と答えた人は88.4%（昨年86.0%）で、「3. あまり注意を払っていない」「4. 全く注意を払っていない」と答えた人は11.6%（昨年14.0%）という結果になっています。



[性別]

消費者被害にあわないように注意を払っていると答えた人は、女性が88.8%、男性が87.7%と男女間に差は見られませんでした。

	いつも注意を払っている	時々注意を払っている	あまり注意を払っていない	全く注意を払っていない	
男	55.8%	31.9%	11.7%	0.6%	計887人 351人
女	62.7%	26.1%	9.3%	1.9%	536人

[年代別]

消費者被害にあわないように注意を払っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では97.5%と最も高い結果になっています。

	いつも注意を払っている	時々注意を払っている	あまり注意を払っていない	全く注意を払っていない	
20~29	29.0%	38.7%	27.4%	4.8%	計892人 62人
30~39	37.1%	41.2%	19.6%	2.1%	97人
40~49	57.0%	29.8%	10.5%	2.6%	114人
50~59	54.3%	32.5%	12.6%	0.7%	151人
60~64	56.0%	33.0%	10.1%	0.9%	109人
65~69	70.3%	21.2%	6.8%	1.7%	118人
70~	78.8%	18.7%	2.5%	0.0%	241人

[地区別]

消費者被害にあわないように注意を払っていると答えた人は、いずれの地区も70~90%台と高い結果になっています。

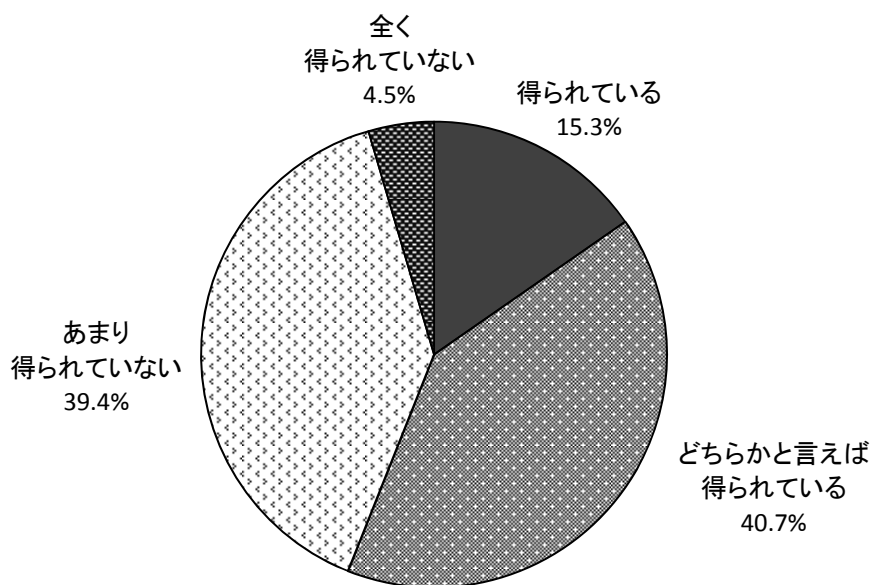
	いつも注意を払っている	時々注意を払っている	あまり注意を払っていない	全く注意を払っていない	
上北条	58.6%	24.1%	15.5%	1.7%	計861人 58人
上井	58.6%	26.3%	13.5%	1.5%	133人
西郷	56.1%	27.3%	13.6%	3.0%	66人
上灘	64.7%	29.4%	4.7%	1.2%	85人
成徳	66.7%	23.8%	7.9%	1.6%	63人
明倫	63.6%	30.3%	6.1%	0.0%	66人
灘手	54.2%	37.5%	8.3%	0.0%	24人
社	62.1%	25.3%	10.3%	2.3%	87人
北谷	53.6%	25.0%	17.9%	3.6%	28人
高城	66.7%	18.5%	14.8%	0.0%	27人
小鴨	61.9%	28.8%	9.3%	0.0%	118人
上小鴨	71.4%	20.0%	8.6%	0.0%	35人
関金	47.9%	42.3%	7.0%	2.8%	71人

問2 1 あなたは消費者トラブルや消費者問題など消費生活に関する情報が、適切に得られていると思いますか。

1. 得られている
2. どちらかと言えば得られている
3. あまり得られていない
4. 得られていない

[全体]

「1. 得られている」「2. どちらかと言えば得られている」と答えた人は56.0%（昨年52.5%）で、「3. あまり得られていない」「4. 得られていない」と答えた人は43.9%（昨年47.5%）という結果になっています。



[性別]

消費生活に関する情報が適切に得られていると答えた人は、女性が57.6%、男性が54.1%と男女間に差は見られませんでした。

	得られている	どちらかと言えば得られている	あまり得られていない	全く得られていない	
男	14.2%	39.9%	41.0%	4.9%	計874人 346人
女	15.9%	41.7%	38.4%	4.0%	528人

[年代別]

消費生活に関する情報が適切に得られていると答えた人は、多くの年代で40~50%台であるのに対し、70歳以上では71.8%という結果になっています。

	得られている	どちらかと言えば得られている	あまり得られていない	全く得られていない	
20~29	5.1%	42.4%	44.1%	8.5%	計880人 59人
30~39	10.5%	32.6%	51.6%	5.3%	95人
40~49	12.3%	36.0%	44.7%	7.0%	114人
50~59	12.1%	39.6%	44.3%	4.0%	149人
60~64	13.0%	38.0%	42.6%	6.5%	108人
65~69	13.7%	42.7%	37.6%	6.0%	117人
70~	25.2%	46.6%	27.3%	0.8%	238人

【地区別】

消費生活に関する情報が適切に得られていると答えた人は、いずれの地区も40～60%台という結果になっています。

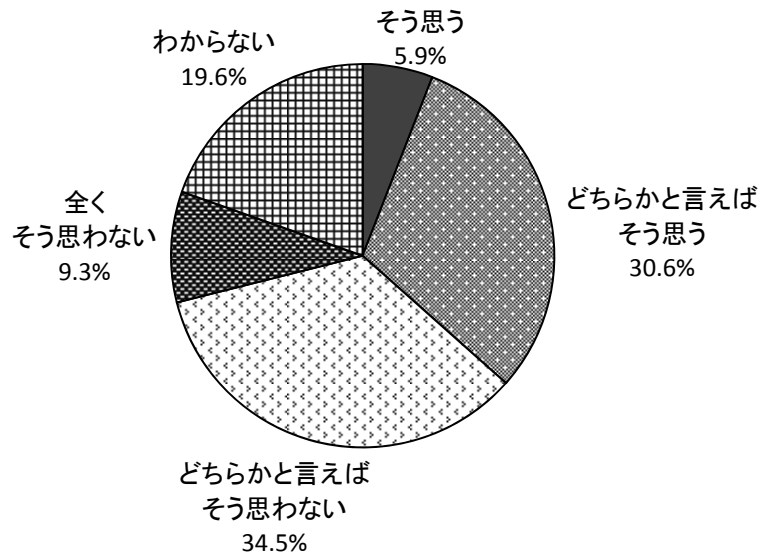
	得られている	どちらかと言えば得られている	あまり得られていない	全く得られていない	
上北条	12.3%	43.9%	35.1%	8.8%	計849人
上井	15.5%	38.8%	41.9%	3.9%	57人
西郷	12.3%	36.9%	47.7%	3.1%	129人
上灘	20.0%	41.2%	34.1%	4.7%	65人
成徳	21.9%	45.3%	29.7%	3.1%	85人
明倫	18.2%	39.4%	37.9%	4.5%	64人
灘手	13.0%	43.5%	43.5%	0.0%	66人
社	16.3%	34.9%	43.0%	5.8%	23人
北谷	10.7%	39.3%	46.4%	3.6%	86人
高城	16.0%	48.0%	32.0%	4.0%	28人
小鴨	12.1%	46.6%	35.3%	6.0%	25人
上小鴨	20.0%	40.0%	37.1%	2.9%	116人
関金	11.4%	38.6%	47.1%	2.9%	35人
					70人

問2 2① あなたのお住まいの地域では、いつどこで起きかわからない、災害に備えた防災体制が整っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は36.5%（昨年33.0%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は43.8%（昨年45.4%）という結果になっています。



【性別】

災害に備えた防災体制が整っていると答えた人は、男性が40.3%、女性が34.2%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	全くそう思わない	わからない	
男	6.0%	34.3%	36.0%	10.0%	13.7%	計873人
女	5.9%	28.3%	33.5%	8.8%	23.5%	350人
						523人

〔年代別〕

災害に備えた防災体制が整っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では45.0%となっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	計878人
20～29	6.5%	22.6%	27.4%	11.3%	32.3%	62人
30～39	3.1%	26.8%	34.0%	10.3%	25.8%	97人
40～49	1.8%	31.6%	36.0%	9.6%	21.1%	114人
50～59	5.9%	29.6%	41.4%	6.6%	16.4%	152人
60～64	5.6%	34.3%	33.3%	9.3%	17.6%	108人
65～69	2.6%	28.4%	36.2%	15.5%	17.2%	116人
70～	10.9%	34.1%	31.0%	7.0%	17.0%	229人

〔地区別〕

災害に備えた防災体制が整っていると答えた人は、いずれの地区も20～40%台という結果になっています。

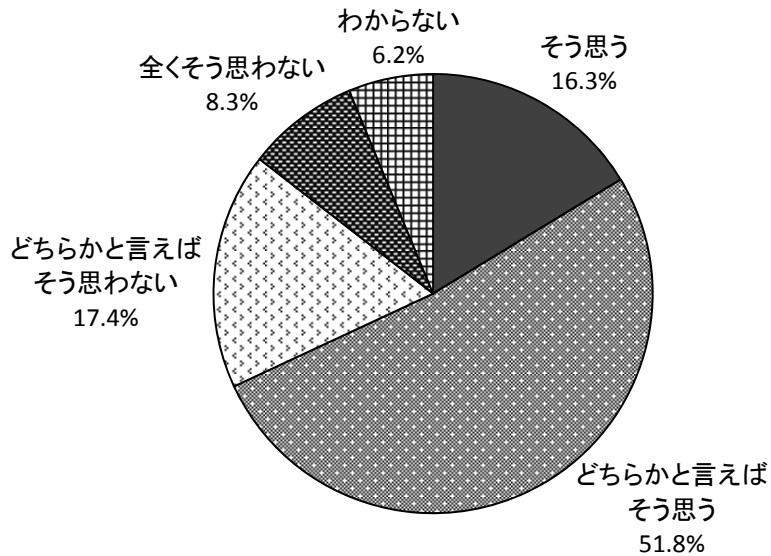
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	計847人
上北条	7.3%	18.2%	41.8%	14.5%	18.2%	55人
上井	5.3%	28.0%	33.3%	6.8%	26.5%	132人
西郷	1.5%	23.1%	41.5%	13.8%	20.0%	65人
上灘	7.3%	34.1%	29.3%	6.1%	23.2%	82人
成徳	4.8%	38.1%	25.4%	9.5%	22.2%	63人
明倫	9.1%	36.4%	31.8%	3.0%	19.7%	66人
灘手	8.3%	33.3%	37.5%	8.3%	12.5%	24人
社	4.8%	22.6%	35.7%	15.5%	21.4%	84人
北谷	3.6%	39.3%	39.3%	3.6%	14.3%	28人
高城	11.5%	34.6%	26.9%	7.7%	19.2%	26人
小鴨	5.2%	37.9%	35.3%	8.6%	12.9%	116人
上小鴨	5.7%	22.9%	48.6%	5.7%	17.1%	35人
関金	7.0%	32.4%	32.4%	8.5%	19.7%	71人

問22② あなたのお住まいの地域では、犯罪の危険を感じることなく、安全・安心に暮らせていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は68.1%（昨年70.1%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は25.7%（昨年22.5%）という結果になっています。



〔性別〕

安全・安心に暮らしていると思うと答えた人は、男性が71.6%、女性が65.7%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
男	19.3%	52.3%	15.1%	7.1%	6.3%	計877人 352人
女	14.3%	51.4%	19.2%	8.8%	6.3%	525人

〔年代別〕

安全・安心に暮らしていると思うと答えた人は、いずれの年代も60~70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
20~29	21.3%	50.8%	13.1%	9.8%	4.9%	計883人 61人
30~39	19.6%	48.5%	20.6%	8.2%	3.1%	97人
40~49	10.5%	53.5%	22.8%	7.9%	5.3%	114人
50~59	13.8%	57.9%	19.7%	4.6%	3.9%	152人
60~64	14.8%	52.8%	12.0%	10.2%	10.2%	108人
65~69	13.8%	49.1%	16.4%	12.9%	7.8%	116人
70~	20.0%	49.4%	16.2%	7.2%	7.2%	235人

〔地区別〕

安全・安心に暮らしていると思うと答えた人は、成徳・高城地区が80%以上と高いのに対し、西郷・灘手・社地区は50%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
上北条	20.0%	49.1%	12.7%	12.7%	5.5%	計852人 55人
上井	13.6%	60.6%	15.9%	6.1%	3.8%	132人
西郷	6.2%	46.2%	29.2%	10.8%	7.7%	65人
上灘	15.7%	49.4%	22.9%	7.2%	4.8%	83人
成徳	21.9%	60.9%	7.8%	6.3%	3.1%	64人
明倫	16.7%	51.5%	16.7%	7.6%	7.6%	66人
灘手	8.3%	45.8%	29.2%	8.3%	8.3%	24人
社	14.3%	44.0%	23.8%	9.5%	8.3%	84人
北谷	17.9%	46.4%	14.3%	14.3%	7.1%	28人
高城	38.5%	46.2%	3.8%	3.8%	7.7%	26人
小鴨	17.8%	53.4%	15.3%	6.8%	6.8%	118人
上小鴨	8.6%	65.7%	17.1%	2.9%	5.7%	35人
関金	18.1%	48.6%	15.3%	8.3%	9.7%	72人

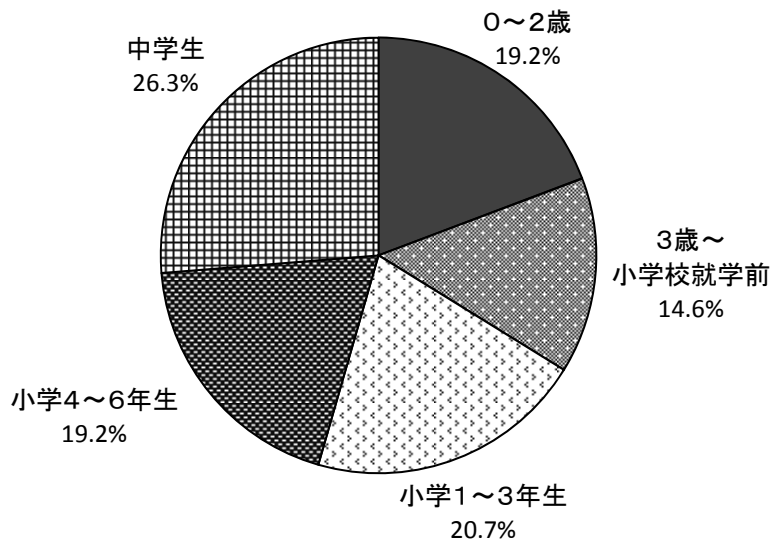
(2) 子育てについて

問23 お子さんの年齢について伺います。すべてのお子さんについて該当の番号に○印をつけてください。

1. 0～2歳
2. 3歳～小学校就学前
3. 小学1～3年生
4. 小学4～6年生
5. 中学生

[全体]

お子さんがいると回答した人のお子さんの年齢構成は、中学生が多く、3歳～小学校就学前が若干少ないという結果になっています。

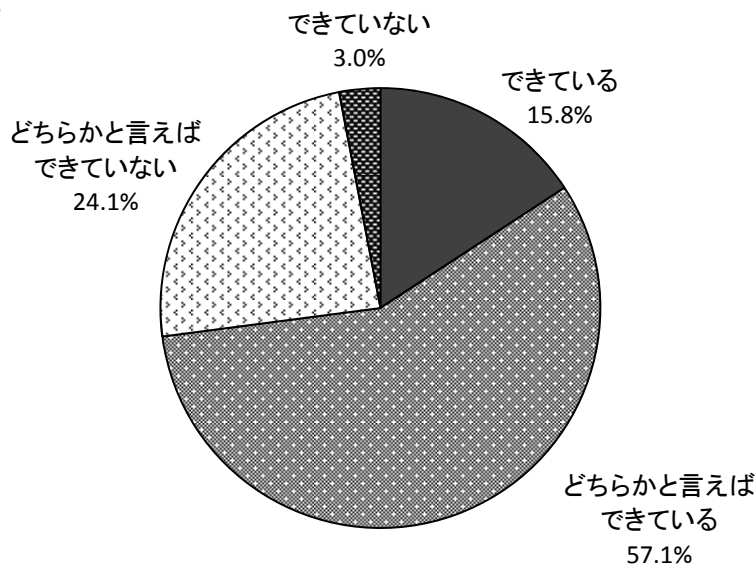


問24 あなたの世帯では、子育てと仕事がうまく両立できていますか。

1. できている
2. どちらかと言えばできている
3. どちらかと言えばできていない
4. できていない

[全体]

「1. できている」「2. どちらかと言えばできている」と答えた人は72.9%（昨年81.7%）で、「3. どちらかと言えばできていない」「4. できていない」と答えた人は27.1%（昨年18.3%）という結果になっています。



【性別】

子育てと仕事がうまく両立できていると答えた人は、女性が77.1%、男性が70.1%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	できている	どちらかと言えば できている	どちらかと言えば できていない	できていない	
					計131人
男	14.0%	56.1%	28.1%	1.8%	57人
女	17.6%	59.5%	20.3%	2.7%	74人

【年代別】

子育てと仕事がうまく両立できていると答えた人は、20歳～40歳代が75%前後であるのに対し、50代が83.3%と最も高い結果になっています。

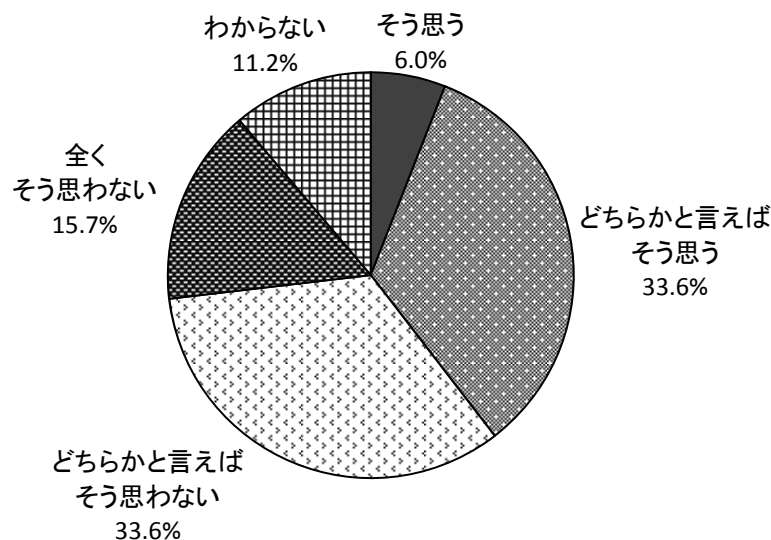
	できている	どちらかと言えば できている	どちらかと言えば できていない	できていない	
					計133人
20～29	8.3%	66.7%	16.7%	8.3%	12人
30～39	19.6%	54.9%	23.5%	2.0%	51人
40～49	11.1%	63.0%	24.1%	1.9%	54人
50～59	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	12人
60～64	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	3人
65～69	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1人
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人

問25 倉吉市は、子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は39.6%（昨年52.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は49.3%（昨年35.2%）という結果になっています。



【性別】

子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると答えた人は、女性が41.3%、男性が38.6%と男女間に差は見られませんでした。

	できている	どちらかと言えば できている	どちらかと言えば できていない	できていない	わからない	
						計132人
男	7.0%	31.6%	33.3%	15.8%	12.3%	57人
女	5.3%	36.0%	33.3%	14.7%	10.7%	75人

〔年代別〕

子育てと仕事が両立しやすい環境が整っていると答えた人は、20歳代～40歳代は40%前後であるのに対し、50歳代は50.0%という結果になっています。

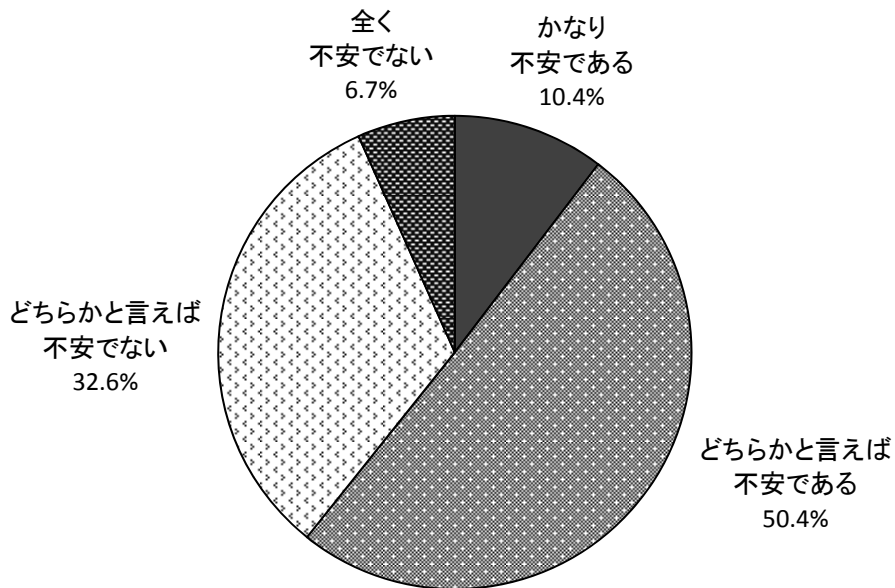
	できている	どちらかと言えば できている	どちらかと言えば できていない	できていない	わからない	
20～29	8.3%	33.3%	50.0%	8.3%	0.0%	計134人 12人
30～39	11.5%	26.9%	36.5%	11.5%	13.5%	52人
40～49	1.9%	38.9%	25.9%	18.5%	14.8%	54人
50～59	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	12人
60～64	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	3人
65～69	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1人
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人

問26 あなたは子育てに不安を感じていますか。

1. かなり不安である
2. どちらかと言えば不安である
3. どちらかと言えば不安でない
4. 全く不安でない

〔全体〕

「1. かなり不安である」「2. どちらかと言えば不安である」と答えた人は60.8%（昨年55.7%）で、「3. どちらかと言えば不安でない」「4. 全く不安でない」と答えた人は39.3%（昨年44.4%）という結果になっています。



〔性別〕

子育てに不安を感じていると答えた人は、男性が61.4%、女性が60.5%と男女間に差は見られませんでした。

	かなり不安である	どちらかと言えば不安である	どちらかと言えば不安でない	全く不安でない	
男	14.0%	47.4%	31.6%	7.0%	計133人 57人
女	7.9%	52.6%	34.2%	5.3%	76人

[年代別]

子育てに不安を感じていると答えた人は、20歳代が83.3%と高いのに対し、50歳代が50.0%という結果になっています。

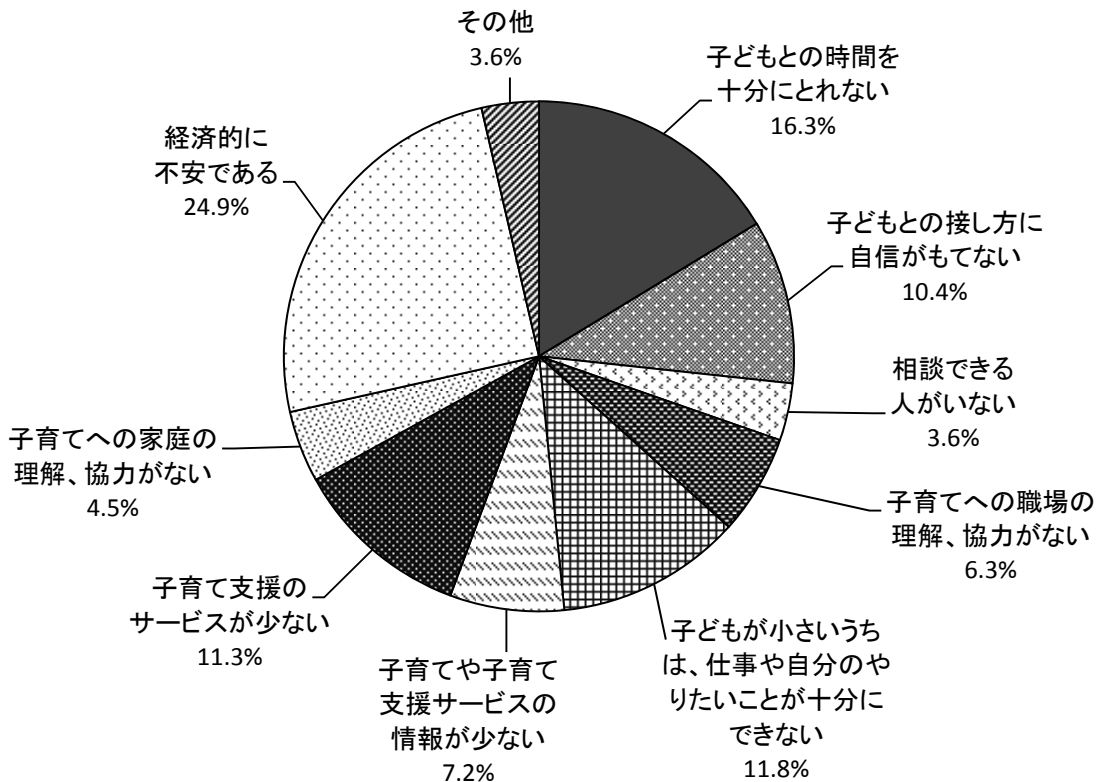
	かなり不安である	どちらかと言えば不安である	どちらかと言えば不安でない	全く不安でない	計135人
20～29	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	12人
30～39	5.8%	53.8%	32.7%	7.7%	52人
40～49	12.7%	45.5%	36.4%	5.5%	55人
50～59	25.0%	25.0%	41.7%	8.3%	12人
60～64	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	3人
65～69	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1人
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人

問27 問26で「1. かなり不安である」「2. どちらかと言えば不安である」とお答えの方にお聞きします。あなたが感じている不安はどのようなものですか。（複数回答可）

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 子どもとの時間が十分にとれない | 2. 子どもとの接し方に自信がもてない |
| 3. 相談できる人がいない | 4. 子育てへの職場の理解、協力がない |
| 5. 子どもが小さいうちは、仕事や自分のやりたいことが十分にできない | |
| 6. 子育てや子育て支援サービスの情報が少ない | 7. 子育て支援のサービスが少ない |
| 8. 子育てへの家庭の理解、協力がない | 9. 経済的に不安である |
| 10. その他 | |

[全体]

子育てに対する不安の内容としては、「経済的に不安である」が24.9%（昨年27.9%）、「子どもとの時間を十分にとれない」が16.3%（昨年16.2%）という結果になっています。



【性別】

子育てに対する不安の内容としては、男女共に「経済的に不安である」「仕事や自分のやりたいことが十分にできない」が高く、男女間に差があったのは、女性では「子どもとの接し方に自信がもてない」が男性より高く、男性では「子どもとの時間を十分にとれない」「相談出来る人がいない」「子育て支援のサービスが少ない」が女性に比べ高い結果となっています。

	子どもとの時間を十分にとれない	子どもとの接し方に自信がもてない	相談出来る人がいない	子育てへの職場の理解、協力が無い	子どもが小さいうちには、仕事や自分のやりたいことが十分にできない	子育てや子育て支援サービスの情報が少ない	子育て支援のサービスが少ない	子育てへの家庭の理解、協力が無い	経済的に不安である	その他
男	18.0%	7.0%	5.0%	7.0%	11.0%	9.0%	13.0%	3.0%	26.0%	1.0%
女	14.7%	12.9%	1.7%	6.0%	12.9%	6.0%	9.5%	6.0%	24.1%	6.0%

【年代別】

子育てに対する不安の内容としては、いずれの年代も「経済的に不安である」「子どもとの時間を十分にとれない」が高く、また、年代を重ねるごとに「相談出来る人がいない」と答える人の割合が多くなっているという傾向が見られます。

	子どもとの時間を十分にとれない	子どもとの接し方に自信がもてない	相談出来る人がいない	子育てへの職場の理解、協力が無い	子どもが小さいうちには、仕事や自分のやりたいことが十分にできない	子育てや子育て支援サービスの情報が少ない	子育て支援のサービスが少ない	子育てへの家庭の理解、協力が無い	経済的に不安である	その他
20～29	15.6%	9.4%	0.0%	6.3%	25.0%	0.0%	6.3%	3.1%	31.3%	3.1%
30～39	17.9%	9.5%	1.2%	6.0%	11.9%	7.1%	11.9%	6.0%	23.8%	4.8%
40～49	16.7%	11.9%	4.8%	7.1%	9.5%	8.3%	11.9%	4.8%	23.8%	1.2%
50～59	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	27.3%	18.2%
60～64	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
65～69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70～	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

～ その他に子育てに不安を感じていると答えた人の意見 ～

- ・インフルの予防接種代が高い。
- ・子供が学校に行けない。
- ・市政の協力が全く感じられない。
- ・同居している義家族との子育てに関する考え方のすり合わせが上手くいかない。
- ・県外から嫁に来て習慣・地域の常識などが違い、孤独で不安だった。
- ・夏にプールが無くて行く所がない。
- ・子育てと同時に介護が始まりそう。

(3) 地域におけるくらしや人権について

問28 あなたは、倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていますか。

例) <国指定文化財>

【重要文化財】長谷寺本堂内厨子、木造阿弥陀如来坐像、伯耆国分寺古墳出土品、木造地藏菩薩半跏像

【重要伝統的建造物群】倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区

【重要民俗文化財】倉吉の鋳物師（斎江家）用具及び製品

【史跡】伯耆国府跡、伯耆国分寺跡、大御堂廃寺跡、三明寺古墳

【天然記念物】波波伎神社社叢

<国登録有形文化財>

協同組合倉吉大店会、小川酒造、旧高田酒造、旧倉吉町水源地、豊田家住宅、清水川・小鴨川堰堤、市庁舎

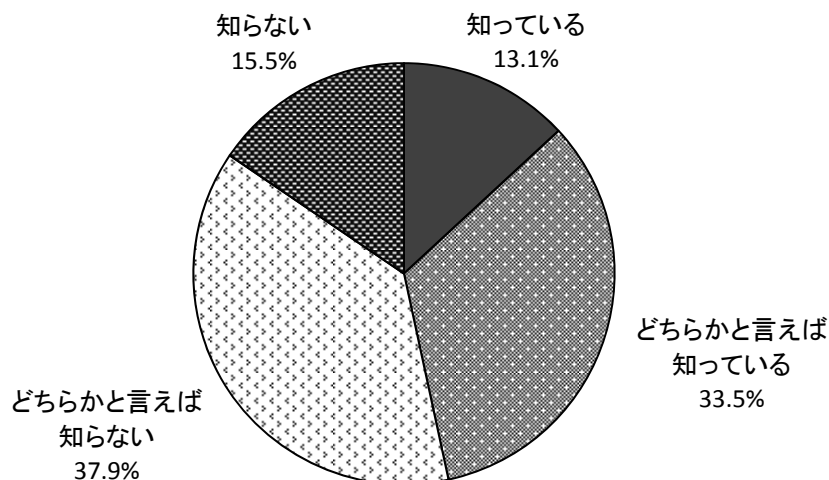
<県指定文化財>

【無形民俗文化財】さいとりさし、倉吉緋／【有形民俗文化財】長谷寺の絵馬群

1. 知っている
2. どちらかと言えば知っている
3. どちらかと言えば知らない
4. 知らない

[全体]

「1. 知っている」「2. どちらかと言えば知っている」と答えた人は46.6%（昨年48.9%）で、「3. どちらかと言えば知らない」「4. 知らない」と答えた人は53.4%（昨年51.1%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では68.4%という結果になっています。

	知っている	どちらかと言えば知っている	どちらかと言えば知らない	知らない	
20～29	6.6%	18.0%	37.7%	37.7%	計884人 61人
30～39	6.3%	16.8%	45.3%	31.6%	95人
40～49	5.2%	27.6%	39.7%	27.6%	116人
50～59	9.2%	31.6%	44.7%	14.5%	152人
60～64	14.4%	31.5%	45.0%	9.0%	111人
65～69	13.0%	42.6%	34.8%	9.6%	115人
70～	23.5%	44.9%	27.8%	3.8%	234人

【地区別】

倉吉市の歴史文化遺産や伝統文化を知っていると答えた人は、多くの地区で40～50%台であるのに対し、明倫地区は63.9%と高く、西郷地区では31.8%という結果になっています。

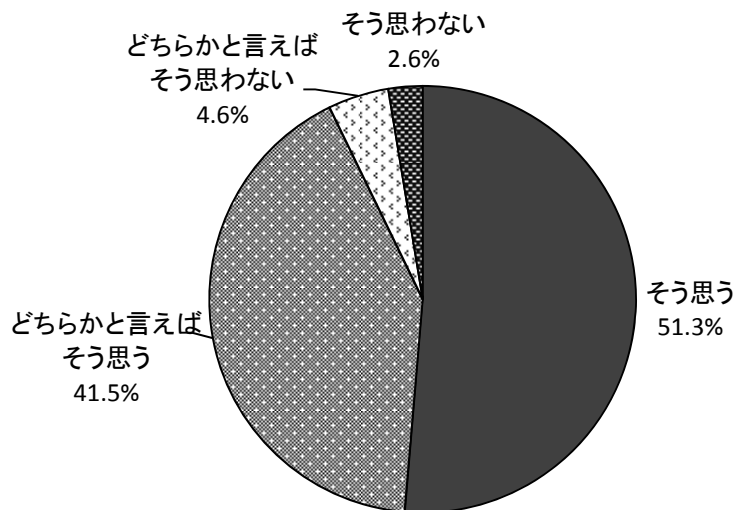
	知っている	どちらかと言えば知っている	どちらかと言えば知らない	知らない	
上北条	16.1%	26.8%	35.7%	21.4%	計853人 56人
上井	7.6%	35.1%	35.1%	22.1%	131人
西郷	10.6%	21.2%	53.0%	15.2%	66人
上灘	11.9%	41.7%	33.3%	13.1%	84人
成徳	17.2%	35.9%	32.8%	14.1%	64人
明倫	18.0%	45.9%	26.2%	9.8%	61人
灘手	12.5%	33.3%	41.7%	12.5%	24人
社	13.8%	39.1%	35.6%	11.5%	87人
北谷	14.3%	28.6%	39.3%	17.9%	28人
高城	15.4%	30.8%	42.3%	11.5%	26人
小鴨	16.7%	30.8%	39.2%	13.3%	120人
上小鴨	5.6%	36.1%	52.8%	5.6%	36人
関金	12.9%	24.3%	41.4%	21.4%	70人

問29 あなたは、倉吉市の歴史的文化遺産や伝統文化を大切にしたいと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は92.8%（昨年91.8%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は7.2%（昨年8.3%）という結果になっています。



〔年代別〕

倉吉市の歴史的文化遺産や伝統文化を大切にしたいと答えた人は、いずれの年代も80%以上と高く、大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
					計890人
20～29	31.1%	57.4%	4.9%	6.6%	61人
30～39	35.1%	53.2%	7.4%	4.3%	94人
40～49	36.5%	60.0%	1.7%	1.7%	115人
50～59	51.0%	39.9%	4.6%	4.6%	153人
60～64	50.0%	41.8%	6.4%	1.8%	110人
65～69	57.6%	34.7%	4.2%	3.4%	118人
70～	67.8%	28.0%	4.2%	0.0%	239人

〔地区別〕

倉吉市の歴史的文化遺産や伝統文化を大切にしたいと答えた人は、いずれの地区も80%以上という高い結果になっています。

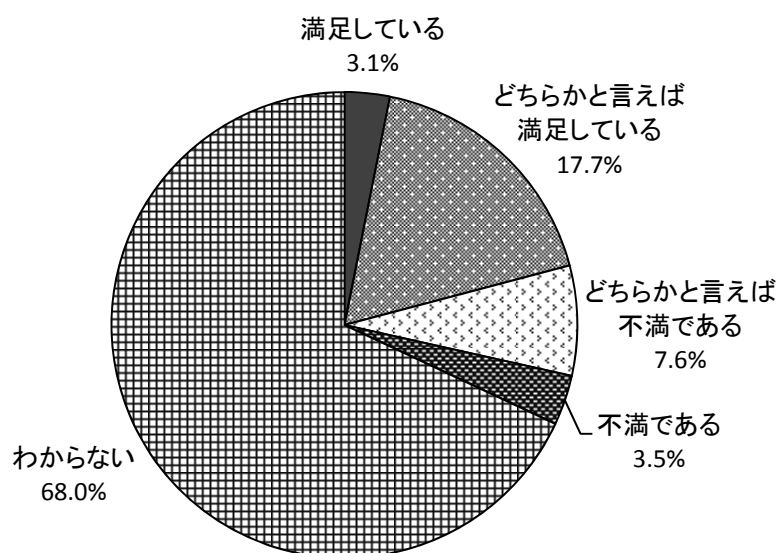
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
					計859人
上北条	44.8%	39.7%	6.9%	8.6%	58人
上井	52.3%	38.6%	6.8%	2.3%	132人
西郷	35.8%	58.2%	3.0%	3.0%	67人
上灘	48.8%	45.2%	2.4%	3.6%	88人
成徳	67.2%	29.7%	3.1%	0.0%	60人
明倫	60.9%	34.4%	4.7%	0.0%	66人
灘手	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	22人
社	49.4%	47.1%	1.1%	2.3%	87人
北谷	32.1%	57.1%	3.6%	7.1%	28人
高城	61.5%	34.6%	3.8%	0.0%	26人
小鴨	54.6%	37.8%	5.9%	1.7%	119人
上小鴨	47.2%	52.8%	0.0%	0.0%	36人
関金	51.4%	41.4%	4.3%	2.9%	70人

問30 あなたは、倉吉市が行っている国際交流や地域間交流の取組について、どう思いますか。

1. とても満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば不満である
4. とても不満である
5. わからない

〔全体〕

「1. とても満足している」「2. どちらかと言えば満足している」と答えた人は20.8%（昨年23.1%）で、「3. どちらかと言えば不満である」「4. とても不満である」と答えた人は11.1%（昨年12.1%）という結果になっています。



[性別]

国際交流や地域間交流の取組について満足していると答えた人は、男性が21.8%、女性が20.1%と男女間に差は見られませんでした。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	わからない	
男	3.1%	18.7%	11.6%	5.9%	60.6%	計885人 353人
女	3.2%	16.9%	5.1%	1.7%	73.1%	532人

[年代別]

国際交流や地域間交流の取組について満足していると答えた人は、30歳代以降年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上は28.4%、20歳代は30～60歳前半より高く20.9%という結果になっています。

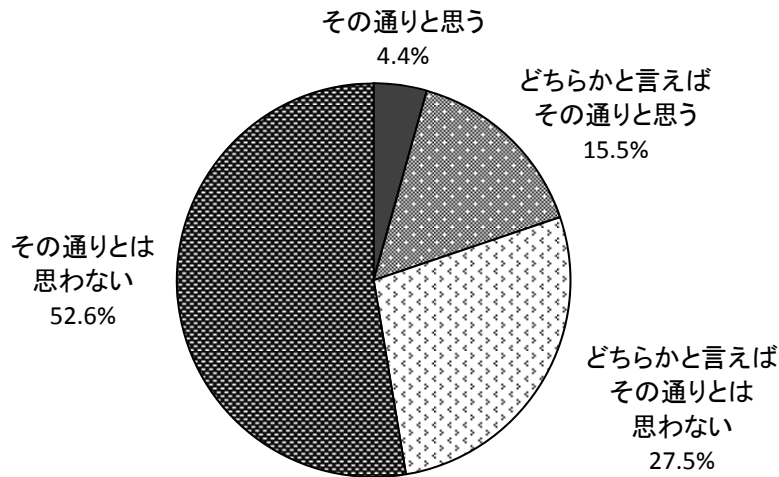
	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	わからない	
20～29	3.2%	17.7%	11.3%	0.0%	67.7%	計891人 62人
30～39	4.1%	8.2%	7.1%	2.0%	78.6%	98人
40～49	0.0%	12.9%	8.6%	4.3%	74.1%	116人
50～59	2.6%	17.0%	7.8%	6.5%	66.0%	153人
60～64	2.7%	17.1%	9.9%	4.5%	65.8%	111人
65～69	2.6%	20.9%	3.5%	2.6%	70.4%	115人
70～	5.1%	23.3%	7.2%	2.5%	61.9%	236人

問31 あなたは、男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという考え方をどのように思いますか。

1. その通りと思う
2. どちらかと言えばその通りと思う
3. どちらかと言えばその通りとは思わない
4. その通りとは思わない

[全体]

「3. どちらかと言えばその通りとは思わない」「4. その通りとは思わない」と答えた人は80.1%（昨年75.8%）で、「1. その通りと思う」「2. どちらかと言えばその通りとは思わない」と答えた人は19.9%（昨年24.3%）という結果になっています。



[性別]

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであると思わないと答えた人は、女性が82.1%、男性が77.3%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	その通りと思う	どちらかと言えばその通りと思う	どちらかと言えばその通りとは思わない	その通りとは思わない	
					計887人
男	6.8%	15.9%	28.0%	49.3%	353人
女	2.8%	15.2%	27.2%	54.9%	534人

[年代別]

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであると思わないと答えた人は、年代が低くなるほど高くなる傾向があり、20歳代では91.9%と最も高い結果になっています。

	その通りと思う	どちらかと言えばその通りと思う	どちらかと言えばその通りとは思わない	その通りとは思わない	
					計893人
20~29	1.6%	6.5%	24.2%	67.7%	62人
30~39	2.0%	15.3%	29.6%	53.1%	98人
40~49	0.9%	13.9%	21.7%	63.5%	115人
50~59	4.6%	9.8%	26.8%	58.8%	153人
60~64	4.5%	12.7%	21.8%	60.9%	110人
65~69	3.4%	19.5%	26.3%	50.8%	118人
70~	8.0%	21.5%	34.2%	36.3%	237人

[地区別]

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであると思わないと答えた人は、いずれの地区も70~80%台という高い結果になっています。

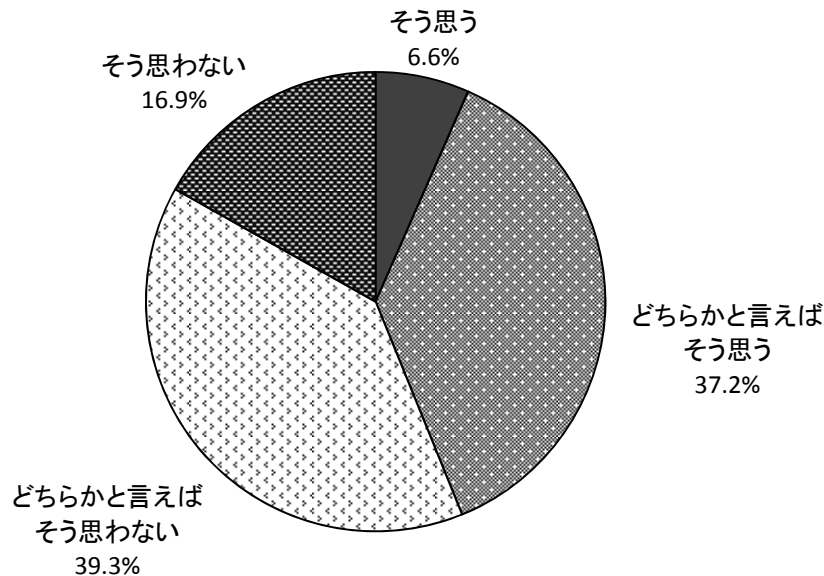
	その通りと思う	どちらかと言えばその通りと思う	どちらかと言えばその通りとは思わない	その通りとは思わない	
					計862人
上北条	1.8%	12.5%	35.7%	50.0%	56人
上井	3.8%	21.2%	24.2%	50.8%	132人
西郷	3.0%	14.9%	19.4%	62.7%	67人
上灘	2.3%	20.7%	27.6%	49.4%	87人
成徳	7.9%	19.0%	25.4%	47.6%	63人
明倫	4.7%	18.8%	28.1%	48.4%	64人
灘手	8.3%	8.3%	25.0%	58.3%	24人
社	3.4%	12.6%	32.2%	51.7%	87人
北谷	3.6%	14.3%	32.1%	50.0%	28人
高城	7.7%	15.4%	34.6%	42.3%	26人
小鴨	4.2%	14.2%	25.0%	56.7%	120人
上小鴨	5.6%	8.3%	36.1%	50.0%	36人
関金	4.2%	8.3%	26.4%	61.1%	72人

問32 あなたの身の回りでは、社会における男女の機会均等がはかられていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は43.8%（昨年41.0%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は56.2%（昨年59.0%）という結果になっています。



[性別]

身の回りの社会における男女の機会均等がはかられていると答えた人は、男性が50.6%であるのに対し、女性が39.3%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
男	10.1%	40.5%	35.9%	13.5%	計872人 348人
女	4.4%	34.9%	41.6%	19.1%	524人

[年代別]

身の回りの社会における男女の機会均等がはかられていると答えた人は、40歳代が31.0%と最も低く、年代が低くなるほど、または年代を重ねるごとに高くなる傾向があるという結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
20~29	8.1%	46.8%	25.8%	19.4%	計878人 62人
30~39	6.1%	33.7%	38.8%	21.4%	98人
40~49	5.3%	25.7%	47.8%	21.2%	113人
50~59	4.6%	31.8%	43.7%	19.9%	151人
60~64	7.3%	34.9%	36.7%	21.1%	109人
65~69	4.4%	44.7%	37.7%	13.2%	114人
70~	9.1%	42.9%	38.1%	10.0%	231人

【地区別】

身の回りの社会における男女の機会均等がはかられていると答えた人は、多くの地区が40～50%台であるのに対し、上北条地区は30.9%という結果になっています。

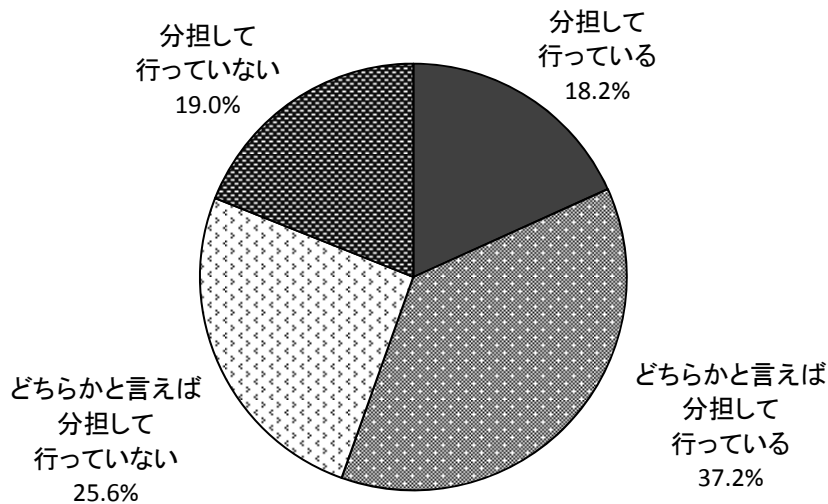
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
上北条	10.9%	20.0%	43.6%	25.5%	計847人 55人
上井	8.7%	34.1%	43.7%	13.5%	126人
西郷	4.5%	38.8%	34.3%	22.4%	67人
上灘	3.4%	42.5%	40.2%	13.8%	87人
成徳	14.5%	38.7%	30.6%	16.1%	62人
明倫	7.8%	48.4%	31.3%	12.5%	64人
灘手	4.2%	45.8%	41.7%	8.3%	24人
社	4.7%	34.9%	41.9%	18.6%	86人
北谷	0.0%	48.1%	33.3%	18.5%	27人
高城	4.2%	45.8%	41.7%	8.3%	24人
小鴨	5.0%	31.9%	42.0%	21.0%	119人
上小鴨	2.8%	38.9%	47.2%	11.1%	36人
関金	8.6%	38.6%	34.3%	18.6%	70人

問33 あなたの家庭では、男女の区別なく家事、子育て、介護を分担して行っていますか。

1. 分担して行っている
2. どちらかと言えば分担して行っている
3. どちらかと言えば分担して行っていない
4. 分担して行っていない

【全体】

「1. 分担して行っている」「2. どちらかと言えば分担して行っている」と答えた人は55.4%（昨年52.7%）で、「3. どちらかと言えば分担して行っていない」「4. 分担して行っていない」と答えた人は44.6%（昨年47.3%）という結果になっています。



【性別】

男女の区別なく家事など分担して行っていると答えた人は、男性が63.3%であるのに対し、女性が50.0%と低い結果になっています。

	分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っていない	分担して 行っていない	
男	20.9%	42.4%	23.8%	12.8%	計828人 344人
女	16.3%	33.7%	27.1%	22.9%	484人

[年代別]

男女の区別なく家事など分担して行っていると答えた人は、30歳代が63.1%であるのに対し、60歳代後半が47.3%という結果になっています。

	分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っていない	分担して 行っていない	
20～29	27.9%	31.1%	26.2%	14.8%	計873人 61人
30～39	26.3%	36.8%	22.1%	14.7%	95人
40～49	19.8%	33.6%	24.1%	22.4%	116人
50～59	13.6%	40.1%	25.2%	21.1%	147人
60～64	14.7%	37.3%	28.4%	19.6%	102人
65～69	15.5%	31.8%	31.8%	20.9%	110人
70～	17.3%	42.1%	23.3%	17.3%	242人

[地区別]

男女の区別なく家事など分担して行っていると答えた人は、ほとんどの地区が50～60%台であるのに対し、上井・関金地区が46%前後という結果になっています。

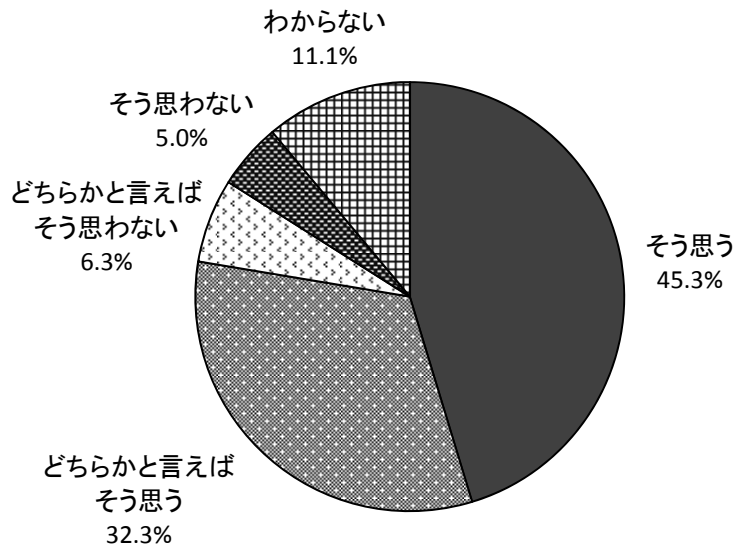
	分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っている	どちらかと言えば 分担して 行っていない	分担して 行っていない	
上北条	15.1%	49.1%	15.1%	20.8%	計803人 53人
上井	8.4%	37.8%	33.6%	20.2%	119人
西郷	19.0%	38.1%	17.5%	25.4%	63人
上灘	20.7%	31.7%	25.6%	22.0%	82人
成徳	15.1%	34.0%	22.6%	28.3%	53人
明倫	25.0%	36.7%	23.3%	15.0%	60人
灘手	30.4%	39.1%	21.7%	8.7%	23人
社	23.8%	36.3%	23.8%	16.3%	80人
北谷	14.3%	50.0%	25.0%	10.7%	28人
高城	11.5%	42.3%	38.5%	7.7%	26人
小鴨	18.4%	40.4%	23.7%	17.5%	114人
上小鴨	29.4%	29.4%	29.4%	11.8%	34人
関金	16.2%	29.4%	35.3%	19.1%	68人

問34 国や自治体では、障がいのある人も共に生活できるための環境作りを進めています。あなたは、障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は77.6% (昨年76.6%) で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は11.3% (昨年13.9%) という結果になっています。



〔性別〕

障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思うと答えた人は、男性が81.6%、女性が74.6%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
男	44.6%	37.0%	5.1%	4.8%	8.5%	計879人 354人
女	45.3%	29.3%	7.2%	5.1%	13.0%	525人

〔年代別〕

障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思うと答えた人は、50歳代が83.5%と最も高く、年代が低くなるほど、または年代を重ねるごとに低くなる傾向があるという結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	33.9%	32.3%	8.1%	3.2%	22.6%	計885人 62人
30～39	44.3%	35.1%	6.2%	3.1%	11.3%	97人
40～49	57.0%	25.4%	5.3%	2.6%	9.6%	114人
50～59	46.7%	36.8%	4.6%	5.3%	6.6%	152人
60～64	49.1%	29.1%	2.7%	5.5%	13.6%	110人
65～69	44.1%	33.1%	5.9%	6.8%	10.2%	118人
70～	40.9%	32.8%	9.5%	6.0%	10.8%	232人

〔地区別〕

障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だと思うと答えた人は、いずれの地区も70～80%台と大きなバラつきは見られませんでした。

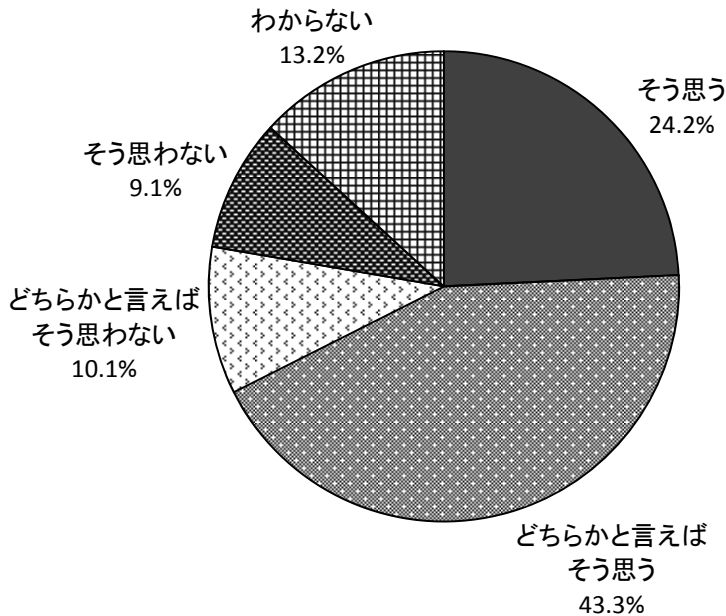
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	54.4%	26.3%	5.3%	5.3%	8.8%	計854人 57人
上井	43.5%	36.6%	4.6%	3.1%	12.2%	131人
西郷	48.5%	34.8%	4.5%	3.0%	9.1%	66人
上灘	45.9%	34.1%	7.1%	1.2%	11.8%	85人
成徳	57.4%	26.2%	6.6%	1.6%	8.2%	61人
明倫	42.2%	32.8%	7.8%	6.3%	10.9%	64人
灘手	52.2%	21.7%	0.0%	4.3%	21.7%	23人
社	37.9%	32.2%	6.9%	11.5%	11.5%	87人
北谷	28.6%	50.0%	0.0%	10.7%	10.7%	28人
高城	38.5%	42.3%	0.0%	7.7%	11.5%	26人
小鴨	49.2%	28.8%	8.5%	4.2%	9.3%	118人
上小鴨	47.2%	25.0%	8.3%	2.8%	16.7%	36人
関金	41.7%	30.6%	9.7%	5.6%	12.5%	72人

問35 あなたは、普段からご自身や家族の人権が適切に守られていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は67.5%（昨年66.1%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は19.2%（昨年20.6%）という結果になっています。



[性別]

ご自身や家族の人権が適切に守られていると思うと答えた人は、男性が70.7%、女性が65.6%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	26.1%	44.6%	10.2%	7.1%	11.9%	計873人 352人
女	23.0%	42.6%	9.8%	10.4%	14.2%	521人

[年代別]

ご自身や家族の人権が適切に守られていると思うと答えた人は、いずれの年代も60~70%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20~29	23.0%	37.7%	4.9%	4.9%	29.5%	計879人 61人
30~39	26.3%	40.0%	9.5%	6.3%	17.9%	95人
40~49	16.4%	42.2%	19.0%	7.8%	14.7%	116人
50~59	15.2%	43.0%	11.9%	12.6%	17.2%	151人
60~64	17.6%	48.1%	7.4%	14.8%	12.0%	108人
65~69	31.9%	44.0%	6.9%	12.1%	5.2%	116人
70~	32.8%	44.4%	9.1%	5.6%	8.2%	232人

[地区別]

ご自身や家族の人権が適切に守られていると思うと答えた人は、多くの地区で50～70%台であるのに対し、成徳・高城地区は80%以上と高い結果となっています。

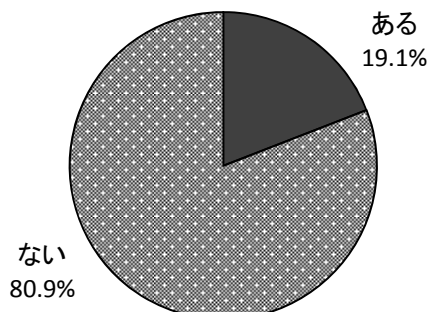
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	26.3%	42.1%	7.0%	17.5%	7.0%	計848人 57人
上井	21.7%	45.0%	10.9%	7.8%	14.7%	129人
西郷	18.2%	36.4%	15.2%	12.1%	18.2%	66人
上灘	27.4%	44.0%	8.3%	7.1%	13.1%	84人
成徳	43.3%	38.3%	8.3%	3.3%	6.7%	60人
明倫	23.4%	48.4%	7.8%	7.8%	12.5%	64人
灘手	16.7%	41.7%	12.5%	8.3%	20.8%	24人
社	22.1%	43.0%	9.3%	14.0%	11.6%	86人
北谷	21.4%	28.6%	25.0%	3.6%	21.4%	28人
高城	26.9%	53.8%	3.8%	3.8%	11.5%	26人
小鴨	23.5%	46.2%	10.1%	10.9%	9.2%	119人
上小鴨	16.7%	52.8%	13.9%	2.8%	13.9%	36人
関金	23.2%	40.6%	8.7%	7.2%	20.3%	69人

問36 あなたは、過去1年間に身の回りで、ご自身の人権が侵害されたと思ったことはありますか。

1. ある
2. ない

[全体]

「1. ある」と答えた人は19.1%（昨年17.7%）で、「2. ない」と答えた人は80.9%（昨年82.3%）という結果になっています。



[性別]

過去1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えた人は、男性が17.5%、女性が20.2%と男女間に差は見られませんでした。

	ある	ない	
男	17.5%	82.5%	計878人 348人
女	20.2%	79.8%	530人

[年代別]

過去1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えた人は、50歳代が28.0%であるのに対し、70歳以上が13.1%という結果になっています。

	ある	ない	
20～29	16.4%	83.6%	計884人 61人
30～39	18.9%	81.1%	95人
40～49	21.7%	78.3%	115人
50～59	28.0%	72.0%	150人
60～64	17.4%	82.6%	109人
65～69	20.3%	79.7%	118人
70～	13.1%	86.9%	236人

【地区別】

過去1年間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えた人は、いずれの地区も10～20%台という結果になっています。

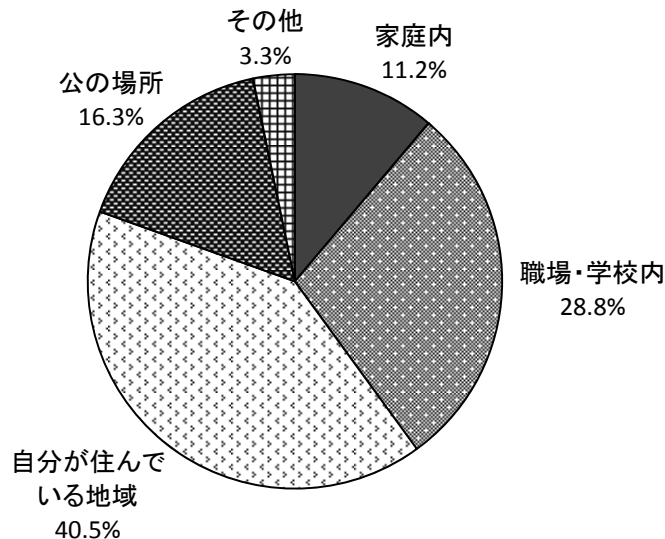
	ある	ない	
			計853人
上北条	23.2%	76.8%	56人
上井	16.7%	83.3%	132人
西郷	23.9%	76.1%	67人
上灘	10.8%	89.2%	83人
成徳	14.8%	85.2%	61人
明倫	21.0%	79.0%	62人
灘手	20.8%	79.2%	24人
社	19.3%	80.7%	88人
北谷	17.9%	82.1%	28人
高城	25.9%	74.1%	27人
小鴨	21.0%	79.0%	119人
上小鴨	25.0%	75.0%	36人
関金	17.1%	82.9%	70人

問35 問36で「1. ある」という方にお聞きします。どこであなたが人権侵害を受けたと思ったことがおきましたか。差し支えなければお聞かせください。（複数回答可）

1. 家庭内
2. 職場・学校内
3. 自分が住んでいる地域
4. 公の場所（路上、公共施設等）
5. その他

【全体】

人権侵害を受けたと思った場所については、「自分が住んでいる地域」が40.5%（昨年37.8%）、「職場・学校内」が28.8%（昨年27.1%）という結果になっています。



【性別】

人権侵害を受けたと思った場所については、男性は「自分が住んでいる地域」「公の場所」と答えた人が女性より高く、女性は「家庭内」「職場・学校内」と答えた人が男性より高いという結果になっています。

	家庭内	職場・学校内	自分が住んでいる地域	公の場所（路上・公共施設等）	その他	
						計214人
男	7.5%	23.8%	45.0%	21.3%	2.5%	80人
女	12.8%	31.6%	38.3%	13.5%	3.8%	134人

[年代別]

人権侵害を受けたと思った場所については、50歳代以下は「職場・学校内」が多く、50歳代以上は「自分の住んでいる地域」が多いという結果になっています。

	家庭内	職場・学校内	自分が住んでいる地域	公の場所（路上・公共施設等）	その他	計216人
20～29	7.7%	69.2%	15.4%	7.7%	0.0%	13人
30～39	9.1%	36.4%	36.4%	13.6%	4.5%	22人
40～49	8.1%	35.1%	32.4%	21.6%	2.7%	37人
50～59	14.3%	38.8%	38.8%	6.1%	2.0%	49人
60～64	12.9%	29.0%	35.5%	19.4%	3.2%	31人
65～69	17.2%	13.8%	51.7%	17.2%	0.0%	29人
70～	5.9%	0.0%	58.8%	26.5%	8.8%	35人

～ その他に人権侵害を受けた場所について ～

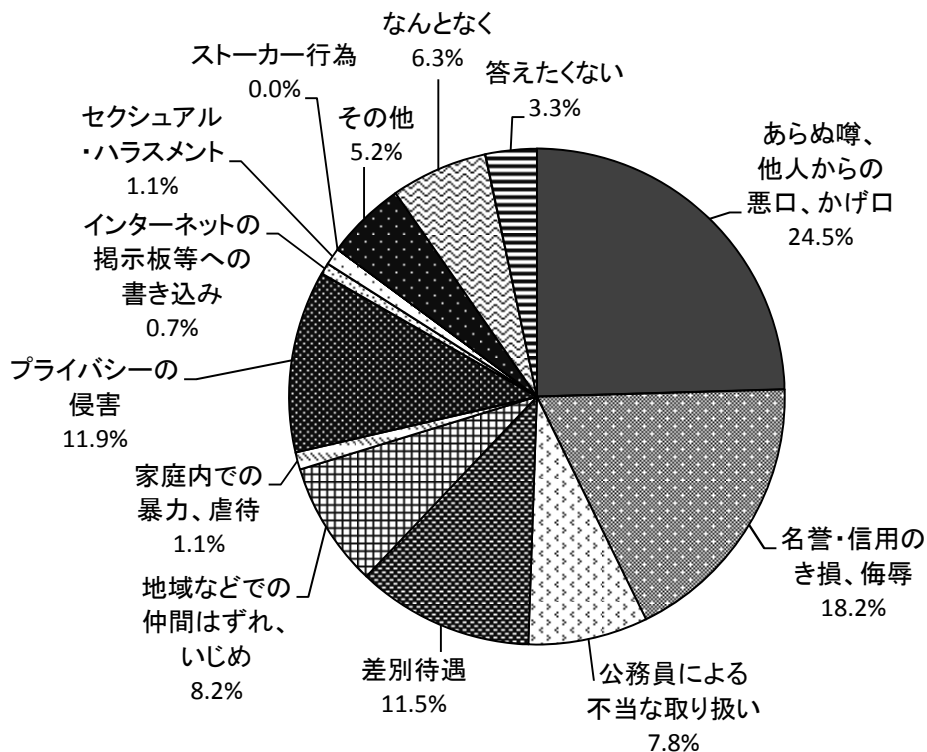
- ・家族の目の前
- ・友達との会話の中

問38 引き続き問36で「1. ある」という方にお聞きします。それはどのような場合ですか。差し支えなければお聞かせください。

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口 | 2. 名誉・信用のき損、侮辱 |
| 3. 公務員（国・自治体等の職員、警察官、教員等）による不当な取り扱い | |
| 4. 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分により不平等・不利益な取り扱いをされること） | |
| 5. 地域などで仲間はずれ、いじめ | 6. 家庭内での暴力、虐待 |
| 7. プライバシーの侵害 | 8. インターネットの掲示板等への書き込み |
| 9. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ） | |
| 10. ストーカー行為 | 11. その他 |
| 12. なんとなく | 13. 答えたくない |

[全体]

人権侵害を受けた内容については、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が24.5%（昨年24.5%）、「名誉・信用のき損、侮辱」が18.2%（昨年13.5%）という結果となっています。



〔性別〕

人権侵害を受けた内容については、男性は「名誉・信用のき損、侮辱」「公務員による不当な取り扱い」と答えた人が女性より多く、女性は「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」と答えた人が男性より多いという結果になっています。

	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員による不当な取り扱い	差別待遇	地域などでの仲間はずれ、いじめ	家庭内での暴力、虐待	プライバシーの侵害
男	22.0%	20.0%	10.0%	12.0%	8.0%	0.0%	10.0%
女	25.7%	16.8%	6.6%	11.4%	8.4%	1.8%	12.6%

	インターネットの掲示板等への書き込み	セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	その他	なんとなく	答えたくない
男	2.0%	0.0%	0.0%	6.0%	5.0%	4.0%
女	0.0%	1.8%	0.0%	4.8%	7.2%	3.0%

〔年代別〕

人権侵害を受けた内容については、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」「名誉・信用のき損、侮辱」と答えた人がいずれの年代も多く、また60歳代で「地域などでの仲間はずれ、いじめ」と答えた人は他の年代より若干高いという結果になっています。

	あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	名誉・信用のき損、侮辱	公務員による不当な取り扱い	差別待遇	地域などでの仲間はずれ、いじめ	家庭内での暴力、虐待	プライバシーの侵害
20～29	33.3%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%
30～39	20.0%	16.7%	13.3%	3.3%	6.7%	3.3%	10.0%
40～49	27.1%	18.8%	12.5%	10.4%	6.3%	0.0%	12.5%
50～59	21.2%	19.7%	3.0%	16.7%	6.1%	1.5%	15.2%
60～64	21.1%	21.1%	7.9%	15.8%	15.8%	0.0%	10.5%
65～69	30.0%	17.5%	7.5%	10.0%	12.5%	0.0%	12.5%
70～	24.2%	9.1%	6.1%	9.1%	6.1%	0.0%	12.1%

	インターネットの掲示板等への書き込み	セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	その他	なんとなく	答えたくない
20～29	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%
30～39	0.0%	6.7%	0.0%	10.0%	6.7%	3.3%
40～49	0.0%	2.1%	0.0%	6.3%	2.1%	2.1%
50～59	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%	4.5%	3.0%
60～64	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%
65～69	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	2.5%
70～	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	15.2%	9.1%

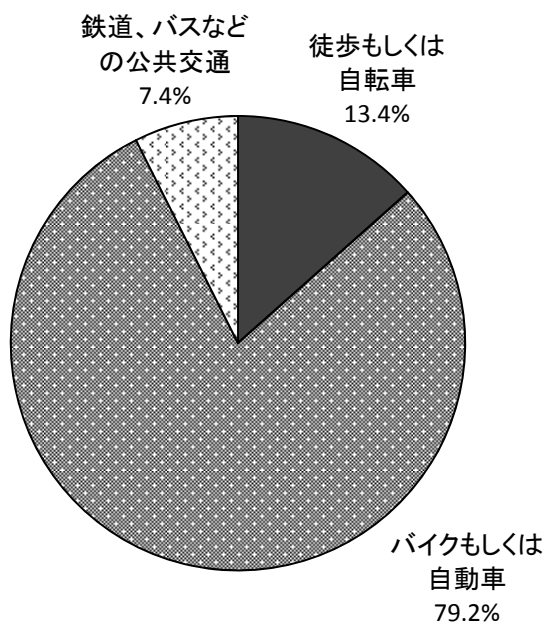
(4) あなたの生活環境について

問39 あなたの主な移動手段は何ですか。

1. 徒歩もしくは自転車
2. バイクもしくは自動車
3. 鉄道、バスなどの公共交通

[全体]

「2. バイクもしくは自動車」と答えた人は79.2%（昨年76.2%）、「1. 徒歩もしくは自転車」と答えた人は13.4%（昨年15.7%）、「3. 鉄道、バスなどの公共交通」と答えた人は7.4%（昨年8.1%）という結果になっています。



[性別]

主な移動手段は、女性は男性に比べて「徒歩もしくは自転車」、「鉄道、バスなどの公共交通」と答えた人の割合が高い結果になっています。

	徒歩もしくは自転車	バイクもしくは自動車	鉄道、バスなどの公共交通	
				計873人
男	8.0%	88.9%	3.1%	351人
女	16.9%	72.8%	10.3%	522人

[年代別]

主な移動手段は、「バイクもしくは自動車」と答えた人は40歳代で93.0%で、年代が低くなるほど、または年代を重ねるごとに低くなっている傾向があります。

	徒歩もしくは自転車	バイクもしくは自動車	鉄道、バスなどの公共交通	
				計878人
20~29	13.1%	80.3%	6.6%	61人
30~39	7.2%	90.7%	2.1%	97人
40~49	6.1%	93.0%	0.9%	114人
50~59	7.3%	88.7%	4.0%	151人
60~64	8.3%	85.2%	6.5%	108人
65~69	15.4%	80.3%	4.3%	117人
70~	25.2%	57.4%	17.4%	230人

【地区別】

主な移動手段は、いずれの地区も「バイクもしくは自動車」と答えた人が最も多かったですが、成徳地区は他の地区に比べそう答えた人は少なく、「徒歩もしくは自転車」「鉄道、バスなどの公共交通」と答えた人が他の地区より多いという結果になっています。

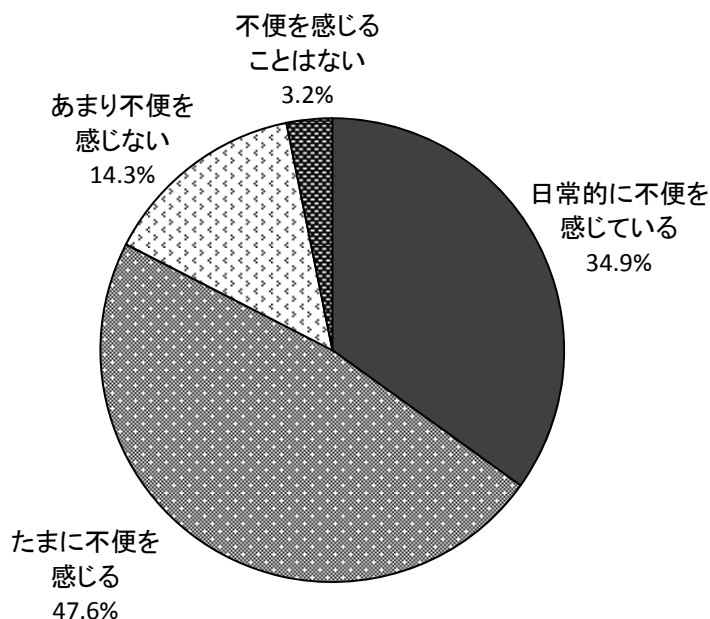
	徒歩もしくは 自転車	バイクもしくは 自動車	鉄道、バスなどの 公共交通	
				計848人
上北条	15.5%	79.3%	5.2%	58人
上井	20.2%	69.0%	10.9%	129人
西郷	18.5%	72.3%	9.2%	65人
上灘	15.7%	77.1%	7.2%	83人
成徳	24.6%	57.4%	18.0%	61人
明倫	18.8%	79.7%	1.6%	64人
灘手	8.3%	91.7%	0.0%	24人
社	10.5%	82.6%	7.0%	86人
北谷	0.0%	85.7%	14.3%	28人
高城	3.8%	92.3%	3.8%	26人
小鴨	10.8%	85.8%	3.3%	120人
上小鴨	11.4%	82.9%	5.7%	35人
関金	1.4%	91.3%	7.2%	69人

問40 問39で、主に「3. 鉄道、バスなどの公共交通」を移動手段としている方にお聞きします。
日常的に市内の公共交通の便に不便を感じますか。

1. 日常的に不便を感じている
2. たまに不便を感じている
3. あまり不便を感じない
4. 不便を感じることはない

【全体】

移動手段に公共交通を利用している人のうち、「1. 日常的に不便を感じている」「2. たまに不便を感じている」と答えた人は82.5%（昨年65.8%）、「3. あまり不便を感じない」「4. 不便を感じることはない」と答えた人は17.5%（昨年34.2%）という結果になっています。



[年代別]

移動手段に公共交通を利用している人のうち、不便を感じていると答えた人は、多くの年代で70%以上という結果になっています。

	日常的に 不便を感じている	たまに 不便を感じている	あまり 不便を感じない	不便を感じる ことはない	計63人
20~29	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	4人
30~39	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2人
40~49	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1人
50~59	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5人
60~64	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	7人
65~69	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	5人
70~	25.6%	51.3%	20.5%	2.6%	39人

[地区別]

移動手段に公共交通を利用している人のうち、不便を感じていると答えた人は、多くの地区で60%以上という結果になっています。

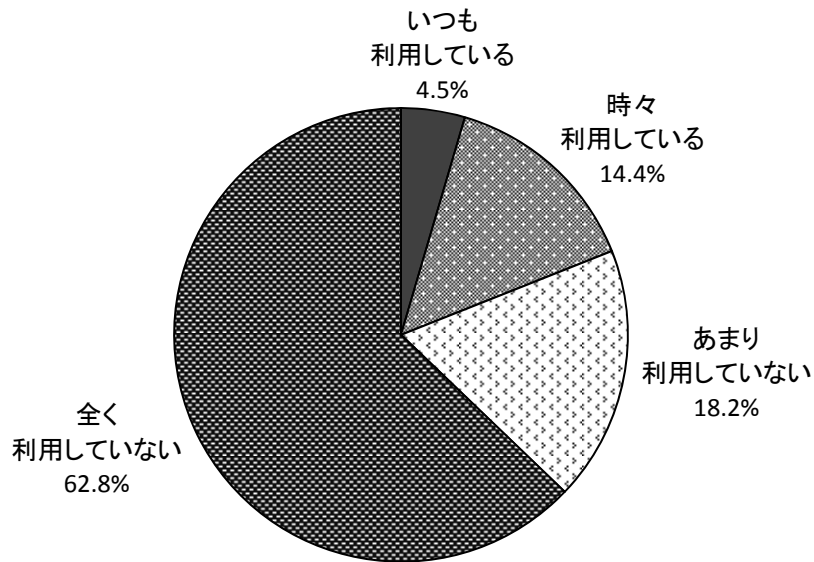
	日常的に 不便を感じている	たまに 不便を感じている	あまり 不便を感じない	不便を感じる ことはない	計61人
上北条	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	3人
上井	38.5%	38.5%	15.4%	7.7%	13人
西郷	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	6人
上灘	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	5人
成徳	18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	11人
明倫	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1人
灘手	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人
社	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	6人
北谷	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	4人
高城	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1人
小鴨	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	4人
上小鴨	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2人
関金	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	5人

問4 1 あなたは、過去1年間のうちに路線バスを利用したことがありますか。

1. いつも利用している
2. 時々利用している
3. あまり利用していない
4. 全く利用していない

[全体]

「1. いつも利用している」「2. 時々利用している」と答えた人は18.9% (昨年19.0%)、「3. あまり利用していない」「4. 全く利用していない」と答えた人は81.0% (昨年81.0%)という結果になっています。



[年代別]

過去1年間のうちに路線バスを利用したことがあると答えた人は、40歳代が7.1%であるのに対し、70歳以上が36.3%という結果になっています。

	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
					計880人
20~29	1.6%	11.5%	16.4%	70.5%	61人
30~39	2.1%	7.3%	12.5%	78.1%	96人
40~49	1.8%	5.3%	14.2%	78.8%	113人
50~59	3.3%	8.0%	18.0%	70.7%	150人
60~64	3.7%	13.9%	14.8%	67.6%	108人
65~69	2.5%	15.3%	24.6%	57.6%	118人
70~	9.8%	26.5%	21.4%	42.3%	234人

[地区別]

過去1年間のうちに路線バスを利用したことがあると答えた人は、多くの地区で10~20%台であるのに対し、成徳・明倫地区は35%前後という結果になっています。

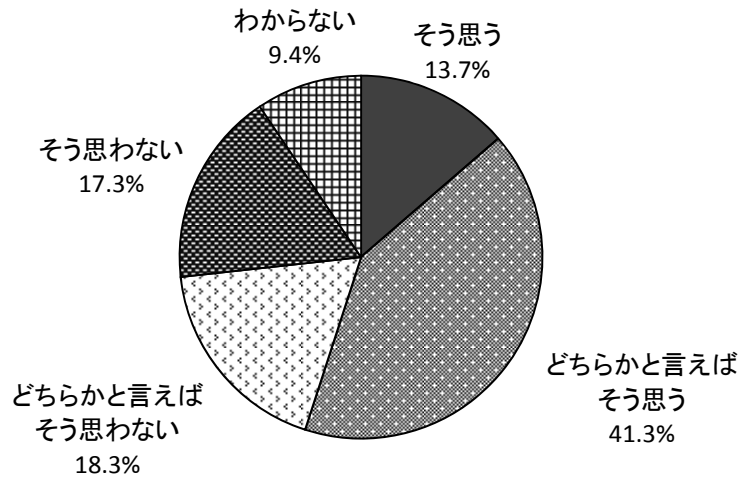
	いつも利用している	時々利用している	あまり利用していない	全く利用していない	
					計849人
上北条	1.8%	12.5%	8.9%	76.8%	56人
上井	6.8%	14.3%	20.3%	58.6%	133人
西郷	7.7%	4.6%	16.9%	70.8%	65人
上灘	4.9%	13.4%	17.1%	64.6%	82人
成徳	11.5%	26.2%	27.9%	34.4%	61人
明倫	1.6%	32.8%	31.3%	34.4%	64人
灘手	0.0%	12.5%	8.3%	79.2%	24人
社	3.5%	14.1%	14.1%	68.2%	85人
北谷	10.7%	3.6%	7.1%	78.6%	28人
高城	0.0%	15.4%	7.7%	76.9%	26人
小鴨	0.8%	13.3%	21.7%	64.2%	120人
上小鴨	2.9%	8.6%	25.7%	62.9%	35人
関金	5.7%	10.0%	7.1%	77.1%	70人

問4 2① あなたは、国道、県道など市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は55.0%（昨年50.6%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は35.6%（昨年41.1%）という結果になっています。



[年代別]

市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると感じた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、20歳代では37.7%であるのに対し、70歳以上では68.1%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	11.5%	26.2%	21.3%	23.0%	18.0%	計871人
30～39	8.3%	36.5%	21.9%	25.0%	8.3%	61人
40～49	9.6%	43.9%	17.5%	20.2%	8.8%	96人
50～59	10.0%	41.3%	24.0%	20.7%	4.0%	114人
60～64	15.7%	37.0%	21.3%	17.6%	8.3%	150人
65～69	14.7%	40.5%	12.9%	19.8%	12.1%	108人
70～	19.5%	48.7%	13.7%	7.5%	10.6%	116人
						226人

[地区別]

市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると感じた人は、多くの地区で40～60%台であるのに対し、成徳地区は72.2%と高い結果になっています。

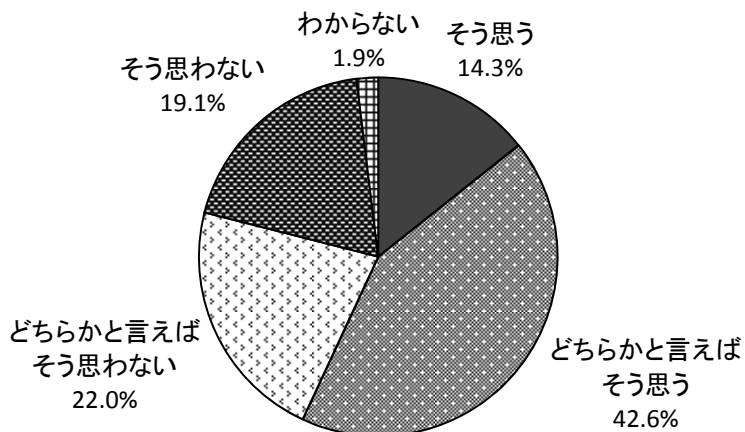
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	19.3%	31.6%	19.3%	22.8%	7.0%	計840人
上井	10.0%	44.6%	16.9%	15.4%	13.1%	57人
西郷	12.3%	38.5%	16.9%	20.0%	12.3%	130人
上灘	14.8%	49.4%	14.8%	16.0%	4.9%	65人
成徳	19.7%	52.5%	6.6%	11.5%	9.8%	81人
明倫	15.6%	45.3%	20.3%	9.4%	9.4%	61人
灘手	13.0%	52.2%	17.4%	8.7%	8.7%	64人
社	12.9%	32.9%	23.5%	16.5%	14.1%	23人
北谷	17.9%	39.3%	17.9%	17.9%	7.1%	85人
高城	23.1%	34.6%	23.1%	15.4%	3.8%	28人
小鴨	7.7%	40.2%	18.8%	25.6%	7.7%	26人
上小鴨	17.6%	44.1%	11.8%	20.6%	5.9%	117人
関金	11.6%	33.3%	27.5%	17.4%	10.1%	34人
						69人

問4 2② あなたのお住まいの地域の生活道路は、通行しやすく、歩行しやすい道路となっていますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は56.9%（昨年55.0%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は41.1%（昨年43.6%）という結果になっています。



[年代別]

住んでいる地域の生活道路が通行しやすく歩行しやすいと答えた人は、20歳代・30歳代が47%台であるのに対し、70歳以上は63.9%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	6.6%	41.0%	24.6%	24.6%	3.3%	計880人 61人
30～39	12.4%	35.1%	26.8%	22.7%	3.1%	97人
40～49	6.1%	49.1%	26.3%	16.7%	1.8%	114人
50～59	9.3%	47.0%	24.5%	17.9%	1.3%	151人
60～64	17.3%	40.9%	21.8%	20.0%	0.0%	110人
65～69	13.7%	43.6%	17.1%	24.8%	0.9%	117人
70～	23.5%	40.4%	18.3%	14.8%	3.0%	230人

[地区別]

住んでいる地域の生活道路が通行しやすく歩行しやすいと答えた人は、多くの地区で50～60%台であるのに対し、高城地区は80.8%と高く、西郷地区は40.0%と低い結果になっています。

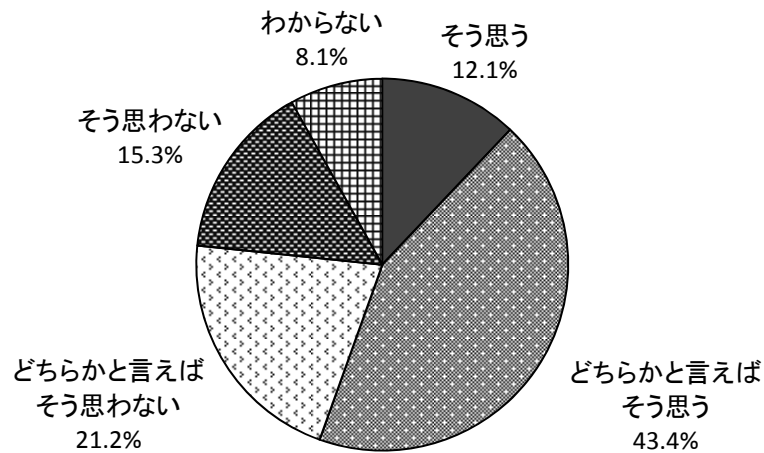
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	17.5%	33.3%	29.8%	19.3%	0.0%	計849人 57人
上井	15.8%	42.9%	21.8%	17.3%	2.3%	133人
西郷	6.2%	33.8%	16.9%	33.8%	9.2%	65人
上灘	18.3%	46.3%	15.9%	19.5%	0.0%	82人
成徳	16.4%	45.9%	27.9%	8.2%	1.6%	61人
明倫	17.2%	37.5%	29.7%	14.1%	1.6%	64人
灘手	4.3%	47.8%	13.0%	34.8%	0.0%	23人
社	11.8%	43.5%	27.1%	17.6%	0.0%	85人
北谷	7.1%	53.6%	17.9%	21.4%	0.0%	28人
高城	30.8%	50.0%	7.7%	11.5%	0.0%	26人
小鴨	8.3%	45.0%	17.5%	25.8%	3.3%	120人
上小鴨	20.0%	51.4%	25.7%	2.9%	0.0%	35人
関金	14.3%	34.3%	31.4%	18.6%	1.4%	70人

問4 2③ あなたのお住まいの地域は、ゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は55.5%（昨年58.3%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は36.5%（昨年36.8%）という結果になっています。



[年代別]

住んでいる地域がゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思うと答えた人は、いずれの年代も40～60%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	8.2%	52.5%	11.5%	18.0%	9.8%	計878人 61人
30～39	12.4%	37.1%	24.7%	16.5%	9.3%	97人
40～49	7.9%	41.2%	28.1%	11.4%	11.4%	114人
50～59	7.9%	45.0%	27.2%	12.6%	7.3%	151人
60～64	11.8%	45.5%	20.0%	15.5%	7.3%	110人
65～69	13.6%	40.7%	18.6%	20.3%	6.8%	118人
70～	17.2%	44.1%	16.7%	15.0%	7.0%	227人

[地区別]

住んでいる地域がゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思うと答えた人は、多くの地区が40～60%台であるのに対し、上小鴨地区は71.4%という高い結果になっています。

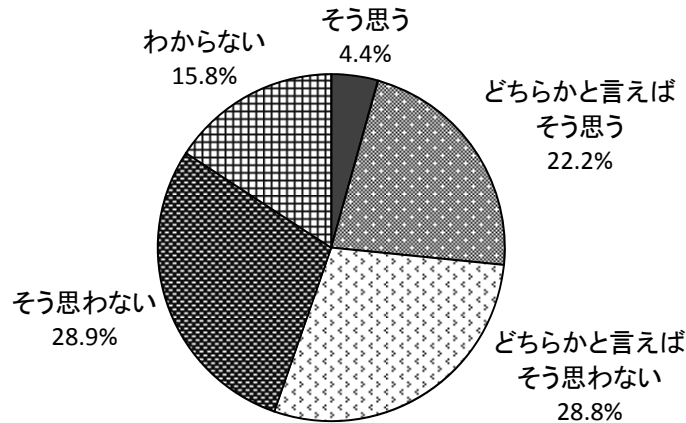
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	10.5%	42.1%	24.6%	17.5%	5.3%	計847人 57人
上井	13.0%	42.0%	21.4%	13.0%	10.7%	131人
西郷	6.2%	41.5%	24.6%	12.3%	15.4%	65人
上灘	14.6%	48.8%	15.9%	9.8%	11.0%	82人
成徳	9.8%	44.3%	19.7%	18.0%	8.2%	61人
明倫	17.2%	39.1%	23.4%	12.5%	7.8%	64人
灘手	8.3%	37.5%	33.3%	20.8%	0.0%	24人
社	15.3%	40.0%	21.2%	16.5%	7.1%	85人
北谷	17.9%	39.3%	17.9%	17.9%	7.1%	28人
高城	7.7%	57.7%	7.7%	15.4%	11.5%	26人
小鴨	10.0%	45.0%	20.8%	16.7%	7.5%	120人
上小鴨	11.4%	60.0%	22.9%	5.7%	0.0%	35人
関金	8.7%	42.0%	20.3%	23.2%	5.8%	69人

問4 2④ あなたは、倉吉市は市全体が、自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は26.6%（昨年25.8%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は57.7%（昨年57.9%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市は自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思うと答えた人は、いずれの年代も20～30%台という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	4.9%	16.4%	32.8%	27.9%	18.0%	計873人
30～39	6.2%	26.8%	24.7%	30.9%	11.3%	61人
40～49	2.6%	20.2%	32.5%	28.9%	15.8%	97人
50～59	3.3%	19.9%	33.8%	30.5%	12.6%	114人
60～64	3.7%	21.1%	24.8%	32.1%	18.3%	151人
65～69	3.4%	23.1%	30.8%	30.8%	12.0%	109人
70～	5.8%	24.6%	25.0%	24.6%	20.1%	117人
						224人

[地区別]

倉吉市は自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思うと答えた人は、多くの地区で20～30%台となっていますが、小鴨・上小鴨地区では18%前後と低い結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	7.0%	22.8%	24.6%	26.3%	19.3%	計843人
上井	5.3%	22.0%	26.5%	29.5%	16.7%	57人
西郷	1.5%	24.6%	30.8%	29.2%	13.8%	132人
上灘	4.9%	23.2%	26.8%	24.4%	20.7%	65人
成徳	6.7%	28.3%	20.0%	31.7%	13.3%	82人
明倫	3.1%	32.3%	30.8%	21.5%	12.3%	60人
灘手	4.2%	25.0%	33.3%	25.0%	12.5%	65人
社	6.0%	19.3%	32.5%	25.3%	16.9%	24人
北谷	10.7%	14.3%	28.6%	25.0%	21.4%	83人
高城	4.0%	24.0%	16.0%	36.0%	20.0%	28人
小鴨	0.0%	18.5%	35.3%	35.3%	10.9%	25人
上小鴨	5.7%	11.4%	22.9%	31.4%	28.6%	119人
関金	2.9%	22.1%	27.9%	30.9%	16.2%	35人

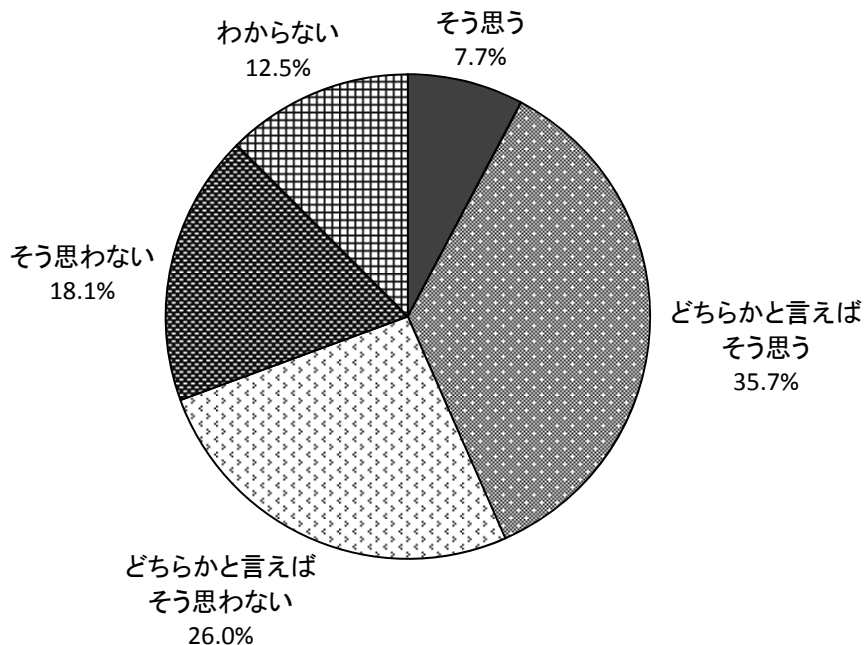
問4 2⑤ あなたのお住まいの地域は、市街地の景観や街並みが優れていると思いますか。

〔優れた景観の定義の例〕・歴史があり、都市と自然との調和を象徴している・様々な表情を人に感じさせる（四季の変化など）・そのまちを象徴するものである（シンボル）・住民が愛着心を持っている（いつまでも残しておきたいと認識している）・小説や映画などに活用されたことがある・他に例がないほどの希少価値がある・日常では体験できないことが体験できる など

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は43.4%（昨年42.8%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は44.1%（昨年45.7%）という結果になっています。



〔年代別〕

住んでいる地域の市街地の景観や街並みが優れていると思うと答えた人は、いずれの年代も40%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	6.7%	41.7%	21.7%	23.3%	6.7%	計866人 60人
30～39	9.3%	35.1%	26.8%	19.6%	9.3%	97人
40～49	7.0%	36.8%	26.3%	18.4%	11.4%	114人
50～59	4.0%	39.1%	26.5%	20.5%	9.9%	151人
60～64	8.3%	36.1%	24.1%	16.7%	14.8%	108人
65～69	7.9%	33.3%	28.9%	16.7%	13.2%	114人
70～	9.9%	32.4%	25.7%	15.8%	16.2%	222人

〔地区別〕

住んでいる地域の市街地の景観や街並みが優れていると思うと答えた人は、多くの地区で30～40%台であるのに対し、成徳地区は59.1%という結果になっています。

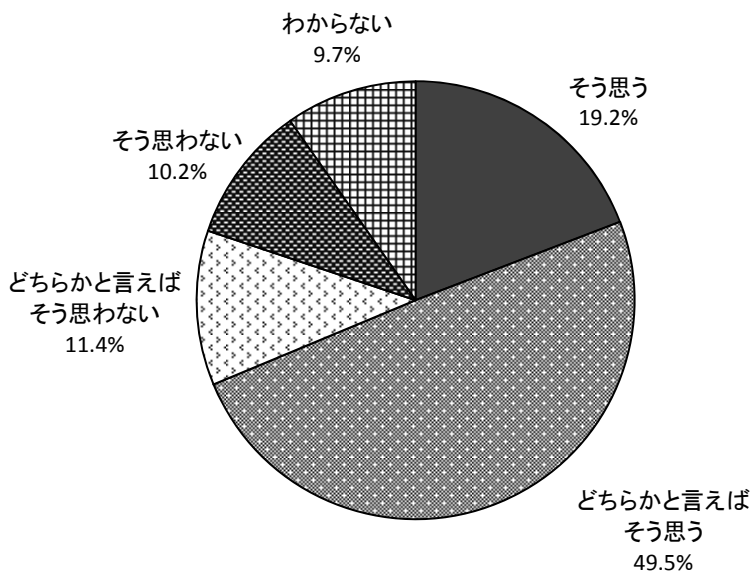
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	5.4%	41.1%	21.4%	21.4%	10.7%	計836人 56人
上井	6.1%	33.6%	26.7%	20.6%	13.0%	131人
西郷	1.5%	35.4%	30.8%	16.9%	15.4%	65人
上灘	13.4%	32.9%	24.4%	18.3%	11.0%	82人
成徳	14.8%	44.3%	19.7%	11.5%	9.8%	61人
明倫	8.1%	40.3%	22.6%	16.1%	12.9%	62人
灘手	8.3%	41.7%	20.8%	4.2%	25.0%	24人
社	9.5%	32.1%	26.2%	19.0%	13.1%	84人
北谷	7.1%	25.0%	46.4%	10.7%	10.7%	28人
高城	7.7%	38.5%	11.5%	26.9%	15.4%	26人
小鴨	3.4%	34.2%	29.9%	20.5%	12.0%	117人
上小鴨	5.9%	44.1%	17.6%	14.7%	17.6%	34人
関金	7.6%	37.9%	30.3%	16.7%	7.6%	66人

問43 あなたの住まいの地域では、水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は68.7%（昨年67.2%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は21.6%（昨年22.6%）という結果になっています。



〔年代別〕

住んでいる地域が水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思うと答えた人は、多くの年代で70%前後でしたが、60歳代前半では59.1%という結果でした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	24.6%	47.5%	8.2%	6.6%	13.1%	計876人 61人
30～39	19.6%	51.5%	10.3%	6.2%	12.4%	97人
40～49	17.7%	54.0%	10.6%	8.0%	9.7%	113人
50～59	16.0%	55.3%	8.7%	12.7%	7.3%	150人
60～64	12.7%	46.4%	17.3%	13.6%	10.0%	110人
65～69	21.4%	47.0%	13.7%	11.1%	6.8%	117人
70～	22.4%	46.1%	11.0%	10.1%	10.5%	228人

〔地区別〕

住んでいる地域が水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思うと答えた人は、多くの地区で60～70%台でしたが、高城地区が84.6%と高く、北谷地区は53.5%と若干低い結果になっています。

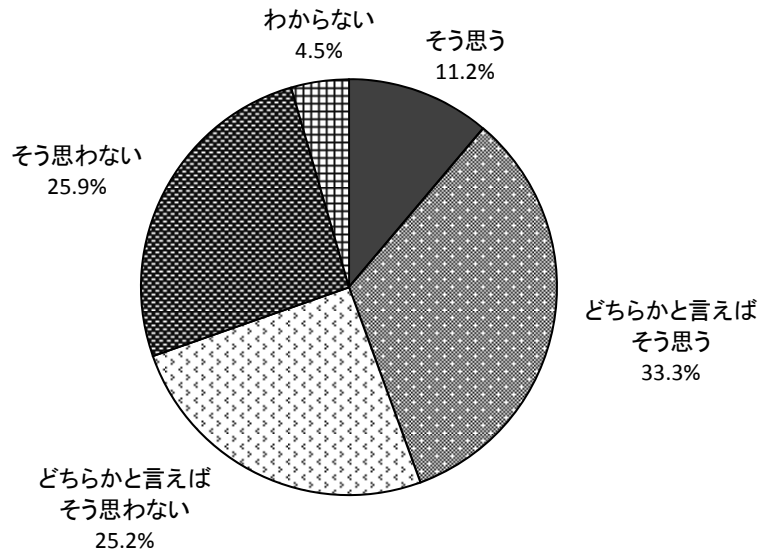
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	24.1%	51.7%	10.3%	8.6%	5.2%	計845人 58人
上井	12.9%	45.5%	15.9%	13.6%	12.1%	132人
西郷	15.6%	48.4%	9.4%	10.9%	15.6%	64人
上灘	12.0%	57.8%	12.0%	8.4%	9.6%	83人
成徳	21.7%	48.3%	11.7%	11.7%	6.7%	60人
明倫	27.0%	47.6%	9.5%	6.3%	9.5%	63人
灘手	25.0%	58.3%	4.2%	8.3%	4.2%	24人
社	19.3%	43.4%	13.3%	13.3%	10.8%	83人
北谷	21.4%	32.1%	14.3%	17.9%	14.3%	28人
高城	23.1%	61.5%	3.8%	3.8%	7.7%	26人
小鴨	17.4%	56.2%	9.1%	8.3%	9.1%	121人
上小鴨	14.3%	60.0%	11.4%	8.6%	5.7%	35人
関金	29.4%	45.6%	10.3%	5.9%	8.8%	68人

問4 4① あなたのお住まいの地域は、公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は44.5%（昨年46.1%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は51.1%（昨年48.4%）という結果になっています。



〔年代別〕

住んでいる地域に公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思うと答えた人は、すべての年代で40%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
						計869人
20～29	8.2%	37.7%	26.2%	23.0%	4.9%	61人
30～39	9.4%	34.4%	24.0%	28.1%	4.2%	96人
40～49	8.7%	33.0%	23.5%	30.4%	4.3%	115人
50～59	6.8%	34.7%	26.5%	27.2%	4.8%	147人
60～64	11.2%	36.4%	19.6%	29.0%	3.7%	107人
65～69	12.5%	32.1%	33.0%	19.6%	2.7%	112人
70～	16.0%	29.9%	24.2%	24.2%	5.6%	231人

〔地区別〕

住んでいる地域に公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思うと答えた人は、地区ごとにバラつきがあり、上灘地区が62.8%と最も高く、それに対し西郷地区は17.2%と最も低い結果になっています。

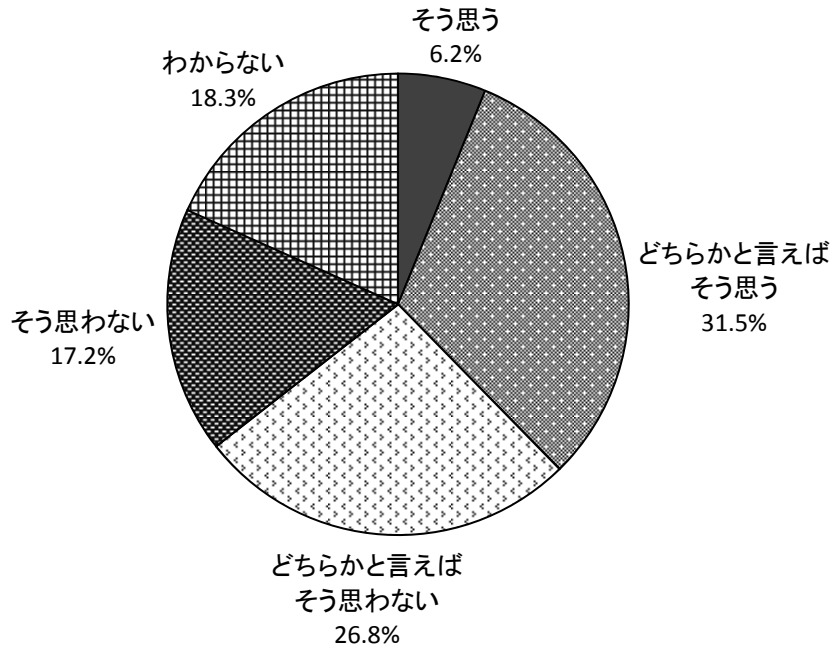
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
						計839人
上北条	8.8%	31.6%	21.1%	36.8%	1.8%	57人
上井	12.4%	43.4%	24.0%	13.2%	7.0%	129人
西郷	6.3%	10.9%	32.8%	46.9%	3.1%	64人
上灘	16.3%	46.5%	18.6%	17.4%	1.2%	86人
成徳	21.0%	40.3%	19.4%	14.5%	4.8%	62人
明倫	14.3%	31.7%	28.6%	20.6%	4.8%	63人
灘手	0.0%	37.5%	29.2%	33.3%	0.0%	24人
社	14.6%	36.6%	20.7%	23.2%	4.9%	82人
北谷	7.1%	17.9%	28.6%	42.9%	3.6%	28人
高城	11.1%	33.3%	11.1%	44.4%	0.0%	27人
小鴨	5.2%	28.4%	29.3%	30.2%	6.9%	116人
上小鴨	6.1%	30.3%	27.3%	33.3%	3.0%	33人
関金	11.8%	27.9%	26.5%	27.9%	5.9%	68人

問4 4② 倉吉市では、景観の保全や緑化の推進を行っています、それらの取組が進んでいると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は37.7%（昨年35.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は44.0%（昨年43.2%）という結果になっています。



[年代別]

倉吉市で景観の保全や緑化の推進の取組が進んでいると答えた人は、いずれの年代も30～40%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	6.6%	32.8%	23.0%	19.7%	18.0%	計858人 61人
30～39	6.3%	34.7%	26.3%	11.6%	21.1%	95人
40～49	7.0%	23.7%	30.7%	20.2%	18.4%	114人
50～59	2.0%	36.1%	24.5%	19.0%	18.4%	147人
60～64	6.6%	28.3%	25.5%	19.8%	19.8%	106人
65～69	7.3%	32.7%	30.9%	16.4%	12.7%	110人
70～	7.6%	31.6%	26.2%	15.6%	19.1%	225人

【地区別】

倉吉市で景観の保全や緑化の推進の取組が進んでいると答えた人は、多くの地区で30～40%台であるのに対し、成徳地区は56.5%という結果になっています。

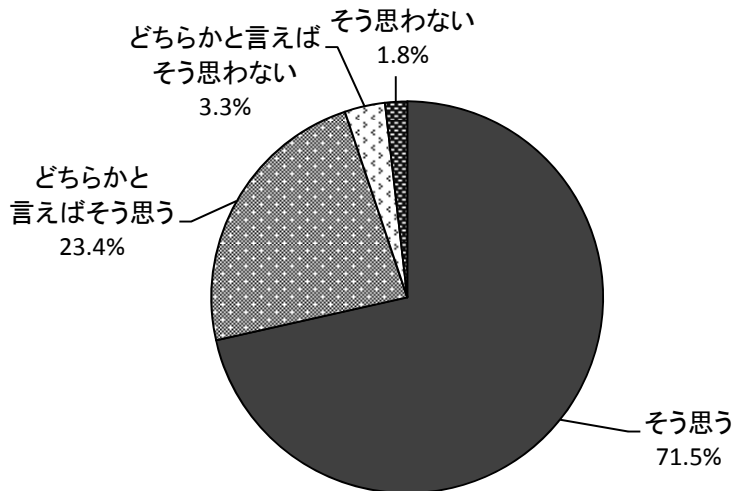
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	7.1%	25.0%	28.6%	26.8%	12.5%	計829人 56人
上井	6.3%	34.9%	27.0%	8.7%	23.0%	126人
西郷	4.6%	27.7%	29.2%	21.5%	16.9%	65人
上灘	4.7%	34.1%	25.9%	14.1%	21.2%	85人
成徳	11.3%	45.2%	14.5%	17.7%	11.3%	62人
明倫	6.3%	38.1%	27.0%	12.7%	15.9%	63人
灘手	0.0%	33.3%	20.8%	16.7%	29.2%	24人
社	8.9%	26.6%	27.8%	13.9%	22.8%	79人
北谷	7.1%	21.4%	32.1%	25.0%	14.3%	28人
高城	11.5%	34.6%	19.2%	26.9%	7.7%	26人
小鴨	2.6%	28.7%	30.4%	18.3%	20.0%	115人
上小鴨	9.4%	25.0%	37.5%	12.5%	15.6%	32人
関金	4.4%	32.4%	23.5%	20.6%	19.1%	68人

問45 あなたは、市内の森林が保全されることを大切だと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は94.9%（昨年96.3%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は5.1%（昨年3.7%）という結果になっています。



【年代別】

市内の森林が保全されることを大切だと思うと答えた人は、いずれの年代も90%以上と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
20～29	59.0%	34.4%	4.9%	1.6%	計873人 61人
30～39	72.9%	21.9%	2.1%	3.1%	96人
40～49	68.1%	31.0%	0.9%	0.0%	113人
50～59	65.5%	27.7%	4.1%	2.7%	148人
60～64	77.6%	17.8%	3.7%	0.9%	107人
65～69	77.5%	18.9%	3.6%	0.0%	111人
70～	73.8%	19.4%	3.8%	3.0%	237人

【地区別】

市内の森林が保全されることを大切だと思うと答えた人は、多くの地区で90%以上であるのに対し、北谷地区では85.1%と若干低い結果となっています。

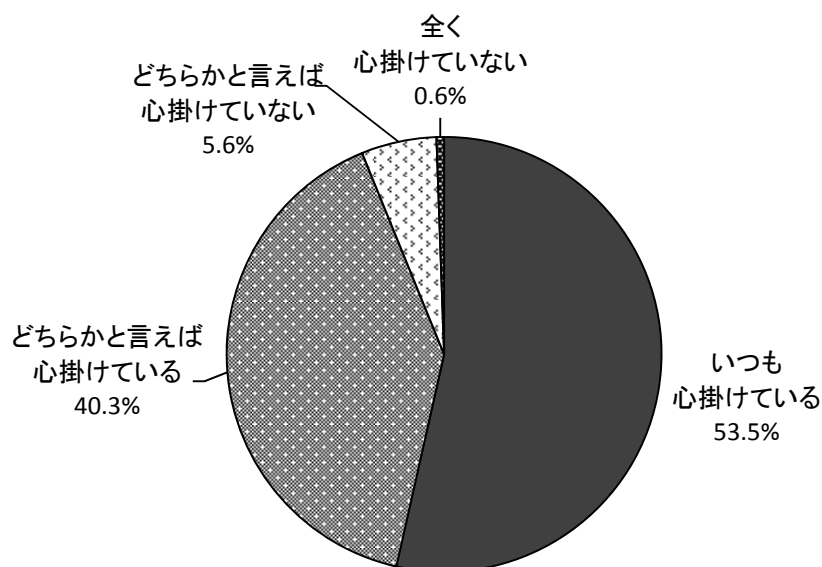
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	
上北条	75.4%	17.5%	5.3%	1.8%	計843人 57人
上井	68.2%	24.0%	6.2%	1.6%	129人
西郷	80.0%	15.4%	3.1%	1.5%	65人
上灘	77.9%	19.8%	1.2%	1.2%	86人
成徳	84.1%	11.1%	3.2%	1.6%	63人
明倫	69.2%	26.2%	4.6%	0.0%	65人
灘手	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%	24人
社	67.5%	27.7%	2.4%	2.4%	83人
北谷	48.1%	37.0%	3.7%	11.1%	27人
高城	72.0%	20.0%	4.0%	4.0%	25人
小鴨	69.2%	27.4%	2.6%	0.9%	117人
上小鴨	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	33人
関金	69.6%	27.5%	1.4%	1.4%	69人

問46 あなたは、日々の暮らしの中で、ごみの分別、資源回収、家電など、地球環境にやさしい取組を心掛けていますか。

1. 心掛けている
2. どちらかと言えば心掛けている
3. どちらかと言えば心掛けていない
4. 全く心掛けていない

【全体】

「1. いつも心掛けている」「2. どちらかと言えば心掛けている」と答えた人は93.8%（昨年95.5%）、「3. どちらかと言えば心掛けていない」「4. 全く心掛けていない」と答えた人は6.2%（昨年4.4%）という結果になっています。



【性別】

日々の暮らしの中で地球環境にやさしい取組を心掛けていると答えた人は、女性が95.5%、男性が91.2%と男女間に差は見られませんでした。

	いつも心掛けている	どちらかと言えば心掛けている	どちらかと言えば心掛けていない	全く心掛けていない	
男	48.8%	42.4%	8.4%	0.3%	計872人 344人
女	56.3%	39.2%	3.8%	0.8%	528人

[年代別]

日々の暮らしの中で地球環境にやさしい取組を心掛けていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、65歳以上では97%以上という結果になっています。

	いつも心掛けている	どちらかと言えば心掛けている	どちらかと言えば心掛けていない	全く心掛けていない	
					計878人
20～29	36.1%	47.5%	14.8%	1.6%	61人
30～39	35.4%	52.1%	10.4%	2.1%	96人
40～49	45.6%	48.2%	6.1%	0.0%	114人
50～59	45.9%	48.6%	5.4%	0.0%	148人
60～64	57.9%	35.5%	5.6%	0.9%	107人
65～69	51.3%	46.0%	1.8%	0.9%	113人
70～	72.8%	24.3%	2.9%	0.0%	239人

[地区別]

日々の暮らしの中で地球環境にやさしい取組を心掛けていると答えた人は、いずれの地区も80～90%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	いつも心掛けている	どちらかと言えば心掛けている	どちらかと言えば心掛けていない	全く心掛けていない	
					計848人
上北条	58.6%	37.9%	1.7%	1.7%	58人
上井	58.5%	36.9%	4.6%	0.0%	130人
西郷	58.5%	38.5%	3.1%	0.0%	65人
上灘	58.1%	37.2%	4.7%	0.0%	86人
成徳	73.0%	25.4%	1.6%	0.0%	63人
明倫	58.5%	38.5%	3.1%	0.0%	65人
灘手	41.7%	45.8%	12.5%	0.0%	24人
社	50.0%	41.7%	7.1%	1.2%	84人
北谷	28.6%	60.7%	7.1%	3.6%	28人
高城	51.9%	40.7%	7.4%	0.0%	27人
小鴨	51.7%	39.7%	8.6%	0.0%	116人
上小鴨	42.4%	48.5%	9.1%	0.0%	33人
関金	39.1%	53.6%	5.8%	1.4%	69人

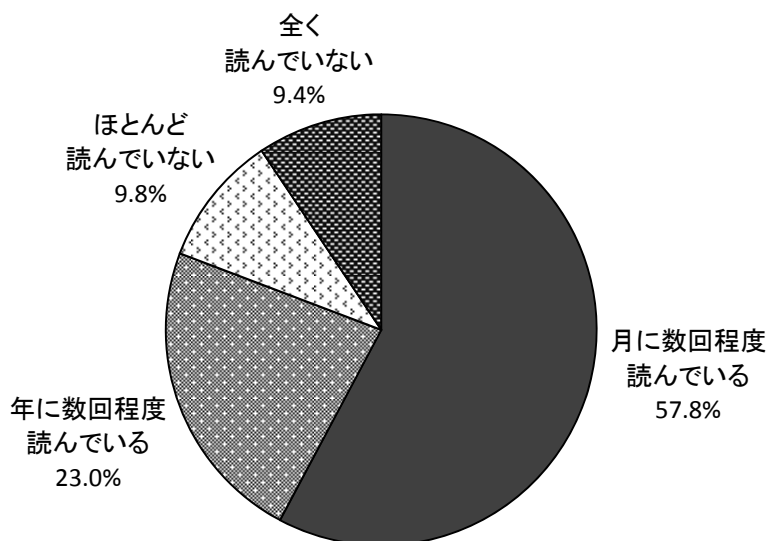
(5) 市役所が提供している情報並びに行政サービスについて

問47 あなたは倉吉市の情報を得るために、日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていますか。

1. 月に数回程度読んでいる
2. 年に数回程度読んでいる
3. ほとんど読んでいない
4. 全く読んでいない

[全体]

「1. 月に数回程度読んでいる」「2. 年に数回程度読んでいる」と答えた人は80.8%（昨年81.2%）、「3. ほとんど読んでいない」「4. 全く読んでいない」と答えた人は19.2%（昨年18.8%）という結果となっています。



[性別]

日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていると答えた人は、女性が83.8%、男性が76.1%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	月に数回程度読んでいる	年に数回程度読んでいる	ほとんど読んでいない	全く読んでいない	
男	49.9%	26.2%	14.0%	9.9%	計869人 343人
女	62.7%	21.1%	7.0%	9.1%	526人

[年代別]

日頃から市役所のホームページや市報くらよしを見たりしていると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では94.6%という結果になっています。

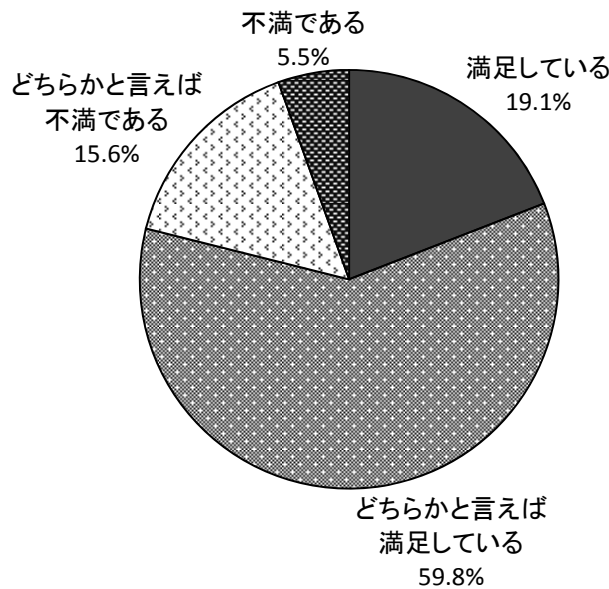
	月に数回程度読んでいる	年に数回程度読んでいる	ほとんど読んでいない	全く読んでいない	
20～29	26.2%	26.2%	18.0%	29.5%	計874人 61人
30～39	32.3%	22.9%	19.8%	25.0%	96人
40～49	52.6%	28.1%	7.9%	11.4%	114人
50～59	56.1%	25.7%	9.5%	8.8%	148人
60～64	66.0%	17.0%	11.3%	5.7%	106人
65～69	61.6%	24.1%	8.9%	5.4%	112人
70～	74.3%	20.3%	4.6%	0.8%	237人

問48 あなたは、市役所の窓口や電話など、職員の対応についてどう思いますか。

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば不満である
4. 不満である

[全体]

「1. 満足している」「2. どちらかと言えば満足している」と答えた人は78.9%（昨年76.4%）で、「3. どちらかと言えば不満である」「4. 不満である」と答えた人は21.1%（昨年23.6%）という結果になっています。



[性別]

市役所の窓口や電話など、職員の対応について満足していると答えた人は、男性が83.9%。女性が76.0%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
男	20.9%	63.0%	11.8%	4.2%	計852人 330人
女	17.8%	58.2%	18.0%	5.9%	522人

[年代別]

市役所の窓口や電話など、職員の対応について満足していると答えた人は、多くの年代で70～90%台であるのに対し、30歳代が63.4%という結果になっています。

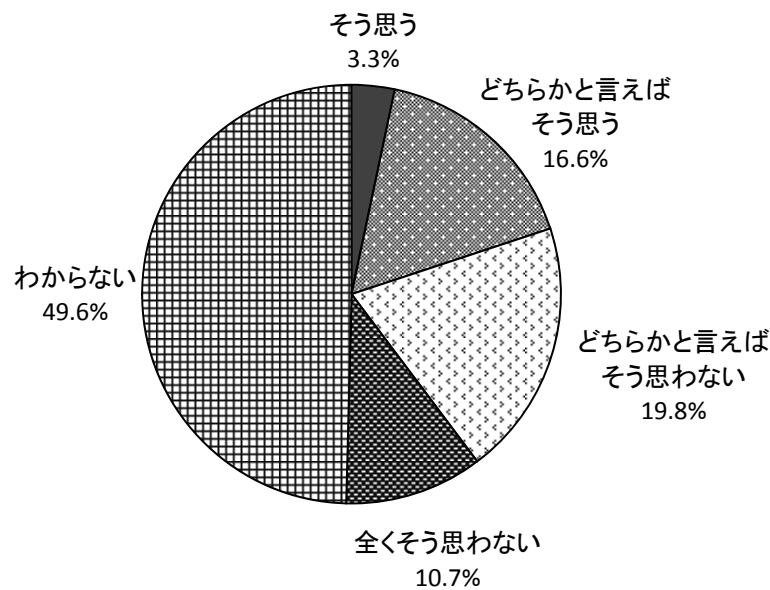
	とても満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば不満である	不満である	
20～29	11.9%	61.0%	20.3%	6.8%	計858人 59人
30～39	8.6%	54.8%	21.5%	15.1%	93人
40～49	15.0%	57.5%	15.0%	12.4%	113人
50～59	12.6%	64.3%	21.0%	2.1%	143人
60～64	18.3%	53.8%	20.2%	7.7%	104人
65～69	15.5%	69.1%	14.5%	0.9%	110人
70～	33.1%	58.1%	7.6%	1.3%	236人

問49 倉吉市では、総合計画に基づいてまちづくりを進めています。その目標を達成するために予算（市税、地方交付税、国県支出金など）が効果的・効率的に使われていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

〔全体〕

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は19.9%（昨年21.3%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は30.5%（昨年28.3%）という結果になっています。



〔性別〕

倉吉市では予算が効果的・効率的に使われていると思うと答えた人は、男性が24.6%であるのに対し、女性が16.8%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
男	4.4%	20.2%	23.1%	10.8%	41.5%	計867人 342人
女	2.7%	14.1%	17.7%	10.1%	55.4%	525人

〔年代別〕

倉吉市では予算が効果的・効率的に使われていると思うと答えた人は、多くの年代で10～20%台であるのに対し、20歳代では9.8%と最も低い結果になっています。

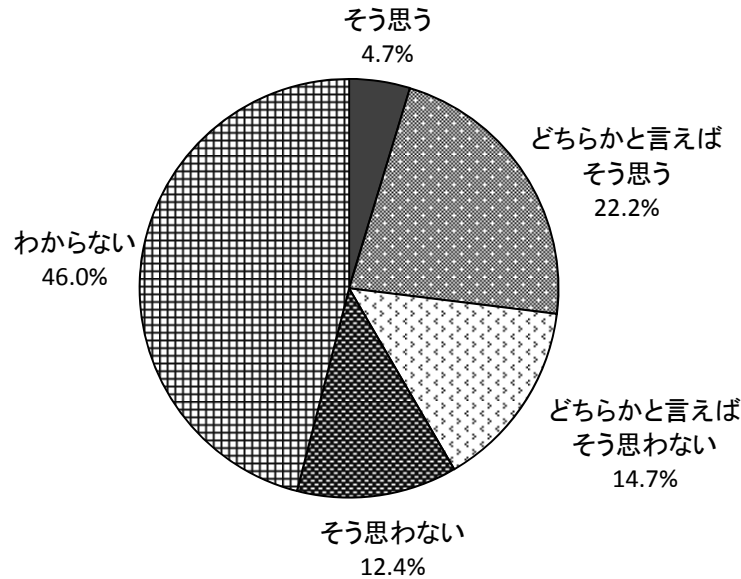
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	全く そう思わない	わからない	
20～29	1.6%	8.2%	24.6%	13.1%	52.5%	計873人 61人
30～39	1.0%	11.5%	27.1%	16.7%	43.8%	96人
40～49	1.8%	16.7%	19.3%	9.6%	52.6%	114人
50～59	2.7%	14.2%	20.9%	12.8%	49.3%	148人
60～64	2.8%	12.0%	21.3%	12.0%	51.9%	108人
65～69	3.5%	21.2%	20.4%	8.0%	46.9%	113人
70～	6.0%	22.3%	14.2%	7.3%	50.2%	233人

問50 あなたは、倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は26.9%（昨年29.7%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は27.1%（昨年23.7%）という結果になっています。



[性別]

倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思うと答えた人は、男性が30.8%、女性が24.3%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	5.2%	25.6%	16.0%	13.4%	39.8%	計866人 344人
女	4.4%	19.9%	13.8%	11.3%	50.6%	522人

[年代別]

倉吉市では情報公開など市民に開かれた市政運営が行われていると思うと答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上では36.1%という結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	6.7%	10.0%	15.0%	11.7%	56.7%	計872人 60人
30～39	3.1%	14.6%	16.7%	15.6%	50.0%	96人
40～49	3.5%	17.4%	12.2%	13.0%	53.9%	115人
50～59	3.4%	22.3%	13.5%	14.9%	45.9%	148人
60～64	3.7%	24.1%	16.7%	17.6%	38.0%	108人
65～69	4.5%	24.1%	15.2%	13.4%	42.9%	112人
70～	6.9%	29.2%	14.6%	6.4%	42.9%	233人

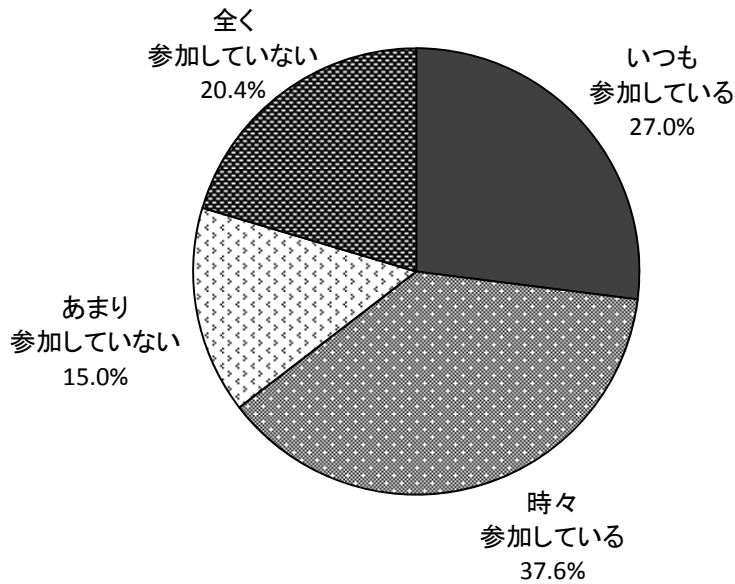
(6) 地域の活動について

問5 1 あなたは、過去1年間にお住まいの地域の自治公民館活動に参加したことがありますか。

1. いつも参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加していない
4. 全く参加していない

[全体]

「1. いつも参加している」「2. 時々参加している」と答えた人は64.6%（昨年64.5%）、「3. あまり参加していない」「4. 全く参加していない」と答えた人は35.4%（昨年35.5%）という結果になっています。



[性別]

過去1年間に住んでいる地域の自治公民館活動に参加したことがあると答えた人は、男性が69.8%、女性が61.6%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	
男	37.5%	32.3%	11.3%	18.9%	計872人 344人
女	20.3%	41.3%	16.9%	21.6%	528人

[年代別]

過去1年間に住んでいる地域の自治公民館活動に参加したことがあると答えた人は、40歳以上が60～70%台となっていますが、20歳代は27.9%と低い結果になっています。

	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	
20～29	6.6%	21.3%	18.0%	54.1%	計878人 61人
30～39	16.7%	31.3%	9.4%	42.7%	96人
40～49	27.0%	37.4%	13.9%	21.7%	115人
50～59	25.2%	42.2%	17.0%	15.6%	147人
60～64	33.3%	37.0%	19.4%	10.2%	108人
65～69	35.7%	42.0%	12.5%	9.8%	112人
70～	30.5%	39.7%	15.1%	14.6%	239人

【地区別】

過去1年間に住んでいる地域の自治公民館活動に参加したことがあると答えた人は、地域ごとにバラつきがあり、上小鴨地区が80.0%と高く、上井地区・成徳地区は51%台と低い結果になっています。

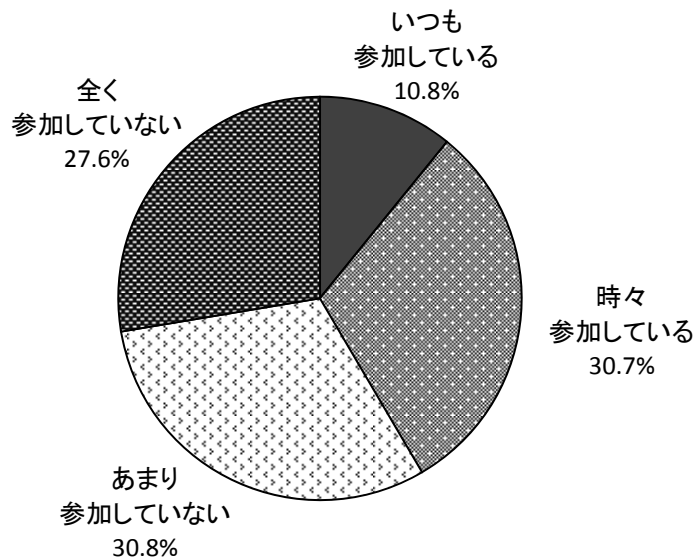
	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	
					計848人
上北条	41.4%	27.6%	10.3%	20.7%	58人
上井	20.0%	31.5%	16.9%	31.5%	130人
西郷	12.3%	43.1%	16.9%	27.7%	65人
上灘	25.9%	40.0%	16.5%	17.6%	85人
成徳	12.9%	38.7%	19.4%	29.0%	62人
明倫	33.8%	44.6%	7.7%	13.8%	65人
灘手	33.3%	45.8%	8.3%	12.5%	24人
社	20.2%	39.3%	17.9%	22.6%	84人
北谷	21.4%	39.3%	25.0%	14.3%	28人
高城	40.7%	29.6%	14.8%	14.8%	27人
小鴨	34.5%	34.5%	16.4%	14.7%	116人
上小鴨	40.0%	40.0%	8.6%	11.4%	35人
関金	37.7%	40.6%	10.1%	11.6%	69人

問52 あなたは、お住まいの地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したりしていますか。

1. いつも参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加していない
4. 全く参加していない

【全体】

「1. いつも参加している」「2. 時々参加している」と答えた人は41.5%（昨年38.4%）、「3. あまり参加していない」「4. 全く参加していない」と答えた人は58.4%（昨年61.5%）という結果になっています。



【性別】

住んでいる地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していると答えた人は、男性が51.9%と高いのに対し、女性は35.3%という結果になっています。

	いつも参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	
					計870人
男	17.8%	34.1%	23.9%	24.2%	343人
女	6.5%	28.8%	34.9%	29.8%	527人

〔年代別〕

住んでいる地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していると答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、65歳代後半は50.9%という結果になっています。

	いつも 参加している	時々 参加している	あまり 参加していない	全く 参加していない	計876人
20～29	1.6%	14.8%	16.4%	67.2%	61人
30～39	3.1%	20.8%	30.2%	45.8%	96人
40～49	2.6%	33.3%	31.6%	32.5%	114人
50～59	11.6%	34.0%	28.6%	25.9%	147人
60～64	14.8%	32.4%	32.4%	20.4%	108人
65～69	16.1%	34.8%	32.1%	17.0%	112人
70～	15.5%	32.8%	34.5%	17.2%	238人

〔地区別〕

住んでいる地域のまちづくりに自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加していると答えた人は、多くの地区で40～50%台であるのに対し、上井・西郷・成徳地区は30%前後という結果になっています。

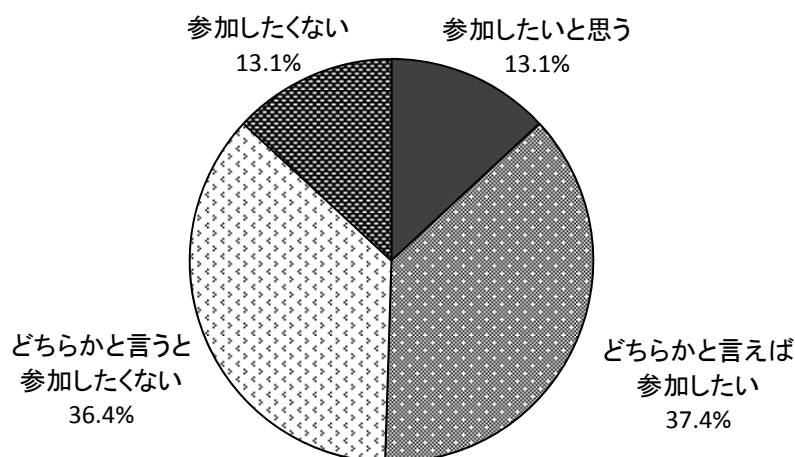
	いつも 参加している	時々 参加している	あまり 参加していない	全く 参加していない	計846人
上北条	17.5%	38.6%	17.5%	26.3%	57人
上井	6.9%	23.1%	27.7%	42.3%	130人
西郷	3.1%	26.2%	40.0%	30.8%	65人
上灘	11.6%	32.6%	31.4%	24.4%	86人
成徳	7.9%	22.2%	34.9%	34.9%	63人
明倫	12.3%	44.6%	23.1%	20.0%	65人
灘手	12.5%	45.8%	25.0%	16.7%	24人
社	8.4%	24.1%	34.9%	32.5%	83人
北谷	17.9%	28.6%	28.6%	25.0%	28人
高城	20.0%	36.0%	32.0%	12.0%	25人
小鴨	11.2%	31.9%	34.5%	22.4%	116人
上小鴨	17.1%	34.3%	22.9%	25.7%	35人
関金	15.9%	34.8%	33.3%	15.9%	69人

問53 あなたは、お住まいの地域まちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思いますか。

1. 参加したいと思う
2. どちらかと言えば参加したい
3. どちらかと言うと参加したくない
4. 参加したくない

〔全体〕

「1. いつも参加している」「2. 時々参加している」と答えた人は50.5%（昨年51.5%）、「3. あまり参加していない」「4. 全く参加していない」と答えた人は49.5%（昨年48.6%）という結果になっています。



[性別]

住んでいる地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思うと答えた人は、男性が55.0%、女性が48.1%と男女間に大きな差は見られませんでした。

	参加したいと思う	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言うと参加したくない	参加したくない	
男	19.2%	35.8%	33.7%	11.3%	計863人 344人
女	9.2%	38.9%	37.4%	14.5%	519人

[年代別]

住んでいる地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思うと答えた人は、年代を重ねるごとに高くなる傾向があり、70歳以上が59.2%という結果になっています。

	参加したいと思う	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言うと参加したくない	参加したくない	
20～29	9.8%	27.9%	34.4%	27.9%	計869人 61人
30～39	2.1%	36.5%	43.8%	17.7%	96人
40～49	8.0%	33.6%	46.0%	12.4%	113人
50～59	13.6%	37.4%	41.5%	7.5%	147人
60～64	18.5%	34.3%	33.3%	13.9%	108人
65～69	18.0%	37.8%	30.6%	13.5%	111人
70～	15.9%	43.3%	30.0%	10.7%	233人

[地区別]

住んでいる地域のまちづくりに、自分の意見を反映させたり、実際の活動に参加したいと思うと答えた人は、多くの地区で50～60%台であるのに対し、西郷・成徳・社地区は43%前後と若干低い結果になっています。

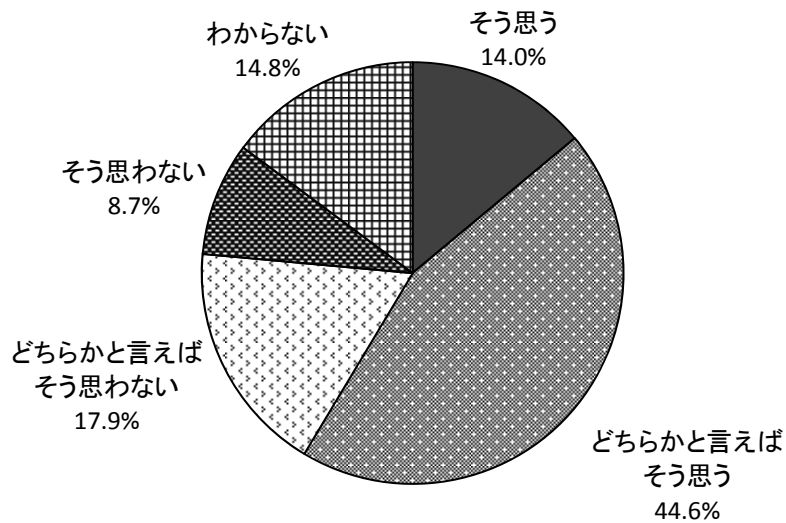
	参加したいと思う	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言うと参加したくない	参加したくない	
上北条	20.0%	38.2%	27.3%	14.5%	計840人 55人
上井	6.9%	42.3%	31.5%	19.2%	130人
西郷	6.3%	35.9%	42.2%	15.6%	64人
上灘	14.0%	41.9%	39.5%	4.7%	86人
成徳	9.5%	33.3%	36.5%	20.6%	63人
明倫	13.8%	33.8%	43.1%	9.2%	65人
灘手	17.4%	52.2%	21.7%	8.7%	23人
社	9.6%	33.7%	34.9%	21.7%	83人
北谷	14.3%	35.7%	39.3%	10.7%	28人
高城	28.0%	40.0%	28.0%	4.0%	25人
小鴨	14.7%	33.6%	44.0%	7.8%	116人
上小鴨	17.1%	40.0%	31.4%	11.4%	35人
関金	22.4%	29.9%	43.3%	4.5%	67人

問5 4① あなたのお住まいの地域では、自治公民館活動等を通じ、市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

[全体]

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は58.6%（昨年58.5%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は26.6%（昨年25.7%）という結果になっています。



[性別]

住んでいる地域で市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思うと答えた人は、男性が60.5%、女性が57.3%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	14.7%	45.8%	19.8%	8.2%	11.6%	計890人 354人
女	13.6%	43.7%	16.6%	9.0%	17.2%	536人

[年代別]

住んでいる地域で市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思うと答えた人は、いずれの年代も40～60%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	8.1%	43.5%	17.7%	6.5%	24.2%	計896人 62人
30～39	10.2%	37.8%	20.4%	8.2%	23.5%	98人
40～49	6.0%	50.9%	18.1%	11.2%	13.8%	116人
50～59	14.4%	47.7%	15.0%	7.8%	15.0%	153人
60～64	10.8%	42.3%	18.9%	13.5%	14.4%	111人
65～69	13.4%	42.9%	21.8%	8.4%	13.4%	119人
70～	22.4%	44.7%	16.0%	6.8%	10.1%	237人

【地区別】

住んでいる地域で市民同士がお互いに支え合い、助け合っていると思うと答えた人は、地区ごとにバラつきが見られ、灘手地区が83.3%と高く、上井地区が41.3%という結果になっています。

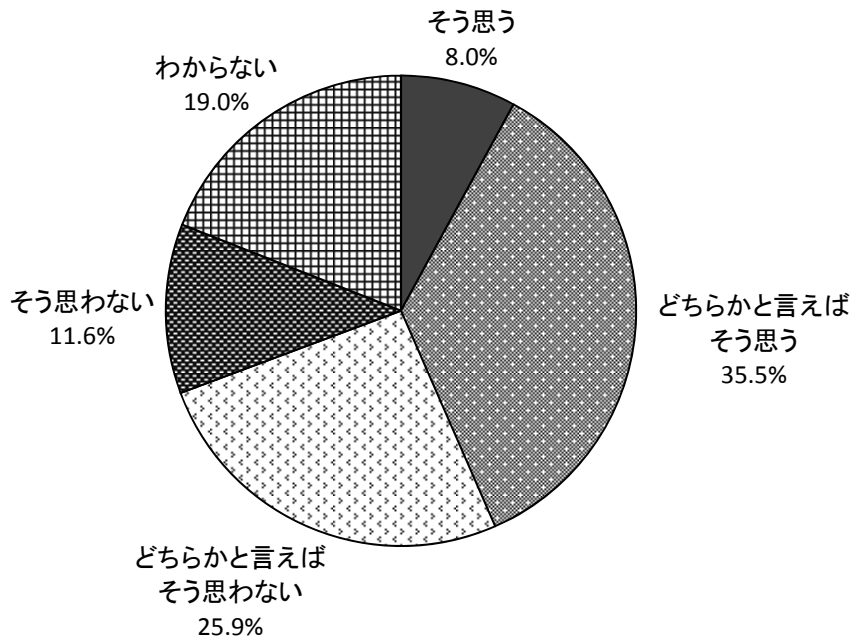
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	計866人
上北条	8.8%	49.1%	15.8%	10.5%	15.8%	57人
上井	10.5%	30.8%	21.1%	10.5%	27.1%	133人
西郷	4.5%	48.5%	19.7%	9.1%	18.2%	66人
上灘	17.2%	41.4%	19.5%	6.9%	14.9%	87人
成徳	14.1%	43.8%	17.2%	10.9%	14.1%	64人
明倫	10.6%	48.5%	25.8%	3.0%	12.1%	66人
灘手	25.0%	58.3%	4.2%	4.2%	8.3%	24人
社	10.3%	50.6%	11.5%	12.6%	14.9%	87人
北谷	14.3%	42.9%	28.6%	7.1%	7.1%	28人
高城	29.6%	44.4%	3.7%	18.5%	3.7%	27人
小鴨	13.4%	47.9%	21.0%	4.2%	13.4%	119人
上小鴨	27.8%	52.8%	11.1%	5.6%	2.8%	36人
関金	22.2%	45.8%	16.7%	6.9%	8.3%	72人

問5 4② あなたのお住まいの地域では、市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

【全体】

「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は43.5%（昨年43.9%）で、「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は37.5%（昨年35.3%）という結果になっています。



〔性別〕

住んでいる地域で市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思うと答えた人は、男性が43.9%、女性が42.9%と男女間に差は見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
男	8.8%	35.1%	30.6%	11.9%	13.6%	計887人 353人
女	7.5%	35.4%	22.8%	11.6%	22.7%	534人

〔年代別〕

住んでいる地域で市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思うと答えた人は、いずれの年代も30～50%台と大きなバラつきは見られませんでした。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
20～29	3.2%	30.6%	22.6%	6.5%	37.1%	計893人 62人
30～39	8.2%	24.5%	25.5%	15.3%	26.5%	98人
40～49	0.9%	41.4%	25.0%	12.9%	19.8%	116人
50～59	6.6%	37.5%	27.6%	11.2%	17.1%	152人
60～64	7.2%	29.7%	31.5%	17.1%	14.4%	111人
65～69	5.9%	37.8%	28.6%	11.8%	16.0%	119人
70～	14.9%	38.7%	22.1%	8.5%	15.7%	235人

〔地区別〕

住んでいる地域で市民が自主的・自発的なまちづくり活動に取り組んでいると思うと答えた人は、多くの地区が30～40%台であるのに対し、灘手・高城地区は60～70%台と若干高い結果になっています。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない	
上北条	5.4%	30.4%	33.9%	16.1%	14.3%	計863人 56人
上井	4.5%	26.3%	27.1%	15.0%	27.1%	133人
西郷	3.0%	34.8%	27.3%	12.1%	22.7%	66人
上灘	13.8%	34.5%	21.8%	11.5%	18.4%	87人
成徳	7.9%	38.1%	20.6%	11.1%	22.2%	63人
明倫	7.6%	37.9%	28.8%	6.1%	19.7%	66人
灘手	20.8%	50.0%	12.5%	8.3%	8.3%	24人
社	9.2%	34.5%	20.7%	12.6%	23.0%	87人
北谷	7.1%	35.7%	35.7%	7.1%	14.3%	28人
高城	11.1%	55.6%	14.8%	14.8%	3.7%	27人
小鴨	6.7%	33.6%	31.1%	8.4%	20.2%	119人
上小鴨	16.7%	36.1%	33.3%	5.6%	8.3%	36人
関金	7.0%	42.3%	26.8%	12.7%	11.3%	71人

Ⅲ まちづくりや市民サービスに関する意見等

倉吉市のまちづくりや行政サービスに関する自由記述（総括表）

倉吉市のまちづくりや行政サービスに関して、226人、述べ397件の意見が寄せられました。記載内容を分類したところ、最も多かったのは「3. 行財政改革・職員の意識改革・サービス向上に関する意見」で10.6%、次いで「6. 観光・イベント・レジャー・商業施設に関する意見」が10.1%、「7. 都市基盤（道路・河川・水道等）・公共交通に関する意見」「14. 教育・学習・文化芸術・スポーツに関する意見」が7.8%という結果になっています。

◆記載人数：226人

◆述べ件数：397件

※述べ件数は、一人の方が複数の意見を記載、あるいは複数の項目に関わる内容の記載で分類が難しい場合には、各項目に1件ずつ集計したものです。

	項 目	件数	構成比	
1	まちづくり・市政全般に関する意見	16	4.0	
2	人口・若者の定住化に関する意見	22	5.5	
3	行財政改革・職員の意識改革・サービス向上に関する意見	42	10.6	1
4	市議会に関する意見	12	3.0	
5	産業振興・雇用対策に関する意見	19	4.8	
6	観光・イベント・レジャー・商業施設に関する意見	40	10.1	2
7	都市基盤（道路・河川・水道等）・公共交通に関する意見	31	7.8	3
8	生活環境・住環境・景観保全に関する意見	24	6.0	
9	防災・防犯・交通安全に関する意見	24	6.0	
10	市役所庁舎・公共施設・公園の整備に関する意見	27	6.8	
11	住民自治・市民参画・地域活動に関する意見	24	6.0	
12	福祉・健康・医療に関する意見	22	5.5	
13	子育てに関する意見	22	5.5	
14	教育・学習・文化芸術・スポーツに関する意見	31	7.8	3
15	情報通信・情報公開・市報に関する意見	10	2.5	
16	人権・同和教育に関する意見	1	0.3	
17	市民意識調査に関する意見	12	3.0	
18	その他	18	4.5	
	合 計	397	100	

倉吉市のまちづくりや行政サービスに関する自由記述の主な意見

1. まちづくり・市政全般に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	60-64	市長が何を市民に提供したいのか全く伝わって来ない。市職員も同様に伝わって来ない。市民へのサービスが自分達の仕事という現実が全く見られないのが、他の市と比べて発展の状況が遅れている最大の理由ではないかと思う。 雪道対策に1回でも市長が実際に歩いてみたことがあるのでしょうか。 買い物、病院等交通弱者対策など、もっと最低ラインで暮らす人間の生活を実際に見て、1つでも改善されたと実感できる分かりやすい行政であってほしいと切望します。
男	65-69	旧市街地がもう少し活発になる方向を考えてもらいたい。
男	50-59	石田市長、とても頑張っておられると思います。人口流出、高齢化、少子化による諸問題など大変な事ばかりです。我ら商売人にとっても、大きな影響があります。 若い人に帰って来いと言っても無駄な話です。残っている人が少しでも充実した生活を送れるよう、それらに目を向けた方が良くと思います。
女	40-49	関金と倉吉が合併して良かったと言われる倉吉市になってほしい。まだ良かったと思えることがないように思う。あるのでしょうか。
女	70-	企業誘致で雇用促進取組は良いと思いますが、まちづくりの具体的方向性が見えません。
女	50-59	市のまちづくり活動は少しずつ良い方向に向かっていると思うが、鳥取、米子にくらべて今ひとつ活力が乏しいかな…市内より、市外に出向いてしまうことの方が多い。
女	50-59	倉吉市の行政サービスは、市民本意とを感じる面が多々あります。今後も、その姿勢は保っていただきたいと思います。しかし、意見を言える人たちが主導になっている感覚は否めません。その意見を言う機会をぜひ若い人たちに提供できて、若い人たちが主体性をもって暮していける街になってほしいと思います。
男	65-69	私には市長の顔が見えないと思う。過去の市長も含めて、具体的に何をしておられるのかわかりません。倉吉市を、観光地にするのか、産業活性化させるのか、若い人が定住するまちづくりをするのか、基本が見えない。
女	40-49	景観の保全や緑化の推進を行っているところがあるが、街路樹をバサバサ切り倒したりいびつな形に剪定したりすることが、景観の保全ですか？歴史文化遺産が列挙されていますが、何かの文化財にならないと遺すべき大切な建築物になりませんか？円形校舎などは、唯一無二の遺産にはなりませんか？倉吉市の総合計画、めざすものがどんなものかわかりませんが、本当に大切なものが何か考えてみた方がいいと思います。
男	30-39	360度山なのに山が生きていない。川も、田畑も。 右にならえ都市にならえばかりで倉吉らしさが消えている。 倉吉市旗も市章も持ってない。みんなでつけよう、かかげよう。
女	70-	見える所ばかりでなく目に見えない所にも目を向けてほしい。
女	40-49	意見しても受け入れられない事が多いように思います。行政側に立つ人々の積極的な活動を期待します。
女	70-	町に活気をお願いします。
女	65-69	高齢者が住みよいまちづくりに取り組んで欲しいと願っています。
女	70-	田舎は置き去り、市内中心だけの行政は納得できない。市政に良い所は一つもない。要望も何一つ聞いてもらった事がないので協力する気もない。

2. 人口・若者の定住化に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	40-49	倉吉市も、若者が定住しやすいようにもっと企業誘致や若者（20代、30代）が暮しやすい環境整備（税金面、育児の困り事での相談等）をし、イオン等のような大型店を郊外に誘致して欲しい。現在は、鳥取市に2店、日吉津村に1店あるが、大型店があれば若者もわざわざ鳥取、日吉津方面に行かなくても済むようになる。また、大型店で地元採用もできると思う。
女	40-49	若者の楽しめる環境ができていない。就職先もなく、資格を取得する専門学校もなく、高校卒業と同時にやむを得ず県外へ出ていく傾向が多い。大学も、鳥取県倉吉にはなく、やむを得ない。緑と水には言う事はないが、ショッピング等は倉吉では品物が少なく、鳥取・米子道が開通し便利になり、そちらで買い物をすることが多い。 若者はパート、アルバイトを掛け持ちで働いている現状を行政は理解できているのでしょうか？今の倉吉では老後は暮しやすいが若者には何ひとつ考えておられない。このような実状をもっと改善すべきです。口先だけでは解決になりません。
男	50-59	若者にとって全く魅力の無い市である。看護大学の誘致で喜んでいるようであるが、学生達には全く遊ぶ場所も無い。買い物する場所も無い。経済的には、結局米子、鳥取に遊び・買い物・観光と全部流れて行くことになるだろうと想像できる。 当市は若者定住を考えている割には、何も魅力を感じさせない場所である。
男	65-69	倉吉市の人口を増す対策、税と仕事と環境等々
男	40-49	Uターン・Iターン等の人達の集いがあれば、精神面が楽になると思う！
男	20-29	倉吉市に永く住みたいと思えるような工夫をして欲しい。
男	40-49	若者に対する政策が弱すぎると感じる。いかに子供の人口を増し、いかに高校、大学を卒業した人間を、この倉吉に住ませるかを真面目に考えるべきときでは無いのか。
男	65-69	少子化による将来不安定要素大。40代50代で独身者が多い。過疎が進んで、老人の多いこと。また、空き家も増えてきた。
-	60-64	倉吉市は税金が高すぎると思います。その為若者たちが倉吉から去ってしまうのでは。
男	65-69	統計上では暮しやすい町と言うが、実体はそう思わない。暮しやすければ若者が隣町に引越すするのはどうしてか？
女	50-59	若者が湯梨浜町へ流出している原因（我が子の意見です） 1. 税金（市民税）が高い 2. 子育て応援が充実していない（保育料の無料化） 3. 買い物は鳥取・米子へ行く（なぜ中間である倉吉を活用できないのか？）
女	40-49	若者の娯楽施設がない。職がなく、若者が帰ってこられない。スーパーは多いが、ショッピングはできない。
男	70-	ここ10年来倉吉市から若い世帯の人が郡部（特に湯梨浜町）に転居する現状のようですが、倉吉市としてはそのような現象をどのように受け取られているのでしょうか。聞いた話ですと税金とか保育料が高いとか。
女	50-59	人口減少に歯止めがかからず、子どもの姿が少なくなっている。若い家族が住みやすい環境作りのため、市外の体制の良い所を取り入れてみてはと思う。税金が高いのでは。
男	65-69	今後人口減少して行く中、未来への指針を示してほしい。
女	70-	市内だけでなく倉吉市外も発展する事が望ましいのでは… 若い人（30才、40才）の仕事がないので都会に出ていた人も帰れない。人口が増える事を考えてほしい。

女 20-29 該当するか分らないが、公共の交通網の充実・長期間安心して勤められる雇用環境・最低賃金の底上げ・商業施設の充実（駅前など）、高齢者等に対しての福祉も重要だが、まず現役の働く世代、さしては子供達の未来を支えてもらわなければ地方自治が瓦解するのではと切に案じている。

実際に自分の世代の目線から考えても、上記に弱い倉吉市に住んでいることで、不安で不満足な毎日である。住みたい、住みよい町として、地域の活性化をはかるためにも上記の点に注力していただきたく思う。

3. 行財政改革・職員の意識改革・サービス向上に関する意見

○行財政改革

性別	年齢	記述内容
男	70-	市民税が高額です。しあわせの郷など、赤字寸前の施設の抜本的見直しを。
女	40-49	「もったいないなあ」、「これはムダだなあ、これを節約すれば随分経費削減になるだろうなあ」と思う事がある。緑化など、まちづくり活動を具体的に見て、市民のどれ位が必要だと思っているのか、希望しているのか疑問に思う。税金が、どの様に使われ、反映されているのか明確にして欲しい。多く取られて、必要だと思えない所へ使われるのは不満である。
男	50-59	行政サービスの押付け、本当に必要としている方には届いていない。足を使って市内をもっと見るべき。陳情行政はもう時代錯誤。
男	70-	倉吉市はもっと本気で行政改革を行なうべきではないでしょうか。それと市役所並びにその関係機関の職員の数も多いのではないのでしょうか。一市民としてその事を痛切に感じて居ります。
男	65-69	高齢化社会による社会保障費の増加に伴い、国・地方財政が厳しいとか云々で、年金生活者層の支給額削減が目玉とされていますが、国会・地方議員の歳費カットなど、自から身を切る姿勢を本気で示すよう、地方からも国への強力な要望をお願いします。
男	70-	権利と義務、恩恵と負担、はっきり認識した行動を。税金を払わない、保険料を払わない—こういうことでは文句を言う資格はありません。 まじめに負担しているものが馬鹿をみる。こんな感じを受けないよう（与えないよう）未納の税金、保険料、しっかり徴収してください。
女	65-69	子供に結婚したらここに家建てたらどう？と聞くと、倉吉は税金が高いから東伯郡にすると返答があった。
男	70-	いつもお世話になり有難うございます。 私の毎日はボランティアに明け暮れる毎日です。ただ残念なのは税金に追いまわされている事です。やっと払ったと思ったらまた来るので息つく間がないのが現状です。税金が大切なのは良く分かるのですが……
女	60-64	人口の減少、老人世帯の増加、明るい未来が期待できません。 まちづくりについては長いスパンと短いスパン、明確にすべきです。 財政難で市がパンクしない様に、増税が期待できない現状、無駄なサービスはないか再考願いたいです。
女	50-59	いろいろな面が民営化されていけば良いと思う。市役所職員が多数になると税金が余計にかかるので合理的にするべきだと思う。保育園や行政のサービスを早く民営化される事を望む。

- 男 65-69 将来の市政を考えると、少子化に伴う過疎化、財政不足が予想されます。
このところ自己責任と言うことが強調される風潮もあり、個人の負担は公共性の高い、以前は行政で行っていた事業でも、以前よりはるかに大きくなっている。
以前は地区の総事で行っていたことも現在は対応できなくなりつつあります。限界集落の前兆現象だと思います。予算はインフラ・防災・子育て（少子化対策も含め）を優先してもらいたい。生涯学習（公民館活動）、地域づくり支援等は地区にまかせてもよいと思います。

○職員の意識改革

性別	年齢	記述内容
女	30-39	市役所の窓口で、時々、態度の悪い職員がいて、腹立たしい時がある。市役所は住民サービスの場ではないのか？あれでは住民サービスの場ではない。
男	50-59	市役所の対応は良いが、関金支所は最悪。用件の有る時は、必ず本庁舎へ行きます。本庁舎内での食事（職員の昼食等）は別室で食べていただきたい。
女	70-	市の職員の在り方についていつも思うことは、一市民であり自分の住んでいる街をよりよい街にしようとする積極的な意識が薄いことです。土・日に限らず、職務としてでなく一市民として参加してほしいと思うのです。もっと奉仕の心を指導してほしいし、良識ある人材を採用して欲しいと切に願っています。職員の採用する側に立つ人の良識を求めます。
男	70-	自治公民館活動・地域づくりなどに参加しているところですが、市の現職員及びOBの方は地域の行事など積極的に参加していただき、市の行政について指導をお願いしたい。
女	40-49	市役所が節電し、経費削減に取り組んでおられることは大変良いことだと思います。庁舎内が暗いのは仕方ないと思いますので、せめて明るいあいさつを心がけ、笑顔での接遇をしていただくと雰囲気だけでも明るくなるのではと思います。
女	40-49	エキパルの窓口の女性の言い方がきつい人がいた。
女	40-49	窓口対応で「お疲れ様でした」に違和感。職場の同僚か？「ありがとう」では。
男	50-59	市役所の職員にこのアンケートをされてはどうでしょう。地域でがんばっているスポーツ・文化・芸術活動・史跡などを実際に見たことがあるか、知っているかということ。倉吉市が開催、また倉吉市に関わる活動をどれくらい理解できているか。もっと倉吉市が良くなるためには、市役所・行政の意識の高さが必要では。とくに臨職の意識レベルが低いと思いますので、もっと勉強してほしいと思います。正職のみなさんも課が違くと、全然だめです。倉吉の歴史・文化・人材を知らなさすぎます。
女	60-64	市職員の私たちに対する接客態度がよくない。もう少し低姿勢で接した方がよいのでは。「何をしにきた」という顔をされる。職員教育をもう少しされた方がよいのでは。
女	70-	自転車で、用事のある時しかいかないけれど、いつ行っても、窓口は、親切です。とても感謝しています。ありがとうございます。
女	50-59	市役所の中に入りづらい雰囲気があると思う。あまり行くこともないので、いつもそんなのかわかからないが、あいさつをしてくださる方がほとんど無い。住民一人一人に職員の方がもっと丁寧に関わってくださると気持ち良く市役所に行けると思う。わからないことも聞きにくい感じがする。 倉吉駅にある行政コーナーは、休日にも対応してもらえてありがたいが、やはり対応が…？と思うこともあった。銀行等の接遇を学んでもっと“優しい倉吉”にしてほしい。

女	20-29	窓口の対応時(市役所での各課)、新人を立たせるのは、研修もかねていると思うのでしようがないと思いますが、対応の遅さにいらだつ時があります。経験不足なのでしょうがないと思いますが、上司の方々が補助するような配慮を持っていただきたいです。電話対応も同様です。他の市から来たので、違いがすごくわかります。そんな方々のために税金を払うのがばからしくなるので、考慮してください。不機嫌そうに対応するのも、やめていただきたい。私は、子どもが小さいため、子ども家庭課を利用する事が一番多いです。職員の方で、対応にムラがありすぎます(良い方と悪い方の)。子育てに大変な方が利用する事が多いと思いますので、悪い方に当たると、本当に嫌になります。
女	30-39	全体的に市役所の職員の方の態度が気になります。すれちがってもあいさつしないし、目が合っても知らんぷり。倉吉の顔なのだから、もっと笑顔で対応してほしいし、あいさつも基本中の基本だと思います。子どもでも人に会ったらあいさつしますよ。ぜひ改善して下さい。
女	30-39	市役所の職員がエレベーターを市民よりご自身優先に使用している姿をよく見かけます。また赤ちゃん連れで待っている人よりも職員が積極的に使用しているところを見ると、どうなのかと思ってしまう。あと若い男性のヒゲが不快です。おしゃれでされていると思いますが、不潔だと思います。だいたい会社はヒゲを剃るのが常識だと思いますが。身なりの乱れは心の乱れ、公務員を自覚してもらって下さい。
男	65-69	市役所に電話した時は以前に比べ言葉づかい等対応は良くなってきている。市役所に行った時、部署によっては、市民を待たせることがある。他の職員が協力しない!
男	40-49	公務員は上から目線で市民を見ているのでは。 市議員にペコペコする公務員はいらない。
男	65-69	市民が主役であるが、市の職員がもっと英知を出し、横の連係を取り、市民のリードをとってもらいたい。
男	65-69	市職員の天下りが目立つ。市民は感じよく思っていない。特に介護施設等への天下り。

○サービス向上

性別	年齢	記述内容
女	40-49	行政サービスについて、他縣市町村が行っている便利なサービスは積極的に取り入れてほしいと思います。例えば、コンビニで住民票が受け取れるなど。また、子育て世代が市役所に出向かなければいけない子ども家庭課や、障がいのある子どもがいる家庭では福祉課での手続きを、電話、郵便、インターネットなどを利用してできるようにしてほしいと思います。子どもを連れて行ったり、仕事中に休みをとって行ったりするのは大変です。
男	70-	高齢者が暮らしやすい行政サービスをお願いします。特に、印鑑登録の際に、本人確認が保険証ではできず、高齢者は車の免許証もなく、パスポートもないので、受付で腹が立ってしまいました。保証書をつくりましたが、あまりにも常識はずれな応答をされ、介護をしている者にとって、イライラした次第です。
男	30-39	倉吉駅前のエキパルは、休日でも行政サービスの対応をしてもらえるので、便利だと思う。
男	70-	今の行政サービスで良いと思いますので意見はありません。
男	50-59	行政サービスに関しての意見はありませんが、市職員の給与が高すぎると思う。減額分があれば更に行政サービスは充実すると思います。市職員こそ公共交通機関を利用すべし。

女	40-49	以前祖母の死亡届を出しに行った際、手続きにとても時間がかかった。喪主と祖母の関係を何度も説明したがなかなか理解してもらえなかった。終わった事なのでよいが、急いでいたので大変困った事があった。
女	40-49	インターネットによる情報提供が増えて、パソコンが使えないとわからないことが増えて不自由を感じます。インターネットにばかり頼らず（時代の流れはわかるのですが）今までのように書面での情報を待っています。便利で楽な方向に行かず職員の方が直接話をしたり、書面を出したりすることもひとつの市民サービスではないでしょうか。宜しくお願いします。
女	40-49	倉吉市に引っ越して参りました。市役所でいろいろ手続きをしましたが、たらい回しにされているなど感じることもありました。タテ割りのお仕事はわかりますが、横の連携というものは役場ではとられないのでしょうか。せつかくの個々の力がもったいないと思います。倉吉市ぐらいの規模だからこそできることがあると思います。期待しています。

4. 市議会に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	70-	市議会の人数削減。議員としての能力が無い者が多い。（選んだ市民が悪いのですが…）
女	60-64	人口の減少があるのに市職員の数、市会議員の数に適切ですか。
女	50-59	議員の仕事がわからない。出会ってもあいさつもしない議員が居る。この状態では言いたい意見も言えないし税金を納めている立場上これで良いか？と疑問を感じる。
男	50-59	市議のモラルを疑う。（含、市議会）
男	60-64	議員のスキルアップを望む。執行部提案に意見を述べることに終始している。まちづくりに良案を提示すべく勉強し、汗を流して頂きたいものである。 自費で海外等や福島へ足を運び社会の問題点等を掌握し、市民に示して下さい。できなければやめれば良い。
女	50-59	市議会議員も人数が多いのではと思います。ケーブルで議会中継を見る度、質問の言葉使いや態度も然る事ながら、内容もいかななものかと感じる時があります。お金を上手に使って住みやすい倉吉市にさせていただきますよう願っています。
男	60-64	市会議員に支払う報酬や、その他全ての合計金額が非常に多すぎると思います。議員数を減らすとか一人当りの手当等を含めた支払額を減らしたらと思います。よく話題に上ります。
男	50-59	市議会が市民のための活動を行っていると思えない。人の意見に左右されやすく、私利私欲の活動だと思う。倉吉市の将来を見据えた総合的な考えで、活動してほしい。市民のための議員は少数だと思う。市民の意識向上が必要だ。
男	65-69	市議会議員の質の低さに比べ手当が高い。下げるべきである。最後に議長職等の管理職はあいさつしない方がいます。
男	40-49	議会もくだらない事ばかりワーワー言っているようだが、若者に対しての考えが無いように思えてならない。
女	65-69	議長の公用車は高すぎるのでは、いらないと思います。
女	40-49	議員の給料は大幅に減額し、もっと若者が住みやすい環境整備が必要である。

5. 産業振興・雇用対策に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	70-	企業誘致が少しずつ進んでいますが東・西部に比べれば規模も小さく、雇用も40才を過ぎれば極端に少なく、いくら就職活動しても安定所に通っても書類審査で落とされて面接さえして貰えない。子供に金銭が必要な時にこれでは困ると、知人が息子さんの事で悩んでいますので、この機会を借りて代弁させていただきます。
女	20-29	働く場所が特に少ない町だと思うし、企業誘致されても正職でないことが多いので、メリットがない。高いお金を使っても、ムダである。
女	50-59	若者が働ける企業の誘致及びショッピングセンターの設置。
男	70-	若者が定住する為に工場の誘致等働く場所を早く作ってほしい。
男	60-64	頑張っていると思う。大きな工場も産業も無い中農業が西瓜、梨等生産者の高齢の中頑張っているが、市場価格が安く大変だと思う。若い人の農業離れ等跡を継ぐ人がいない。あと10年もすれば大変な事になるのではと心配している。何とか人々が安心して生活できるよう、経済的な面が豊かになればと思う次第であります。私も年金生活者で、時々アルバイトをしていますが生活は苦しいばかりです。とにかく節約するばかりです。
男	65-69	自動車等の利用により人の流れが大型店舗等のある郊外に行き、市内が空洞化し、空き店舗が多くなり、活用方法の検討が必要。
男	60-64	個人商店、小さな店がなくなってしまった。大型店、量販店ばかりになってしまった。食品スーパーも県外資本だ。高齢者の買物難民対策はどうするか？ 企業誘致はたいへん良いことだ。道路網は悪いが。
男	30-39	休耕田や山林を活かした新たな産業（微細藻類、がま、すげ、わさび、そば、杉、ひのき、まつたけ、しいたけ、竹（肥料へも）、動物） ロボット開発。軽自動車よりも便利な乗物開発。
男	60-64	若い世代は、鳥取市や米子市で買い物をしている現状がある。周辺の交通道路が整備されればもっと多くなる。市外から倉吉に来るといふそんな魅力のある町は、倉吉しかないものをつくる事ではないでしょうか？若い世代が働ける環境は、工場等の誘致ですが、やっぱり災害が少ない町をもっとアピールし、大手企業の誘致が必要です。
女	60-64	「雇用を作る」言葉の一人歩き。
男	65-69	「中部はひとつ」・「地産地消」等々、目線の高い方策もすばらしいことですが、最近報道された学校給食の牛乳を競争原理的に行った結果、市外の大手メーカーの製品導入となったようですが、「地産地消」の本線はどこでポイントが切り換えられたのか理解できません。
男	50-59	くらすけくんのキャラクターグッズを豊富に取りそろえていたら良いのでは。例えば、宮崎県の「くまもん」のように、どうやってはじめての取り組みから全国レベルのご当地キャラクターに成長させたのかなど、参考にしてみても。キャラクターによる収入が増えるのは倉吉にとっては潤いをいただけるのでは…ひいては、活性化にもつながればベストではないでしょうか？最近、宮崎産の野菜などに「くまもん」のシールが貼ってあります。これだけでも、買う意識を向上させることにつながるというのは、キャラクターのとてもすごい力だと思います。まずは倉吉の地酒にキャラクターのついたラベルを使ってみてはどうでしょうか？（720ml入りの分で）、そのシールが剥がせて使えるようにすれば、子供に喜ばれるかも。

男 60-64 文化・スポーツ活動で県内外から人を呼び込むために、見たい・応援等したいというような文化・スポーツイベントを開催し、地元の名産品等展示しながら、宿泊客を含め来客者の呼び込み、地元物産品等のPRをする。

経済の活性化や人口確保の為に雇用の場を確保し、市内出身の若者が倉吉市に帰省しやすい環境を整える。そのために、市内高校生や鳥取短期大学の学生が手軽に商店街等でイベントを開いたりできるようにすることで、若い人の活躍の場を設ける。

6. 観光・イベント・レジャー・商業施設に関する意見

○観光・イベント・レジャー

性別	年齢	記述内容
女	70-	以前にも提案はしましたが、川土手に記念日（入居、出生、結婚、その他）祝の記念植樹として桜の苗木を、市の方から植木屋さんに依頼して植えていたら、今頃は桜並木で素晴らしい名所ができたのにと残念です。緑の街とうたっている倉吉市ですので、公園の桜も年々おとろえているにつけ、記念植樹は市がお金を出さないと個人が料金をいくらと決めてあれば、苗木と費用を持って年々増えていくのと思います。
女	30-39	せっかく鳥取出身の作家の漫画がアニメ化されているので、鬼太郎とかでなく、そちらの作品とも何かしてほしい。その作品のパッケージの酒とかお土産とか私なら買います！
女	50-59	倉吉市内への観光案内が不十分だと思う。駅周辺に住んでいるが、県外からの観光客に赤瓦への行き方やどれくらい距離があるかをよく聞かれる。また、三徳山投入堂、三朝温泉など他の町村などと協力して観光に力を入れてほしい。
女	65-69	成徳・明倫地区の空き家をもっと活用する方法を考えてほしい。市民・観光客に喜ばれる様に週一、月一で朝市など、どうでしょうか？駐車場もあると良いですね。
男	65-69	イベントや地域活性化行事等で活気あるまちづくりを。レジャー施設が少ない。
男	40-49	観光業を中心としたまちづくりを行うなら、白壁土蔵群の周囲のお店を開くことや、点在しているおみやげ屋などを集約するなど観光客の目線でまちづくりを行ってほしい。体験できるお店や観光客がまた倉吉に来たいと思うようなスポットを集約してほしい。人が集まる町をつくって下さい。
男	65-69	キンピールの創立者の磯野長蔵氏の出身地でありますから、観光の面でも生かすようにキンピールと共に記念館を作って倉吉市が素晴らしい所である事をPRしてほしい。
女	70-	玉川観光に県内外からたくさんの方が来られますが、身近な市民が玉川を初め文化遺産とか、知らない人が多いように思います。もっと身近な市民がよく知るイベントを…と思います。
女	30-39	赤瓦に駐車場がもう少し欲しい。
男	30-39	白壁土蔵のシャッター通りを、若手に安く貸す等なんとか活用できないか。倉吉市は陶芸などクラフト作家が多くいらっしゃるの、クラフトフェア等が開催されれば素晴らしいと思う。
男	60-64	観光資源に成り得る明倫円形校舎を取り壊す予算を付けるより、いかに安い経費を使って、価値が出るまで保存していくかを考えるべきである。 旧打吹駅の記念館をもっとマニアックな鉄道好きな人達（倉吉にはたくさんおられる）にまかせて、三朝との連携を図って、全国の鉄道ファンをもっと呼ぶべきでしょう。赤瓦からかわしままでの線は観光コースに成ると思うのですが。

女	65-69	市内の通りに空き店舗が目立ちます。これが気になります。
男	30-39	若者が楽しめるイベントが少ない。
女	50-59	未来中心など観光する場所に犬のふんなどがそのままになっている事がよく見うけられます。もう少し、捨てないように指導の方をお願いします。もし捨ててある場合は、そのままにしておかず、処理してほしいです。お願いします。
男	60-64	文化・スポーツ活動で県内外から人を呼び込むために、見たい・応援等したいというような文化・スポーツイベントを開催し、地元の名産品等を展示しながら、宿泊客を含め来客者の呼び込み、地元物産品等のPRをする。 市内観光のもう1つの目玉として、打吹山山頂に（城跡）展望台の設置。
男	65-69	自動車等の利用により人の流れが大型店舗等のある郊外に行き、市内が空洞化し、空き店舗が多くなり、活用方法の検討が必要。 夏祭りも市中心部で開催されるが、上井地区で実施されたらより効果が上がるのでは。検討をお願いします。
女	20-29	商店街、中心市街地、町のイベント（祭り、スポーツ、ウォーク）など、活性化してほしい。
男	30-39	天女や龍神や白馬や土人形の天神さんやMALTAが行き交うまち。
男	60-64	観光にしても、メディアに取りあげられるような事、たとえば赤瓦という事を徹底的にアピールする。赤瓦を一望できる。周辺をすべて赤瓦にする。赤瓦商品（みやげ物）を作る。電柱の撤去。売り子はすべての店で倉吉緋を着る。市役所の職員は倉吉緋で作った制服を着てはどうか。

○商業施設

性別	年齢	記述内容
女	50-59	若者が遊べるボウリング場、カラオケなどを増やしてほしいです。土地があるので、米子や鳥取に行かなくてもいいように、もっと大きい業者をこの倉吉に呼んで欲しいです。
女	40-49	スーパーやコンビニばかり増えてもやがて閉店。この繰り返しで空き店舗が増えるだけ。若者達にとって魅力の無い街だと思います。唯一のボウリング場もなくなり健全に集う場所がありません。ラウンドワンのようなアミューズメント施設がほしいです！
女	20-29	大型スーパー、イオングループが秋喜の辺りに進出して来ないかなと思います。ボウリング場がなくなってしまい、娯楽施設も減ってしまったので残念です。上井周辺はもう土地がないと思うし高いと思うので秋喜の辺りがよいかと思うのですが。
女	30-39	倉吉の町にお金をおとせる商業施設が欲しい。アパレルなど少なすぎますし、若い男女向けの店舗が商売しやすい町になれたらと思います。
男	20-29	なるべく市内で消費をうながす施策も必要だと思う。市内の方の多くは道路網の整備により県東部西部へ買い物に出かけています。これは単純に鳥取、米子に魅力があるというわけでは無く、大型商業施設があるだけの話だと思います。市内シャッター通りについて、昔から商売をしている方々を守るというのは必要だとは思いますが、抜本的に改革するのであれば一帯を市が整備し、若者向けの店舗を作る（チャレンジショップ等では物足りないですが…）等の思い切った行動が必要と感じます。市内で人に働いてもらい、休日は市内に出る。東・西部のような大型商業施設にたよらない型で、逆に外部から人を呼ぶ形が理想と思います。
女	60-64	上井駅中心にスーパー、たとえば野菜など毎日の食料品店がない。もっと多くして欲しいです。若者中心より年寄りが歩いて行ける様な所です。

女	50-59	市街地の活性化。しまむら、ユニクロ等のようなショッピングセンター（洋服他）がほしい。買物が遠く不便。パープルタウンまで出かけないといけない。
女	65-69	他の県の人々が倉吉を訪れて、また再度足を運びたいと思う様なまちにして欲しいです。食べものにしても海の幸、山の幸が多くあるにもかかわらず、それらを活かしたレストランなどが全くないのがさびしいです。
女	50-59	買い物が不便。倉吉市内で成徳・上灘で衣服くつが買えない。（サンピアの復活！）
男	30-39	若い人達の出会いの場、例えば、ダンスホール的なライブハウスなど、もっと若い人達を県外に出さない遊べる所を作らないと、倉吉はなくなってしまう気がする。補助金などを出して若い人達に満足できる場所を作ってもらおうなど。 今の若い人達は何をして楽しみ何処で男女が出会っているのか。ボウリング場も無くなり…本気で取り組んで欲しいです！
男	30-39	日々思うことは、「倉吉の魅力の無さ」を痛感します。土日などの休日、倉吉市内の現状をご存知ですか？交通量は無く、市民は鳥取市、米子市他に出掛けてしまい、人通りがありません。それは倉吉市、中部地区に魅力が無い、一番お金を使う年代が倉吉市にお金を落とさないからです。また、若者はパチンコ、スロットしか遊興場がなく、出ることもない。この現状で倉吉の10年、20年先はありません。せっかくの米子、鳥取からの集客が見込める中部なので、「物」「人」「金」をしっかり動かして生かして欲しい。
男	60-64	個人商店、小さな店がなくなってしまった。大型店、量販店ばかりになってしまった。食品スーパーも県外資本だ。高齢者の買物難民対策はどうするか？
女	20-29	スターバックスのような集まって話をしたりお茶をしたりする場や、若者が充実して買い物のできる場所が増えてほしい。
女	30-39	旧市街地（赤瓦等）で買い物しようと思っても少し値が高くて、やっぱり安いところに行っちゃいます。福庭とか清谷のほうへ。観光や散策にはのんびりできていいと思うけど、お金は、そこには出せない…という感じ。
男	30-39	パチンコは要らないからカジノなどの遊興施設を。

7. 都市基盤（道路・河川・水道等）・公共交通に関する意見

○都市基盤（道路）

性別	年齢	記述内容
男	30-39	高速道路につながる幹線道路の整備
女	65-69	倉吉のまちづくり、特に市道の整備には疑問を抱いている。車の通りの少ない道路は整備を進めておきながら、倉吉駅方面から179号線に抜ける道路の側溝の床板のでこぼこは整備の予定はあるのでしょうか。住民がつまずき、乳母車、年寄りの押し車がまともに通れません。公民館長に要求しても市には一向に取り上げてくれません。子供、年寄りにやさしい町、まちづくりは一体はどんな意味があるのでしょうか。整備の対象から外れている住民の身にもなって下さい。 ほとんど車の通らない本町（2丁目）には川に蓋をして整備しておきながら旭西の実状には目をつぶっている市に怒りさえ覚えます。おとなしい住民の声は全く届かないのですか。
女	30-39	道沿いの草を行政が刈ってくださるが、いつも刈りっぱなしで、刈った草はそのまま放置のため河川が詰ります。刈っていただいて、持って帰ってほしい。
男	30-39	R313は必要ない。倉吉西以南は利用があるとは思いません。

男	70-	倉吉市には空港も新幹線もない。4車線の自動車道もない。倉吉市が将来発展するためには先ず交通の利便性の向上を進める。そうしなければ工場の進出もない。工場が来てくれれば若い働き手の増加も期待できる。 鳥取1区の選挙区に実力のある政治家がおられる今この時期に、鉄道・新幹線の整備を進めてはどうか。4車線の自動車道を作ってはどうか。
女	40-49	天神川方面からR179に出る道のカーブミラーに傷がついていて、右から来る車が見えにくく大変不便です。ちょうど肝心な位置が見えず、危険ですので修理して下さい。カーブミラーには「倉吉市」と書いてあります。よろしくお願いします。
女	20-29	市民が安心して暮らせるように、市民の要望も聞き入れながら道路等の公共工事を進めてもらいたい（特に市道）。例えば、新居を考える中で、市道側に側溝がある場合住居目的の為に市は動けないから、市民負担になるとあっさり言われても納得いかない。安心して暮らしてほしい等の思いがあるのなら、市道にあるわけだし、市民負担とあっさり言わず考えるべき。市職員の対応も考えていくべきだと思う。市道に対して市民が一部のお金を出して工事するのはおかしい。市道はみんなが使うものだから。
女	30-39	私は自分の住んでいる所が好きです。四季の移ろいが美しいので。県外から帰って来ると、コンパクトで、落ち着いていて、緑がたくさんあって、ゴミも落ちてないし。花のある庭が多くて、綺麗な街だなとしみじみ思います。細かく言えば公共交通機関が少ない、駅から観光地（土蔵群）までの動線など改善されるべき事は多々あると思いますが、一番大切なのは住んでいる人の意識です。まちの雰囲気はそこに住む人の心の持ちようを反映するからです。行政、市民、老若男女問わず、自主的で開かれたコミュニケーションがなされるまちであってほしいと思います。
男	30-39	市街地と中山間地の道路整備の差がある。中山間地の道路の交通の利便性が悪い。大型車による道路の破壊。
女	40-49	倉吉駅前通り、倉吉駅～上井踏切の電柱地中化を望みます。駅前通りについては、景観はもちろんのこと、安全性のために必要だと感じます。倉吉駅～上井踏切については、交通量が多く、対向車とのすれ違いが大変です。学生が自転車で通ることも多く、車が進まないために、自転車が進めないという状況があります。電柱がなくなれば、車も自転車も歩行者もスムーズに通行できると思います。

○都市基盤（河川、水道等）

性別	年齢	記述内容
男	40-49	天神川の河川工事が多い。整備はわかるが、魚が本当にいなくなった。綺麗にするだけでなく、魚が隠れる場所、産卵する場所も作ってほしい。人間に都合のよい整備だけしないでほしい。綺麗なだけでは水が豊かな自然環境とは言えない。
女	40-49	自然との調和のとれた町作りを！毎年夏には蛍が乱舞していた近くの小川が、この春全面コンクリートとなった。川の浄化となる川藻も育たないだろうし、誤って転落しても這い上がれないだろう。効率的であろうが、配慮を！
男	70-	北谷川の改修計画はどのようになっているのですか。（県の責任ですか。）
女	50-59	水がおいしいのでインスタントのコーヒー・紅茶を飲むと、こんなにもおいしかったかしらと不思議に感じます。

男 50-59 幼少の頃より、小鴨川水系で川遊びをしてきたのですが、近年の水生生物の激減に不安を抱いております。アユやヤマメはまったくと言っていいほど釣れなくなり、小魚の姿も見えなくなりました。蛍もほとんどいなくなっています。なぜなのでしょう？異変を感じ始めた頃全国的に集落排水の残留塩素の問題異変が取り沙汰されていた為調査を依頼しましたが、公共的な調査の為、適正な処理をしているという返答のみです。この適正は人類にとって適正であり、その他の水生生物にとって適正とは言えないのではないのでしょうか。最近では塩素消毒の代替として紫外線消毒装置の導入を実施している市町村もあると聞きます。塩素の毒性は明白です。食物連鎖ピラミッドの頂上にある倉吉市です。全ての生物にとって住みやすい環境を作っていく義務のある町です。調査研究をお願いします。孫と一緒に蛍の乱舞を見たいものです。

○公共交通

性別	年齢	記述内容
----	----	------

女	70-	他県では、高齢者はバス料金の無料券を載っていて羨ましいです。
---	-----	--------------------------------

女	50-59	ラ・ムー、しまむらなどに行くバスを年に数回でも出してほしいです。
---	-------	----------------------------------

女	65-69	行政サービスとは関係ないかもしれませんが、通勤に使用しているバス、汽車時刻の連絡が不便です。
---	-------	--

女	70-	買い物用の車をお願いしたいのです。バス路線を運行するのではなく、住宅街（集落地）の中に入って行ける小型の車です。デイスサービスの車の程度です。75才以上は無料ならば理想的ですが、倉吉市には市バスがないのが残念です。毎日でなくても偶数日とかにしたらいかがでしょうか。
---	-----	--

女	70-	しあわせの郷行の巡回バスはいつも人が乗っていないように思います。無駄だと思いたすがいかがですか。
---	-----	--

8. 生活環境・住環境・景観保全に関する意見

性別	年齢	記述内容
----	----	------

男	70-	昭和町通りの街路樹の伐採は緑の街造りに逆行するのでは…。 北田川の側道に桜を植えてほしい。 市道の街路樹には楠の木ではなくイチヨウ、ケヤキにして統一されたい。
---	-----	---

女	50-59	倉吉市内の緑化で樹が歩道に植えてある事に関し、見た目は良いのですが、季節により葉が道路の周辺に落ち、側溝を落ち葉でうめつくしてしまったり事業所の駐車場や玄関を汚してしまったりと負のリスクもある事をご存知でしょうか？ 緑化推進もいいのですが、管理体制も強化していただき清掃にも力を入れてほしいと思っています。
---	-------	--

男	65-69	住みやすい住宅環境都市計画等してほしい。外灯等少なく、街の照明が暗い。
---	-------	-------------------------------------

女	50-59	住宅環境に関して、地域住民の声を尊重する姿勢を大切にしたい。
---	-------	--------------------------------

女	65-69	山、畑、道路等にペットボトル、あき缶、菓子袋などが多く捨てられている。市民が協力してポイ捨てゴミなしのまちづくりをしてほしい。
---	-------	---

男	50-59	赤瓦周辺の民家増改築の際に景観を保存するため補助金が出るという事でしたが、条件が合わず家主の要望が聞き入れてもらえず結局自己負担になった。条件がみつすぎと思う。
---	-------	--

男	30-39	ゴミ袋の名前記入を全市徹底してほしい。収集日以外の日に出してあっても無記名なので確認できない。
---	-------	---

男	40-49	家庭ですごみを普通に回収できる町！地域によっては、ゴミだしもままならなくて、親戚や親を頼ってゴミ出しをしています。自治公民館に入れたいアパートもあり、不便であり、あたりまえのことができないというのは問題。
男	70-	生活空間の環境について、具体的には、犬猫等について、鳴き声、ふんの後始末を良くするよう啓発してほしい。個人、地域に迷惑をかけないこと。
男	60-64	ゴミの分別が細かすぎてわかりにくい。
女	40-49	市内のゴミの日に、生ゴミ袋そのままを舗道に無造作に出していますが、見苦しいですし、みっともない。景観の保全の推進を行っていると書いてありましたが、対策はないのでしょうか？
男	30-39	倉吉市内に沢山の木が植えてありますが、近くに住んでいる人は、落ち葉が落ちたりしてとても大変だと思います。つつじが咲いたりしてとても綺麗でいいですが、もう少し何かいい方法を考えて頂きたいです。沢山植えすぎだと思います。
女	70-	ゴミ袋の件、小枝など焼却料がなくなり、ゴミ袋に小さく折って入れると一枚では破れてしまうので二重袋にして出しておりますが、量が多くて困っています。生ゴミ袋は縦長で口が狭くて入れにくくて不便です。多少コストが高くなっても丈夫で横広に入れやすく、もう少し大きい袋を。頭で考えられるのではなく実際に使用して最高の物を、皆が喜ぶ様な物をお願いします。枝に限らずプラスチック製品も、小さくすると刺さって破れます。
女	65-69	虹ヶ丘町の建物奥にある、小高い山の木が大きくなり景観が悪くなっています。以前は山の上に登れば建物が見渡せてとてもスバラシイ景観でした。関金の亀井公園の様に山つつじを植栽して、もう一度昔の景色を取り戻せたら良いのにと心から思います。
女	70-	日頃から市政に御尽力頂き有難うございます。 倉吉市は災害も少なく、日本一の公衆トイレもあり大変住み良い町だと心得ています。全国的に問題の少子高齢化、私達の町内も老人が殆どを占め活気はありません。今後増々高齢化が進み、独居老人、空き家が増えるのではないかと心配しています。空き家の白アリの放置も心配です。 若者が定住し、若者にとって魅力ある倉吉になればと思います。
男	30-39	市街地に集中しすぎ。
女	50-59	6年前に越してきました。街は日中も人とすれ違うことがほとんどなく、竹田橋を渡り市役所へ歩いて行くと、山々の景色も美しく、また季節になると、つつじなどの街路樹も多く、まるで公園の中を通り抜けている気がします。空にかかる虹は大変感動しました。これは大きな建物がない良さです。他県の街中から移り住むと、しみじみと、この地のすばらしさを感じます。長く住むには良い所です。人口が少ないのに病院・スーパーも多く良いです。 もっと倉吉の美しさをアピールしたほうが良いと思います。
女	70-	上灘地区のことしかわかりませんが、旧倉吉線跡の歩道の件、せっかく石畳の良い道があるのに両脇に植栽されているアメリカツゲが、新緑の時は美しいですが、何の客寄せにもならない。倉吉は、桜、つつじが終わったら何も無い。アメリカツゲを取り除いて、アジサイを植え、アジサイロードにしたら、きっと人の歩く道になると思う。アジサイ苗などは市報などで寄付をつのれば、差し木で増やせるのだから、数は集まると思う。ただし後の手入れが大変で、剪定と施肥などは市報などでボランティアを募集すればよいと思う。

女 30-39 私は自分の住んでいる所が好きです。四季の移ろいが美しいので。県外から帰って来ると、コンパクトで、落ち着いていて、緑がたくさんあって、ゴミも落ちてないし。花のある庭が多くて、綺麗な街だなとしみじみ思います。細かく言えば公共交通機関が少ない、駅から観光地（土蔵群）までの動線など改善されるべき事は多々あると思いますが、一番大切なのは住んでいる人の意識です。まちの雰囲気はそこに住む人の心の持ちようを反映するからです。行政、市民、老若男女問わず、自主的で開かれたコミュニケーションがなされるまちであってほしいと思います。

男 30-39 市外から転勤で倉吉市にやってきたが、緑あふれ、人もやさしく、また水もとても美味しい。住みよい町だと思っています。

女 65-69 緑豊かでホタルが舞うのんびりとした田園風景が、畔草を刈るかわりに除草剤散布で畔が茶色に変わりホタルも心配です。利潤を少しでも出すためには仕方ないと思いながらも悲しい風景です。豊かな水と緑に囲まれているだけで幸せを感じます。今倉吉市で生活していて買物もしたいけど気にいったものがない、美容に近い医療もない、海外旅行の詳しい情報もチケットも取りづらい等ありますが、緑豊かなごみの無い、人もたくさんいすぎない、こんな倉吉が大好きです。

9. 防災・防犯・交通安全に関する意見

○防災・防犯

性別	年齢	記述内容
女	70-	私の地区では現在屋内、屋外に放送、行政アナウンスが有り、とても助かります。そして、アナウンスがはっきりよくわかり、ずっと続けて頂きたいと思います。この土地は暮し良く長生きして良かったと思います。現在私は85才ですが、生きられたら200才迄でも生きたいと思う。倉吉市の発展を心より祈ります。
女	50-59	行政くらし市の放送の声が聞きにくい。もっと聞きやすいアナウンサーの採用を期待する。
女	50-59	防災行政無線の戸別受信機が各家庭に設けられ、良い方向になっているが、音声に雑音混じったり放送中にピーっと鳴ったりして、全くと言っていい程内容が聞きとれないことがある。また、高齢者には音質が悪く何を言っているのかわからないとの声もよく聞く。せっかくのシステムなのにもったいない。いざ活用！の時にはたしてどの程度の情報が伝わるのかと思うと不安になることがある。
女	50-59	大きな災害もなく日々過ごしている為、防災についての認識が甘いような気がします。地区ごとの避難場所などのしっかりとした徹底と、経路を教えてください。
女	70-	長谷寺の前の道に街灯が無く暗く、人家が無く、歩行及び自転車での通行が危険である為、早急につけてほしいと思います。
男	70-	行政無線放送の言葉が聞き取りにくい。機械による発音だと思いますが、人の話し方とはニュアンスが違う為だと思う。人の声で放送されることを希望いたします。
女	40-49	子どもを狙った不審者が中部地区でも増えている。子どもが安全に登下校したり、歩けたりするようなまちづくりをして欲しい。
男	70-	防犯灯は自治公が負担している。故障があると未加入者から苦情がでる。不公平である。
女	65-69	非常時に電気が使えるよう公でソーラーパネルを付けたり、災害の時に使えるよう井戸などを用意したりと安心できる仕組みがあるといいと思う。
男	70-	全市民、小中学校、公共機関、企業を対象に大々的に災害時の避難訓練をやってはどうか。

男	30-39	倉吉市内の放送網は、防災に役立つと思う。先日の地震の時に、防災倉吉市からの放送を聞いたが、しっかり機能していると思った。 12時と18時を知らせる音楽は、ローカルなものとして気に入っている。
女	30-39	倉吉市の無線放送が聞き取りづらい。
男	65-69	先日、無線で火災報知のサイレンが3回鳴ったが、その後の状況説明が分かりにくく、実際の火災報道ではなく訓練のためのサイレンと無視していた人が多かったようです。防災無線での連絡は確実に伝わるように工夫して下さい。
女	65-69	虹ヶ丘町を下りる市道は一本しかありません。災害になればたちまちパニックになってしまうような気がして心配です。今の所は大きな災害がありませんが、次世代の人に安心して住めるまちづくりが必要ではないでしょうか？
女	40-49	暗いので夜のウォーキングもできない。

○交通安全

性別	年齢	記述内容
男	30-39	小学生などの小さな子供が自転車に乗る時にヘルメットを着用させてほしい。自転車のマナーが悪い。年齢問わず、マナー講習などを、積極的にやってほしい。
男	40-49	最近、車の運転をしていて対向車がセンターラインを平気ではみ出してくることが多く危なくしょうがないので、なんとかしてほしい（とくにカーブ）。 島根県は、意識して徹底してはみ出さない対策をしています。どの道を通ってもセンターラインを車が踏むとガタガタと音がして踏んでいることに気付く「高視認性路面標示用塗料」が使われています。お金がそんなにかかるものではないのでセンターラインを書き直す時に請負業社にこれをやってもらえるようお願いしてほしいです。お年寄りや乱暴な運転をするドライバーの正面衝突の抑制にかなり効果があるはずですよ。 とくに宮川町、東中学校を過ぎたあたりのカーブがひどいです。一度でいいので視察してみてください。よろしく願います。いずれ事故になります。
男	30-39	子供が安心して、登下校できる様、通学路を整備し、確保してほしい（事故を防ぐため）。倉吉は、通学路がキケンすぎる！登下校、特に下校時にボランティアの方を増やし、学童へ行く子供達について歩いてほしい。子供達だけで家へ帰らせることや学童へ行かせるのはおかしい。もっと、倉吉市や学校が対策をするべきでは？
女	70-	福本一上米積線にダンプがよく走ります。私は身体障がい者です。ダンプのスピードが怖く、吸い込まれそうです。
女	30-39	子供達の安全の為に生田のコンビニの近くの交差点に信号をつけてほしい。
女	40-49	私の住む石塚には、何度も事故の起こるカーブがあります。事故が起こる度「このカーブはもっとどうにかならないのか？」と感じています。つい先日も、ガードレールが壊れる事故があったばかりです。子どもたちの通学路の為、大事故になってからでは、手遅れです。尊い命を守る為、至急対応して頂きたいです。国道ですが、市の行政でも、危険な箇所をチェックして頂き、対応を切に願います。子供達の安全確保は大人の役割です。
女	40-49	子供達の通う、通学路の安全について、側溝、農業用水路に蓋を！

女 30-39 朝、小学生が登校するときボランティアの方が交通量の多い所に立っていて下さったり、時には一緒に登校して下さったりとても助かっています。また、地域の方が道路を綺麗にして下さったりして、小さな事ですすが支えられていると思います。助けられていると思う反面、冬期は特に暗くなるのが早いため思うのですが、街灯が少なく感じ、小学生の下校時こわく感じます。

10. 市役所庁舎・公共施設・公園の整備に関する意見

○市役所庁舎

性別	年齢	記述内容
女	70-	市役所を低い所に建ててほしい。昔からの願いです。
男	50-59	本庁舎内でのタコ足配線は見難い。
男	70-	市庁舎が分散しており非常に不便を感じるとともに効率的でないと思います。将来新しい場所に新庁舎を建設されるよう要望します。(例えば、上灘地区のラグビー場などが考えられると思います)
男	70-	市役所の建物を新築して今の建物は他の事に利用する。年寄りには今の役所は利用しにくいです。
男	60-64	市役所に立地条件が悪く、改善されていない。高齢者や障がい者、だれでも利用しやすいように、トンネルや、エレベーターを設置してください。 市役所のように、いつも高い所からの視線をやめて、近く、市民視線を心がけてください。
女	50-59	以前、市役所に用事があり2階のフロアの待ち合い場所へ行くとストーブがあったのですが、火が上部(やかんなどのせる部分)から立ち上がり、すぐさま火の調節をしましたが、私は職員の方に声をかけるべきでしたが、ご面倒でも点火の後の点検をお願いいたします。

○公共施設

性別	年齢	記述内容
女	70-	市の社会福祉協議会が新築された。新築されても道路の前側は廃車の車が6台も置いてある。私は気になって県議員にも市役所にも手紙出したり、当時の市長には直接会ったりしたが未だに手付かずだ。強制撤去したらどうですか。観光倉吉が泣く。鳥取や米子では見ない。まるで廃車置き場だ。
男	70-	しあわせの郷など、赤字寸前の施設の抜本的見直しを。
男	40-49	未来中心など立派な施設があるのにあまり活用されていないような気がする。あまり利用されてもいないのに夜まで電気がこうこうとついている。税金のムダづかいのような気がする。 未来中心にはゴミ箱が多すぎる。わざわざゴミを捨てにくる人がいるくらいだ。基本的にはゴミは自分で持ち帰るのがあたりまえではないか。
女	30-39	図書館の駐車場の境にある植木は、子供が小さい頃ベビーカーが使いにくく、歩きにくかった。二人の手をつないで本を持って大変だった。
男	70-	旧明倫小学校の存続を求める意見があるが、税金の無駄遣いも甚だしく予算通り取り壊し願いたい。

女	40-49	保健センターでの健診の時に、健診の駐車場と指定されている場所のすぐ近く（入口のところ）に喫煙場所があり、健診に連れて行った赤ちゃんが通るところで、たばこの煙がもくもくとしていて、少し嫌だなと思いました。
男	70-	北谷公民館の新築は何年先になるか地域住民に知らせて頂きたい。管理者の方（できたら教育委員の方）男子大便所を使って頂きたい。
女	40-49	倉吉市文化活動センターの太鼓やブラスバンドの夜間活動に困っています。太鼓については、テレビの音が、通常より随分ボリュームを上げないと活動中は聞こえません。もちろん家の窓は閉めてあつてのことです。（2重窓です。）ブラスバンドについては21時半までの活動のようで、小さな子どもは寝る時間です。一度センターの方に相談に行ったところ、『週2～3回なので、我慢して欲しい』『テレビは録画で』というようなことをセンターの男性の方に言われ、『この近辺の方は了解していて、以前からしている活動で、やめることはできないし、時間も変更できない。』『今回の工事で二重窓にし、カーテンもしている。』『これ以上どうすることもできないけど、話はあずからせてもらって検討します。』とのことでしたが、これ以上改善策はないのでしょうか？

○公園の整備

性別	年齢	記述内容
男	65-69	市街地にもっと公園がほしい。話し合ったり、散歩したりする所がもっと身近にあったらいいと思う。高齢者の方々が出かけやすくなる。
女	70-	たくさんでなくてもよいので、小さい子供達や小学生が遊べる大きな公園や遊具があれば、外遊びが自由にできるのではないかと思います。
男	20-29	倉吉市は住みやすい市として選定されているものの、それは市街地に住む人にとっての話だと感じます。久米地域、特に高城地区には子供を連れて行ける公園等はほぼありません。自宅から数分の所にはレークサイド大栄はあるものの、北栄町の話だし、小学校横の河川敷についてもほぼ老人のグランドゴルフ場のみ、遊具は一つもありません。小さなものでもいいので市中心部のように歩いて行けるような公園が欲しいです。
女	70-	市民の為に何時もお世話になっています。私は明倫地区の者ですが、この地区には、公園がありません。老人が歩いて行ける範囲の近い場所に、緑の木や花に囲まれた憩いの場があると散歩（運動）ができます。
女	65-69	打吹公園の中にある動物の臭いが気になります。動物が必要なのかどうか？また、綺麗にしてほしいです。
男	50-59	打吹公園のサル舎を新しくするという計画はどうなったのでしょうか？
女	40-49	打吹公園にいる動物の嫌な臭いを何とかしてほしいです。せっかく綺麗に咲いた桜やつつじの花を見る気もなくなってしまいます。よろしくお願いします。
女	70-	伯耆しあわせの郷のゲートボール場の周りに植えてあるしだれ桜が今年はとても綺麗でした。花期も長く、人があまり見物に来ないのがもったいない位でした。ただ、山側にスタジイ等の照葉樹が蔭り、垂れ下がってしだれ桜の上に覆いかぶさって今にも枯れそうです。草刈をしている方に話したら、人手がないのと危険であるとの事。市長さんには市の出先機関を訪ねて、建物の中だけでなく環境の在り方も見て欲しいし、あの美しさをもっと市報、テレビなどで宣伝して欲しかったと思います。
男	60-64	打吹公園の寄付名付け桜は、すごく良いです。養生桜などの枯枝を綺麗にすれば、もっと良いと思います。ちなみにサル舎はそろそろ無くても良いのでは。

男 70- 公園などにごみを捨てたままなので、公園に啓発の立て看板を立ててほしい。学校等にも、指導してもらいたい。自治公民館に全てまかせるのではなく、市としても県とタイアップして支援、指導してほしい。個人としても限界がある。

11. 住民自治・市民参画・地域活動に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	70-	公民館活動は殆ど無意味。婦人部（女性部）←存続の意義なし、交通部←警察の天下り先、体育部←行事を嫌がっている。
女	70-	6年前に夫に先立たれ私は1人住まいです。子供、孫たちは県外ま住いです。敬老会は毎年楽しみです。先日も大変楽しゅうございました。
男	70-	老人クラブの加入を積極的に広報してほしい。
女	65-69	自治公民館の仕事が自分自身の仕事に影響して休業しなければいけない事が不満！
男	70-	自治公民館への未加入者が増加している。公民館活動を真面目に行っている者の立場から不公平を強く感じる。公的な約束事（ごみ出しなど）が守られていない。苦情の持って行き場がない。その理由として、市報などの公的な約束事が読まれていない。地域での約束事が周知できないので公的な約束事を徹底させることができない。日赤募金や社協会費など上納金の割当が住民登録世帯数で割り当てられるので、加入者の負担が多くなった。市役所として、未加入者対策を本気で取り組んでほしい。
男	60-64	地区公民館と自治公民館がいずれも「公民館」の名称なる故に混乱する場面があると思われる。なおかつ、自治公協議会の事務局を地区公民館主事が担っている場合、住民が誤った認識を持つ可能性が否めない。そこで自治公民館の名称を変更されてはいかがなものか。他市町村から移住してくる人たちから見てもわかりづらいと思われるが…。
男	60-64	溝そうじ等で町内会に、不参加の時にお金をとられることが不満。年寄りには参加したくても参加できない。弱者保護をもっと考えて欲しい。公民館活動等も不参加の時にやはりお金をとられることがおかしい。町内会費だけでも負担だし、町内会に入っていない人はお金を払っていないし、不平等感がある。
女	70-	よりよい生活ができるよう自分の住んでいる自治公民館の情報を密にし、住みやすい“まちづくり”を全員が把握して地域活性に向け、常に話し合い、何かあったら住宅係、館長に報告し、市の担当職員の協力を求める。安心安全、明るいまちづくり、暮らしやすい楽しい生活ができるよう全員で取り組んでいます。その為には住民が困ったことなど、倉吉市に相談があった場合、対応していただきたいと思っています。
男	70-	敬老会は出席者が少ないのでとりやめる方が良いではないか。市財政難だから自分の家庭ですればよいではないか。国できめた日があるのだから。
男	50-59	集落内の作業（総事、地井手、防災関係）が館員の高齢化により実施するのが難しくなっています。行政からの支援体制の方策が今から求められていると思います。
女	65-69	高齢者の公民館活動が少ない事を感じております。市民個人の意識を高めるためにも、倉吉市の職員にも積極的に公民館活動に参加して欲しいと思います。個人として意識をもっている、グループとしてまとまらない現状を感じています。
男	65-69	自治公民館活動の活性化への取組（他地区との情報交換、交流会等）
女	40-49	働いている人には、参加できるサークルが少なく、倉吉、中部ではできない事が多い。
男	70-	“住民で解決を”とボランティアが増加しているので整頓するがよいと考えています。行政サービスは行政の柱であると思っているので、ボランティア活動では奉仕活動に変容し易く解決の力とはならないと考えます。

男	50-59	市の行政、何事においても上から目線であって、何をやるにしても市で大体を決めて来て、これをやって下さい、そうじゃあなくて、たたき台なしに一から皆で決める、そういうやり方を望みます。これからは皆の意見で何事も進めてほしい。市役所職員の者だけで物事を決めてほしくない。忙しいけど、大事な事は時間をおしみません。出席します。
女	70-	高齢者がくらしよくなる社会はとりもおさず市民誰もがくらしよくなる社会だと思えます。しかし消費税が上がり、年金は下がり、経済的にとても生活しづらくなりました。そんな中、公民館等で高齢者向けの活動の場が開かれることは、気持ちに潤いができ、せめてもの救いとなります。“高齢者外へ出よ！”そんなチャンスをたくさん作って下さい。日々の想いをこんな形で吐露することができましたこと、ありがたく思います。ありがとうございました。
男	50-59	市行政はよくやっておられると思う。しかしながら、住民の自治意識はまだ低く、行政への依存度は高いと言わざるをえない。多くの課題を市へ要望するばかりで、自らの努力で解決しようとする事例は少ないと思われる。何より、予算の意識が低く、負担することへの拒絶や、資金を集めるという考えはほとんどない。自分達のことは自分達で解決するという自助努力を最も重要視しなければならないのにすぐ行政に頼ってしまう。裏を返せば、市民の自由にさせるより、行政が管理している方が市政運営がスムーズに行くと感じている面は何だろうか。住民の自治意識向上や市政への参画、協働を実現するには、住民の努力が実るといふ成功体験が必要だ。例えば、地域コミュニティで収益事業を行い、実際にその収益金で自分達に還元されることを実感できれば、やりがいを感じられるのではないか。地区公民館は社会教育法により、収益事業は禁止されている。しかし、地区の住民の拠り所は地区公民館であり、その拠り所をもっと自由に活用し、本来の住民自治に繁栄できるようになれば住民による住民の為のサービスが実現できるだろう。地区公民館をもっと住民に開放すべきと考える。(有償、収益事業が可となるよう)
男	70-	同じ倉吉市内でありながら、人口がすごく減っている地域もあり、高齢者ばかりでその自治会の活動が満足に行われていない現状もあるようです。倉吉市はもっと本気で行政改革を行なうべきではないでしょうか。
女	40-49	若い人たちがまちづくりや公民館活動に参加する姿勢が消極的だと思います。内容を今のスタイルに合わせるなど魅力的にしていかなければ、担い手がいなくなると思います。

12. 福祉・健康・医療に関する意見

○福祉

性別	年齢	記述内容
女	60-64	今後の介護保険制度に不安を感じています。今以上に介護事務に力を入れていただきたいと思えます。必要な者が必要な時に介護サービスが適切に受けられるでしょうか。必要か否かもっと精査する必要があると思えます。介護保険料のUPが天井知らずになったり、制度そのものがパンクしたりするのはと心配しています。
女	65-69	80才過ぎの主人が年をとっていても、私が若いからと言ってあまり民生委員の方でも出入りされず、入院をした事も有りますが誰も気にもとめてくれません。ちょっと不満を感じている所です。一人で頑張るしか有りません。とても介護は大変です。
女	50-59	倉吉市だけではなく全国的に子育て支援を中心に頑張っているけれど、もう少し老人の事やデイサービス、介護施設などを考えてほしいです。

女	60-64	倉吉市も高齢化社会、家族があっても昼の間は1人、また昼も夜も1人で生活している人が気軽に相談する所があれば良いと思います。 独居老人という言葉の良いイメージの言葉にできないか。希望します。 元気で暮らしている間に老健施設等でボランティアをするとポイントを貯める制度を60才からにして頂き、市の負担を少しでも軽くしたいと考えます。 救急車を頼むほどではないが、1人で病院に行けない時に付き添って下さる方が身近にいない時に、有料でも頼みできる方があれば安心です。
女	70-	各家庭に配布される社会福祉協議会だよりしあわせの香典返し寄付金について、金額の記入をやめて全員「金一封」にしたらいかがでしょうか。
女	70-	6年前から1年置きに手術をし、退院後度々通院しています。交通はハイヤーで費用がかなりかかり、回数を減らし辛抱しています。同じ身障者でも級によってはハイヤー代の援助があり、大変助かっているとおっしゃっています。援助の有る無しでは病院へ行くのも考えなくてはなりません。行政の方で何とか良い方法を考えて頂けたら嬉しいです。福祉タクシーとか考えて頂いたら私だけでなく皆さんもよろこんで頂けると思います。よろしくお願い致します。
女	50-59	障がいのある子どもが利用できる場所が少ない（デイサービスやショートステイなど利用できる施設が少ないので選択することができない）。サービスの種類が少なく利用しただくてもできない。
男	70-	生活保護の実態調査を行い、申請許可時には当然のことながら厳正な審査を行うこと。
男	60-64	所得の違い、生活水準の開き、税金の用途、低所得者の生活わかっていますか？見かけではないですよ。現実をどうとらえておられますか、疑問です。倉吉はくらしよいではないです。困っています。
女	60-64	買物、病院等交通弱者対策など、もっと最低ラインで暮らす人間の生活を実際に見て1つでも改善された実感できる分かりやすい行政であってほしいと切望します。
女	70-	介護付老人施設の看板に、「1人でも2人でも自由きままに暮せます…」年を重ねて自由きままに…若い人も自由きままに…どんな子供が…お互いに気を使い助け合って暮す事により、得る所も多いように思います。墓を見る人がいない！1人で生まれて来たわけではないと思いますが…？
女	40-49	生活保護を受給している人が働かずパチンコ等して快適に過ごしている事も事実耳にしている。もっと厳しい調査をし、働ける様に行政からも促して欲しい。

○健康・医療

性別	年齢	記述内容
女	50-59	「かかりつけ医」は持っていますが、指の関節部分が痛くてどうしようもなかったので他の病院に行った時、『老化現象』とだけ言われました。こんな事を言う医者のある町に県外の友達に遊びに来て！とは「絶対に」言えません！
女	65-69	特定健診を毎年受けています。私はいつも病院で受けておりますが、不便な点はひとつの病院ですべての健診（特定健診・がん検診子宮・乳も）を受けることができません。ぜひ、フルコース受診できる病院をお願いしたいと思います。
女	50-59	全国的にも、高齢化し、子供や若者が減少しています。市の財政も苦しいようですが、子供の医療費を例えば、就学前まで無料にするとか、妊婦さんの受診料を補助するようにしたら、魅力があると思います。
男	50-59	鳥取看護大学は実に良い。

女	40-49	保健センターでの健診の時に、健診の駐車場と指定されている場所のすぐ近く、入口のところに喫煙場所があり、健診に連れて行った赤ちゃんが通るところで、たばこの煙がもくもくとしていて、少し嫌だなと思いました。
男	60-64	健康の保持・増進や寝たきり老人の減少という目的、さらには医療費の削減の面からも、いつでも誰でもできる、トレーニング施設の設置。新しい施設を作るのでは無く、どこかの施設（建物の一部）を改修し整備する。
女	40-49	このアンケートには、少子化についての問いがありません。意識調査するまでもないということでしょうか？倉吉市の助成金は、少なすぎではありませんか？不妊に悩む人達に対して対策が甘いと思います。
男	30-39	救急車が信号のある十字路でもノロノロ（確認）運転だ。みてるこちらがイライラする。

13. 子育てに関する意見

性別	年齢	記述内容
男	30-39	小さくていい、遊具が少なくてもいいので、子供が遊べる公園の検討をお願いします。
女	30-39	保育料が高い、経済的に子育てしにくい町だ！
女	30-39	雨が降っても子供達が遊べる施設などがあれば良いと思います。多少有料でも…
男	40-49	保育園と小学校へはスクールバスで送迎して欲しい。かなり距離があり、不便である。
女	30-39	せめて小学生のうちの2回接種のときは助成してほしい。子供の数が多いほど、病気がうつって大変なので。子供の人数が多いほど、病気になってほしくないです。予防接種の助成をお願いします。
女	60-64	北谷地区では、保育園が廃園との方針だと聞いています。住みやすく、女性が働きやすい環境のためにも、是非、残してほしいです。地域の為にも善処してほしいです。
男	20-29	保育料が高い。子どもにかかる色々な費用を市等がもっと負担してくれたら良いと思う。今のままでは2人目でも考えてしまう。
女	30-39	子供が雨の日でも安心して遊べる場所が欲しい。 中学校、スクールバスは良いが、共働きが多いのに、親の負担が増えることはやめて欲しい。 子育てのこと、他の地域の事を知ると、引っ越したいなあと思うことあり！
女	40-49	小学4年以上の放課後児童クラブの利用ができないので、小学校4年～6年までの子どもを放課後に預かっていただけるようなサービスがあれば安心して働くことができると思います。子どもにカギを持たせて1人で過ごさせるとなると、いろんな意味で不安です。 大雨とか大雪とかの警報が出た時にすぐに休校になってしまい、その際に児童クラブも閉所となってしまいます。もう少し基準をゆるくしてほしいです。 保健センターでの健診の時に、健診の駐車場と指定されている場所のすぐ近く、入口のところに喫煙場所があり、健診に連れて行った赤ちゃんが通るところで、たばこの煙がもくもくとしていて、少し嫌だなと思いました。
男	20-29	子育て世帯が暮らしやすいよう制度やサービスを充実させて欲しい（経済的な面、職場からの理解、医療や保育等）。
女	20-29	子育てをしていく上で、平等ではないと感じる事があります。子供が病気になって仕事を休まないといけない、そんな時、父親ではなく母親の方が多くて、長く休むと会社の方からはあまりいい顔をされない…。男女関係なく家族の協力も必要だと思うし、もう少し子育てをしながらかでも働きやすい環境づくりをしていって欲しいです。

女	65-69	西郷小学校に、学童保育をぜひお願いします。
女	60-64	市内どこでも、市民として不平等感を抱く事なく納得のできる行政サービスを期待します。学校の統合問題など、単に人口減少としての数合わせではなく、将来ある子供達を大切に育ててゆける環境作りが必要だと思います。 高齢化問題等色々な問題があると思いますが、次を担う若者が定住する為の魅力ある地区作りが必要だと思います。現状では保育園、小学校が存続するのか、また近くに大型店舗もなく買物もできない…等、私達の住む地区では特に高齢化問題をひしひしと感じております。若い人達が安心して子供を産み育て、暮らしてゆけるまちづくりが必要だと思います。
男	30-39	日々生活するため、子供たちを育てていくために共働きをしているのに、保育料高すぎます。何のために働いているのかわからなくなります。働くための保育園のほが、保育園に通わせるための仕事になっている気がする。
女	50-59	「子育て王国とっとり」と言いながら、保育園も少なく子供会で楽しめる場所も少なく、スーパーマーケットに行くしか出かけるところはない。こんな市で、楽しくは暮らせない。
女	30-39	子育て支援センターにはすごく満足しています。
女	50-59	教育費の保護者負担が他町に比べて多い。小中学校の統廃合もなかなか進んでいないが、少子化の中良い教育環境を計画的に整備して欲しい。子育てしやすいまちづくりを…。

14. 教育・学習・文化芸術・スポーツに関する意見

○教育・学習

性別	年齢	記述内容
男	70-	上小鴨小学校の統合、廃止は是非やめて貰いたい。
男	70-	小中学校を早く統合すべき。
女	65-69	小学校の統合についての質問がないのがっかりです。多くの人の関心事だと思います。明倫地区など子どもの数が少なく、危機感すら感じます。早くの統合お願いいたします。
女	30-39	学校の統廃合は、今、学生の親より、これから学生になる、幼児のいる親に意見を聞いた方が良くと思う。
男	50-59	小中学校統合問題の進め方は、全く納得できません。形式的に説明会を開き、自分達（行政）にとって都合の良い意見だけを取り入れ、強引に進めていくという手法に思えます。土曜日授業についても同様です。現教育委員会、教育長のやり方には憤りを感じます。小学校の統合を論じる中で中学校の校区再編を勝手に行うことは、全くもっておかしいことです。横暴なやり方を改めてほしい！断固闘いぬきます！住民の意見を本気で聞きましょう。
女	30-39	小学校合併には賛成だが、もう少しメリットが欲しい。少人数で、かなり成績良くしてもらっているが成績が下がるようなことはやめてほしい。
男	40-49	菜の花プロジェクトの歌を小学校で流すのをやめてほしい。おしつけはやめていただきたい！
女	65-69	最近子供達の教育がなってないように思います。会ってもあいさつしない。よその物を勝手にとる。無断でとる（果実）。人の物、自分のわきまえがなってないように思う。校長に電話しても反応がありません
女	50-59	小学校の統廃合（人口の減少）

男 50-59 地域（保育園・小学校・公民館・住民）が一体となって盛り上げているところですが、再編問題が大きな関心事であり、核となる小学校の存続が最も重要なポイントであることは、間違いないと考えている。

○文化芸術・スポーツ

性別 年齢 記述内容

女 30-39 アルフォンス・ミュシャなどの絵画展を、安い入場料で、倉吉市で開いて欲しい。

女 70- 文化、芸術を鑑賞する機会が少ない様に思います。財政面の関係で無理かもしれませんが、遠方に行くのも大変なので、倉吉での機会を与えていただければありがたいです。博物館をもっと魅力ある展示会に活用をお願いします。

女 50-59 鳥取県中部において、テニスコートは各々の市町にあります。オムニコートがないのは、倉吉市のみです。現在、市営球場の所にあります。クレーのコートです。関金にはありますが、わずか4面。毎年行われている市民体育大会で4面で試合をするのは無理があり、また、個々に負担がきてしまいます（時間かかりすぎ…とか）。参加人数が多いのにもかかわらず…。ラグビー場の隣に借りるか、今現在あるクレーのコートをオムニにすれば、中部で開催できる試合が増え、倉吉市にとっても、人が来ることにより、経済が潤うのではないのでしょうか。

女 70- 倉吉に美術館がほしいです。

女 65-69 今年のくらし健康ガイドの裏表紙にお年寄りと子どもがグラウンドゴルフをしている絵がありました。私は退職後、友達とグラウンドゴルフを楽しんでいますが、倉吉には常設のグラウンドゴルフが楽しめる場所はひとつもなく市外の施設に年会費を払って通っています。健康寿命を長く保つと保健師さんや栄養士さんは“食”の面で指導されます。放置状態の公園もあったり、費用がかかたりするのもよく理解できますが、年寄りが家にこもらず誰とでも気軽に楽しめる場所を倉吉にも是非つくってほしいと思います。

女 30-39 倉吉出身ではなく、倉吉に住み始めてから数年です。倉吉の文化・歴史は全くわかりません。年に1度など倉吉の歴史に関する展示を、若い夫婦世帯で、なお子供も一緒に連れて行けて楽しめるような物をして欲しいです。

女 65-69 市民プールのことで、70才以上の方は無料というのは改めてほしいです。大規模改修されるにも多くの税金が投入されています。受益者負担は当然だと思います。せめて割引等にしてほしいです。利用していても肩身がせまいといっておられる人も多数いらっしゃいます。

男 60-64 河北中学校跡地に、公益財団法人鳥取県体育協会の招致や医科学トレーニング施設を併設し、中部地区を中心に活動してもらおう。県内各地から1時間ほどで通える、鳥取県の中心地にある利点を生かす。さらに東京オリンピック・パラリンピックが開催されることで、スポーツ活動については、各業種からの支援や協力を受けながら活性化していく可能性が高くなっている。

文化活動からは、「県立博物館」の誘致（未来中心横の広場）

女 70- 10月からプールが休みに残り残念です。少しでも早く始めて頂きたい。

女 30-39 私の主人は毎週あやめ池スポーツセンターでトレーニングをしています。行くのも遠いし、あやめ池のような低価格でトレーニングできる場所があればいいのにといつも話しています。検討して下さい。

女	50-59	倉吉に唯一残っていたボウリング場が閉鎖された。幅広い年齢に愛されているボウリングというスポーツをするためには、市外に出るしか方法がなく、大変さみしい。会社のレクリエーションでも使用していたが、ボウリングに代わるスポーツ施設はなく、子供会でも手軽に利用していただけに、とても残念です。
男	50-59	美術館があったらいいなと思います。
女	50-59	今年のオリンピックに町田樹選手が出場しましたが今、フィギュアスケートは、花形で日本中が沸き上がりますね。ぜひ、来年も応援して下さい。
男	70-	高齢になった今、倉吉市に在住して伝統ある打吹公園。博物館等があり色々な行事が行われ、時にふれ時間をもてあます。我ら老人も友人を連れ立って公園を散走したり博物館の展示等を鑑賞したりする機会がありますが、陸上競技場に車を駐車し公園を一周していると疲れ、博物館まで足が向かない事が多いです。博物館に気楽に休息できる喫茶店等があったりしたら友人等に声を掛けても気楽に利用できると思います。もっとリッパな公園博物館を気楽に利用できるよう経費出費が多い中、老人・中年のつぶやきを聞いて下さい。お願いします。
女	60-64	美術館があったらいいなと思います。
女	70-	移動図書館をお願いします。
男	30-39	明倫の円形校舎は残すべき。オンリーワンがまた一つなくなってしまう。Jリーグ対応のサッカー場などスポーツ環境のさらなる充実を。

15. 情報通信・情報公開・市報に関する意見

○情報通信・情報公開

性別	年齢	記述内容
男	60-64	市総合計画の策定、市防災計画の策定、市の重要課題等、市民の生活、安全面に直結する情報提供があれば、これまでのように引き続き地区説明会や市長を囲んでの座談会の開催をお願いします。
男	65-69	回答、報告すべき事項については是非お願いしたいし、それともなるべく早くやってもらえばありがたい。
男	40-49	情報が市民まで届いていない。
女	40-49	インターネットによる情報提供が増えて、パソコンが使えないとわからないことが増えて不自由を感じます。インターネットにばかり頼らず（時代の流れはわかるのですが）、今までのように書面での情報を待っています。便利で楽な方向に行かず、職員の方が直接話をしたり、書面を出したりすることもひとつの市民サービスではないのでしょうか。宜しくをお願いします。
女	65-69	ある人から情報が入り役所に行ったら一般には情報開示してないとのこと。なぜ開示していないのかと聞いた所そうやって努力して情報を得た人のみが得るらしいです。コネをたくさん持っていないと豊かな情報は入らないのでしょうか。悲しい現実でした。

○市報

性別	年齢	記述内容
男	70-	市報だけで無く高齢者向けの新しい情報を提供して頂きたい。わかりやすく、字も大きく、3ヶ月に1回程度配布してほしい。高齢者にはわかりやすく、健康や地域とのかかわりが必要です。
男	70-	市報は、読まなくても困ることが全くない。税金のムダ使い。

女	30-39	市報を薄くして、浮いたお金を他のことに使って下さい。
女	20-29	アパートに住んでいるが市報等市からの情報は全く届かない（実家で時々見る）。手続きがわからない。自治公民館に入っていないからなのかな。防災くらの無線も設置してないので全くくらのことはわからない。

16. 人権・同和教育に関する意見

性別	年齢	記述内容
女	50-59	アンケートの人権のところ『過去1年間』という限定はいかがなものかと思います。『過去1年間』ではなく『過去1年間もしくはそれ以前から』などの文章をつけ加えて欲しいと思いました。このような文章の設問自体が侵害していると思います。

17. 市民意識調査に関する意見

性別	年齢	記述内容
男	40-49	返信用の封筒の大きさがアンケート用紙の大きさに合わないためアンケート用紙を折りたたみづらいです。もっと細かな配慮が必要かと思います。
男	30-39	アンケートの内容が意味を感じられない。このアンケートの結果がどう役に立つのかわからない。
女	60-64	年齢が進むに従って情報に疎くなりがちです。市報等に分かりやすく記載して下さい。どの様な意見があったか？大まかにでも市報に記載希望します。（今回の意見）
男	20-29	質問の単語などわかりにくいところがたまにあって、アンケートの内容が難しかった。
女	50-59	アンケートの質問の仕方が、もう少し、ふみ込んだ、わかりやすい言葉の方が良かった。同じ言葉のくり返しで、思う、思わないばかり…（そんな言葉じゃダメ）。職員の人は税金が給料になっているので、もう少し、市民の人達の為に仕事をしてほしい…。人に暖かい市政を望みます。 同じような内容の質問だったけど、こんなアンケートで、果して何の役に立つのでしょうか？お年寄りの方は、買物も、バスの便がなくとても不便さを感じておられます。洋服にしても、海田町方面でないとなくてそれも不便を感じています。人口は少なくなりつつあり、これから市政も大変になってくるので、期待します！倉吉市！を。
女	30-39	今回アンケートを書いている思ったのですが、普段市報をたまに読むくらいであまり倉吉市を知っていないなと思いました。
女	70-	アンケートの問題が多すぎる。年寄りには疲れます。
女	40-49	このアンケートは何か意味がありますか？ただやっているだけではないですか？前回のアンケートと何が違いますか？少子化もそうですが、倉吉から近い島根原発や災害対策、雇用等もっと聞くことがあるのではないのでしょうか？税金を使ってすることは、もっと考えてから実行して欲しいと思います。
女	40-49	このアンケートではうまく意図が伝わらないと思います。難しいです。
男	60-64	倉吉市の「心身ともに健康」の定義を教えてください。

18. その他

性別	年齢	記述内容
男	70-	教員、警察退職者の再就職者は能力のない者が多い。
男	50-59	くらすけくんの原付ナンバープレートは良くできている。

女	70-	行政サービス、有難とう御座います。老夫婦で元気に毎日楽しく暮らせて頂いて居ます。主人も野菜作りに楽しんで働いております。おいしい野菜を沢山頂いております。夫婦で元気で100才まで生かされたい。
男	70-	特にバス運転手が降りる時にありがとうございます。スーパーに買物に行ってもありがとうございます。
男	70-	集団的自衛権の今後が心配です。
女	30-39	もう少し市の行政サービス等に興味を持って見るようにしていこうと感じました。いつも暮らしやすいよう良くしていただいていると感じております！
男	30-39	福祉センターを選挙投票所にしてほしい。「はばたき」は便利が悪い。投票率も上がるかもしれない。是非お願いしたい。
男	50-59	さびしい街だと思う。
女	50-59	3月に倉吉に引っ越して来ました。倉吉よし…倉吉、今の所とても、満足しています 倉吉大好きです。これから、色々な場所へ行きたいと思っております 三朝、羽合、関金温泉が大好きです。ずう〜っと、住みたいと思います。 先日パープルタウンで怖い事件がありましたが、2度とあの様な事がおきない事を願っています。上井町の住民です。
女	50-59	特別何かを意見しようとは思わないが、市内を走っていても、「昔はここであれがあった。にぎやかだった…」と思い出話しで終えてしまう程、人が住んでいるのかと、ここにいた人はどこへ行ったのだろうと思います。特に目立った悪い事もなく、良い事もなく、その事に何も感じなくなっている人々の事を思います。 病気を持っている自分には「参加」という言葉はとうの昔に無理となり、社会からどんどん離れていく淋さがあります。 自分なりに近所の子供達に声をかけ少しでも回りを明るくしたいと小さな事だが、できる事をしている。 行政も目先、見た目で考えている様な所がある気がしてならないのは近所で話しの一つとなっています。何年か先には、家も空き家になっているかも？と集落もなくなるかもなんて話もよくできます。